

平成 29 年度（2017 年度）
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

平成 30 年 7 月



平成 29 年度 (2017 年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

< 目 次 >

< I ・調査方法等 >	
1. 調査概要	1
2. 表記区分	1
3. 注意事項	2
< II ・回収状況 >	
回収状況	5
< III ・調査結果及びその概要 >	
1. 学校全体の学生数	7
2. 障害学生数	8
(1) 学校種別・課程別	
(2) 学校種別・設置者別	
(3) 障害種別・学校種別	
(4) 障害種別・学科（専攻）別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）	
3. 障害学生在籍学校数	16
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別	
4. 支援障害学生数	19
(1) 学校種別・課程別	
(2) 学校種別・設置者別	
(3) 障害種別・学校種別	
(4) 障害種別・学科（専攻）別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）	
5. 支援障害学生在籍学校数	28
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別	
6. 支援の実施状況	31
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別	
ア 授業支援（総表）	
イ 授業以外の支援（総表）	
ウ 授業支援（大学）	
エ 授業以外の支援（大学）	
オ 授業支援（短期大学）	
カ 授業以外の支援（短期大学）	
キ 授業支援（高等専門学校）	
ク 授業以外の支援（高等専門学校）	

(3) 主な授業支援	
ア 視覚障害	
イ 聴覚・言語障害	
ウ 肢体不自由	
エ 病弱・虚弱	
オ 発達障害	
カ 精神障害	
7. 障害学生支援に関する体制等	43
(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等 (障害学生数別・学校種別)	
(2) 専門委員会等の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(3) 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(4) 1) 障害学生支援担当部署の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
2) 障害学生支援担当者の配置状況 (障害学生数別・学校種別)	
3) 障害学生支援担当者の職種 (職種別・障害学生在籍数別)	
(5) 障害学生の相談受付窓口	
(6) 支援の申し出等に関する対応手順	
(7) 施設・設備の整備状況 (学校種別・内容別)	
(8) 支援学生 (障害学生を支援する学生) 在籍学校数 (支援学生数別・学校種別)	
8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況	53
(1) 学校種別・障害学生在籍者数別	
(2) 学校種別・内容別	
9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等	57
(1) 入学者選抜における配慮に関する体制	
(2) 入学者選抜において実施可能な配慮	
(3) 障害のある入学者数等 (障害種別・学校種別)	
(4) 受験上の配慮を行なった受験者数 (障害種別・学校種別)	
(5) 入学者選抜において実施した配慮の内容 (障害種別)	
10. 障害学生の卒業後の進路	66
進路状況 (学校種別・障害種別)	
11. 発達障害学生支援状況 (一部再掲)	69
(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 (学校種別)	
(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 (学科 (専攻) 別)	
(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 (学校種別)	
(4) 発達障害のある学生への支援 (支援内容別)	
(5) 発達障害を理由とする受験上の配慮 (学校種別)	
(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況 (学校種別)	
<IV・参考資料>	
調査の手引	75
調査票 (大学・大学院用)	87

< I・調査方法等 >

1. 調査概要

- (1) 目的：障害のある学生（以下「障害学生」という）の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「学校」という）における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象：大学（大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ）、短期大学（大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。以下同じ）、高等専門学校（専攻科を含む。以下同じ）
- (3) 調査方法：悉皆調査
- 各学校が独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトより調査票をダウンロードし、回答を記入後、メール添付にて提出する。
- (4) 調査期日：平成 29 年 5 月 1 日現在

2. 表記区分

(1) 学校種別

学校種別	区 分
大 学	大学(大学院、大学院大学及び専攻科を含む)
短期大学	短期大学(大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む)

(2) 課程別

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	本科(通学)	本科生
	専攻科	専攻科生

※調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含まない。

(3) 障害種別

障害種別	区 分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	内部障害等、他の慢性疾患
重複	重複
発達障害 (診断書有)	S L D (限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、A S D (自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)、発達障害の重複
精神障害	統合失調症等、気分障害、神経症性障害等、摂食障害・睡眠障害等、他の精神障害
その他の障害	上記に該当しない障害
発達障害 (診断書無・配慮有)	S L D (限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、A S D (自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)

3. 注意事項

(1) 本調査における用語の定義

- ①「障害学生」とは、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生(重複する場合は実数)
- ②「支援障害学生」とは、学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている(今年度中の支援予定を含む)障害学生

支援例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障、学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

③障害種別の内訳区分

【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度

弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度

【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能、又は著しく困難な程度

難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話声を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害(構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂)

【肢体不自由】

上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害

下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害

上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】

内部障害等……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

他の慢性疾患……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者（てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者はここに計上する）※上記は、「学校教育法施行令 障害の程度」及び「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾患」に該当する者を指す。これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】

以下の通り、障害が重複している者

○ 2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○ 3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

※発達障害又は精神障害と他の障害の重複については、ここには計上しない。

（別途調査：14,15 ページ、26,27 ページ参照）

【発達障害（診断書有）】

発達障害に関する医師の診断書がある者

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（ICD-10 F20-F29 に該当する疾患）

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分（感情）障害等（ICD-10 F30-F39 に該当する疾患）

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害（強迫神経症）、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48 に該当する疾患）

摂食障害・睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10 F50-F59 に該当する疾患）

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、性別違和（性同一性障害）、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

(2) 発達障害学生数について

発達障害については、医師の診断書がない場合は「障害学生数」には含めていない。しかしながら、学校における支援の実態等に鑑み、以下の定義により、発達障害（診断書無・配慮有）の学生数、支援内容について回答を得ている。

【発達障害（診断書無・配慮有）】

発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

< Ⅱ・回収状況 >

回収状況

本年度の回収率は100%。

なお、本調査の回収率は、調査を開始した平成17年度が90.5%、平成18年度が93.8%、平成19年度からは、平成24年度（※）を除き回収率100%を達成している。

※閉校となる私立大学1校が未回答のため99.9%

区 分		対象校数 (校)		回答校数 (校)		回収率 (%)	
大学	国立	86	(86)	86	(86)	100.0	(100.0)
	公立	89	(88)	89	(88)	100.0	(100.0)
	私立	607	(604)	607	(604)	100.0	(100.0)
	小計	782	(778)	782	(778)	100.0	(100.0)
短期大学	国立	—	(—)	—	(—)	—	(—)
	公立	16	(17)	16	(17)	100.0	(100.0)
	私立	315	(319)	315	(319)	100.0	(100.0)
	小計	331	(336)	331	(336)	100.0	(100.0)
高等専門 学校	国立	51	(51)	51	(51)	100.0	(100.0)
	公立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	私立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	小計	57	(57)	57	(57)	100.0	(100.0)
計		1,170	(1,171)	1,170	(1,171)	100.0	(100.0)

【留意点】

①表中の（ ）内は、平成28年度の調査結果の数値である。

②表中の比率（%）については、四捨五入の都合で内訳の和と合計の値が合わない場合がある。

※上記の【留意点】については、次の<Ⅲ・調査結果及びその概要>においても同様である。

< Ⅲ・調査結果及びその概要 >

1. 学校全体の学生数

学校からの回答における平成29年5月1日時点の学生数

表1 学校全体の学生数

区 分		学部 (通学) (人)	学部 (通信) (人)	大学院 (通学) (人)	大学院 (通信) (人)	専攻科 (人)	計 (人)
大学	国立	441,954 (444,391)	—	150,748 (150,023)	—	262 (289)	592,964 (594,703)
	公立	133,819 (131,315)	—	16,016 (16,066)	—	127 (100)	149,962 (147,481)
	私立	2,006,042 (1,991,267)	163,835 (165,387)	82,539 (80,574)	3,923 (4,125)	706 (455)	2,257,045 (2,241,808)
	小計	2,581,815 (2,566,973)	163,835 (165,387)	249,303 (246,663)	3,923 (4,125)	1,095 (844)	2,999,971 (2,983,992)
短期大学	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	6,589 (6,660)	—	—	—	116 (23)	6,705 (6,683)
	私立	112,957 (116,491)	20,366 (20,815)	—	—	1,731 (2,915)	135,054 (140,221)
	小計	119,546 (123,151)	20,366 (20,815)	—	—	1,847 (2,938)	141,759 (146,904)
高等 専門学校	国立	48,660 (48,806)	—	—	—	2,908 (2,766)	51,568 (51,572)
	公立	2,767 (2,752)	—	—	—	186 (130)	2,953 (2,882)
	私立	2,173 (2,250)	—	—	—	27 (44)	2,200 (2,294)
	小計	53,600 (53,808)	—	—	—	3,121 (2,940)	56,721 (56,748)
計		2,754,961 (2,743,932)	184,201 (186,202)	249,303 (246,663)	3,923 (4,125)	6,063 (6,722)	3,198,451 (3,187,644)

2. 障害学生数

(1) 学校種別・課程別

< 概要 >

- 「大学、短期大学及び高等専門学校」の障害学生数は31,204人で、前年度（27,256人）より3,948人の増。
- 全学生（3,198,451人）に占める障害学生の在籍率は0.98%で、前年度（0.86%）より0.12ポイントの増。
- 学校種別で見ると次のとおり。
 - ・「大学」に在籍している障害学生は28,430人で、前年度（24,687人）より3,743人の増。
 - ・「短期大学」は1,434人で前年度（1,411人）より23人の増。「高等専門学校」は1,340人で前年度（1,158人）より182人の増。
- 課程別で見ると次のとおり。
 - ・在籍者が最も多いのは「大学の学部（通学）」の24,535人で前年度（20,974人）より3,561人の増。次いで「大学院（通学）」の2,000人で前年度（1,782人）より218人の増。以下は「大学の学部（通信）」の1,838人で前年度（1,882人）より44人の減。「短期大学の学科（通学）」の1,390人で前年度（1,360人）より30人の増。「高等専門学校の本科（通学）」の1,280人で前年度（1,107人）より173人の増。
 - ・障害学生在籍率が最も高いのは「高等専門学校の本科（通学）」の2.39%で前年度（2.06%）より0.33ポイントの増。

表2 障害学生数 [学校種別・課程別]

区 分		障害学生数 (人)		学生数 (人)		障害学生 在籍率(※) (%)	
大学	学部(通学)	24,535	(20,974)	2,581,815	(2,566,973)	0.95	(0.82)
	学部(通信)	1,838	(1,882)	163,835	(165,387)	1.12	(1.14)
	大学院(通学)	2,000	(1,782)	249,303	(246,663)	0.80	(0.72)
	大学院(通信)	43	(40)	3,923	(4,125)	1.10	(0.97)
	専攻科	14	(9)	1,095	(844)	1.28	(1.07)
	小計	28,430	(24,687)	2,999,971	(2,983,992)	0.95	(0.83)
短期大学	学科(通学)	1,390	(1,360)	119,546	(123,151)	1.16	(1.10)
	学科(通信)	30	(32)	20,366	(20,815)	0.15	(0.15)
	専攻科	14	(19)	1,847	(2,938)	0.76	(0.65)
	小計	1,434	(1,411)	141,759	(146,904)	1.01	(0.96)
高等 専門学校	本科(通学)	1,280	(1,107)	53,600	(53,808)	2.39	(2.06)
	専攻科	60	(51)	3,121	(2,940)	1.92	(1.73)
	小計	1,340	(1,158)	56,721	(56,748)	2.36	(2.04)
計		31,204	(27,256)	3,198,451	(3,187,644)	0.98	(0.86)

※ 障害学生在籍率：障害学生数÷学生数×100(%)

(2) 学校種別・設置者別

< 概要 >

○学校種別・設置者別で見ると次のとおり。

- ・障害学生数が最も多いのは「私立大学」の21,014人で、前年度(18,022人)より2,992人の増。次いで「国立大学」の5,790人で前年度(5,257人)より533人の増。「公立大学」の1,626人で前年度(1,408人)より218人の増。「私立短期大学」の1,403人で前年度(1,352人)より51人の増。「国立高等専門学校」の1,270人で前年度(1,114人)より156人の増。
- ・障害学生在籍率が最も高いのは「国立高等専門学校」の2.46%で前年度(2.16%)より0.30ポイントの増。以下「私立高等専門学校」1.91%(同1.31%)、「公立大学」1.08%(同0.95%)、「私立短期大学」1.04%(同0.96%)。
- ・障害学生在籍率が最も低いのは「公立短期大学」の0.46%で前年度(0.88%)より0.42ポイントの減。

表3 障害学生数 [学校種別・設置者別]

区 分		障害学生数 (人)		学生数 (人)		障害学生 在籍率(※) (%)	
大学	国立	5,790	(5,257)	592,964	(594,703)	0.98	(0.88)
	公立	1,626	(1,408)	149,962	(147,481)	1.08	(0.95)
	私立	21,014	(18,022)	2,257,045	(2,241,808)	0.93	(0.80)
	小計	28,430	(24,687)	2,999,971	(2,983,992)	0.95	(0.83)
短期大学	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	31	(59)	6,705	(6,683)	0.46	(0.88)
	私立	1,403	(1,352)	135,054	(140,221)	1.04	(0.96)
	小計	1,434	(1,411)	141,759	(146,904)	1.01	(0.96)
高等 専門学校	国立	1,270	(1,114)	51,568	(51,572)	2.46	(2.16)
	公立	28	(14)	2,953	(2,882)	0.95	(0.49)
	私立	42	(30)	2,200	(2,294)	1.91	(1.31)
	小計	1,340	(1,158)	56,721	(56,748)	2.36	(2.04)
計		31,204	(27,256)	3,198,451	(3,187,644)	0.98	(0.86)

※ 障害学生在籍率：障害学生数÷学生数×100(%)

(3) 障害種別・学校種別

< 概要 >

○障害種別で見ると次のとおり。

- ・最も多いのは「病弱・虚弱」の10,443人で前年度（9,388人）より1,055人の増。次いで「精神障害」の8,289人で前年度（6,776人）より1,513人の増。以下は「発達障害（診断書有）」の5,174人で前年度（4,148人）より1,026人の増。「肢体不自由」の2,555人で前年度（2,659人）より104人の減。「聴覚・言語障害」の1,951人で前年度（1,917人）より34人の増。

表4 障害学生数〔障害種別・学校種別〕

区分		大学 (人)	短期大学 (人)	高等 専門学校 (人)	計 (人)	構成比 (%)
視覚 障害	盲	176 (159)	0 (1)	0 (0)	176 (160)	0.6 (0.6)
	弱視	608 (591)	9 (6)	38 (33)	655 (630)	2.1 (2.3)
	小計	784 (750)	9 (7)	38 (33)	831 (790)	2.7 (2.9)
聴覚・ 言語 障害	聾	565 (568)	4 (5)	2 (2)	571 (575)	1.8 (2.1)
	難聴	1,184 (1,157)	62 (58)	60 (47)	1,306 (1,262)	4.2 (4.6)
	言語障害のみ 小計	70 (72)	1 (5)	3 (3)	74 (80)	0.2 (0.3)
肢体 不自由	上肢機能障害	332 (361)	12 (14)	3 (9)	347 (384)	1.1 (1.4)
	下肢機能障害	869 (913)	32 (36)	14 (14)	915 (963)	2.9 (3.5)
	上下肢機能障害	777 (814)	22 (19)	6 (6)	805 (839)	2.6 (3.1)
	他の機能障害 小計	460 (452)	21 (15)	7 (6)	488 (473)	1.6 (1.7)
病弱・ 虚弱	内部障害等	5,181 (4,413)	348 (281)	214 (151)	5,743 (4,845)	18.4 (17.8)
	他の慢性疾患 小計	4,121 (3,873)	385 (437)	194 (233)	4,700 (4,543)	15.1 (16.7)
	重複	9,302 (8,286)	733 (718)	408 (384)	10,443 (9,388)	33.5 (34.4)
発達障害 (診断書 有)	S L D	153 (133)	14 (18)	24 (19)	191 (170)	0.6 (0.6)
	A D H D	997 (667)	34 (23)	156 (116)	1,187 (806)	3.8 (3.0)
	A S D	2,746 (2,285)	72 (82)	300 (267)	3,118 (2,634)	10.0 (9.7)
	発達障害の重複 小計	562 (434)	14 (14)	102 (90)	678 (538)	2.2 (2.0)
	小計	4,458 (3,519)	134 (137)	582 (492)	5,174 (4,148)	16.6 (15.2)
精神障害	統合失調症等	783 (762)	27 (26)	12 (11)	822 (799)	2.6 (2.9)
	気分障害	2,408 (1,989)	71 (65)	36 (24)	2,515 (2,078)	8.1 (7.6)
	神経症性障害等	2,919 (2,300)	81 (97)	41 (27)	3,041 (2,424)	9.7 (8.9)
	摂食障害・睡眠障害等 他の精神障害 小計	777 (510)	37 (34)	20 (22)	834 (566)	2.7 (2.1)
	993 (832)	64 (58)	20 (19)	1,077 (909)	3.5 (3.3)	
小計	7,880 (6,393)	280 (280)	129 (103)	8,289 (6,776)	26.6 (24.9)	
その他の障害	1,314 (1,025)	106 (105)	79 (55)	1,499 (1,185)	4.8 (4.3)	
計	28,430 (24,687)	1,434 (1,411)	1,340 (1,158)	31,204 (27,256)	100.0 (100.0)	

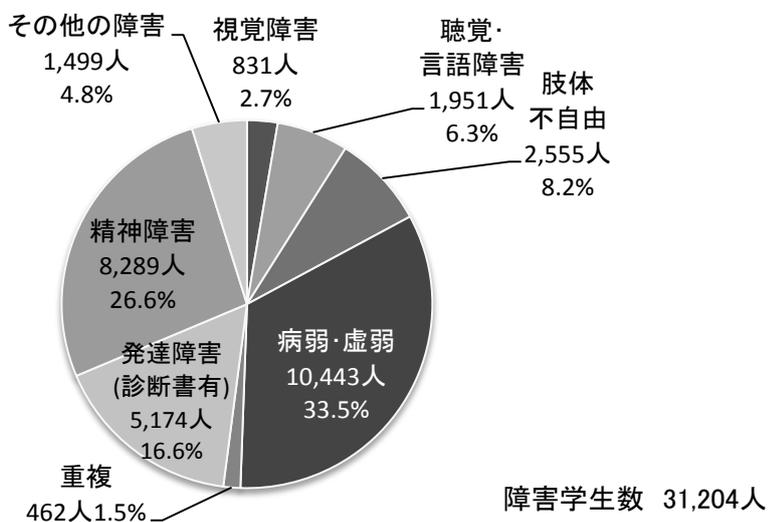


図1 障害学生数(障害種別)

(4) 障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

< 概要 >

○大学に在籍している障害学生（28,430人）を学科（専攻）別に見ると、構成比が10%を超えているのは次のとおり。

- ・多い順に「社会科学」6,854人（構成比24.1%）、「人文科学」5,381人（同18.9%）、
「工学」4,669人（同16.4%）。

表5 障害学生数〔障害種別・学科(専攻)別〕(大学)

区分	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	計	
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
視覚障害	盲	27	26	2	13	0	1	12	0	0	6	12	77	176
	弱視	61	148	24	75	7	4	110	1	7	49	18	104	608
	小計	88	174	26	88	7	5	122	1	7	55	30	181	784
言語聴覚障害	聾	77	140	8	212	5	3	13	0	6	55	20	26	565
	難聴	169	313	43	159	29	29	150	0	42	110	57	83	1,184
	言語障害のみ	5	23	4	10	1	2	9	0	0	7	4	5	70
	小計	251	476	55	381	35	34	172	0	48	172	81	114	1,819
不自由	上肢機能障害	71	110	9	35	7	8	15	0	3	27	15	32	332
	下肢機能障害	164	265	20	88	13	14	85	1	9	57	37	116	869
	上下肢機能障害	150	303	28	53	7	7	39	0	2	29	19	140	777
	他の機能障害	80	147	9	49	6	3	30	0	3	19	19	95	460
	小計	465	825	66	225	33	32	169	1	17	132	90	383	2,438
虚弱・重複	内部障害等	817	1,304	162	871	231	107	591	0	241	378	190	289	5,181
	他の慢性疾患	589	976	83	676	184	83	476	0	257	407	186	204	4,121
	小計	1,406	2,280	245	1,547	415	190	1,067	0	498	785	376	493	9,302
(発達障害)	S L D	32	49	3	26	7	1	4	0	0	6	15	10	153
	A D H D	228	216	48	174	45	11	41	0	23	49	94	68	997
	A S D	610	607	188	603	138	26	151	2	29	65	149	178	2,746
	発達障害の重複	110	134	45	133	17	6	28	0	7	20	30	32	562
	小計	980	1,006	284	936	207	44	224	2	59	140	288	288	4,458
精神障害	統合失調症等	179	206	36	108	25	16	45	0	15	28	64	61	783
	気分障害	573	465	85	336	116	83	170	0	42	142	204	192	2,408
	神経症性障害等	726	658	113	485	93	57	158	2	54	140	152	281	2,919
	摂食障害・睡眠障害等	155	160	33	109	46	25	61	0	36	52	41	59	777
	他の精神障害	224	235	54	120	36	13	71	0	32	44	86	78	993
小計	1,857	1,724	321	1,158	316	194	505	2	179	406	547	671	7,880	
その他の障害	258	263	37	241	60	19	110	0	42	113	77	94	1,314	
計	5,381	6,854	1,039	4,669	1,077	520	2,429	6	855	1,821	1,501	2,278	28,430	
構成比 (%)	18.9	24.1	3.7	16.4	3.8	1.8	8.5	0.0	3.0	6.4	5.3	8.0	100.0	

※ 学科(専攻)の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(4) 障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

< 概要 >

○短期大学に在籍している障害学生（1,434人）を学科（専攻）別に見ると、構成比が10%を超えているのは次のとおり。

・多い順に「教育」414人（構成比28.9%）、「家政」370人（同25.8%）。

表6 障害学生数〔障害種別・学科(専攻)別〕(短期大学)

区 分		人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他	計
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
短期大学	視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		弱視	2	1	0	0	0	0	4	1	1	0
		小計	2	1	0	0	0	0	4	1	1	0
	言聴 語覚 障・ 害	聾	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1
		難聴	8	6	1	2	1	8	10	20	2	4
		言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		小計	8	6	1	2	1	8	11	22	3	5
	不肢 自由	上肢機能障害	1	0	1	0	0	0	6	4	0	0
		下肢機能障害	5	7	1	1	0	1	7	5	0	5
		上下肢機能障害	3	6	0	3	0	0	2	5	0	3
		他の機能障害	2	2	0	0	0	5	3	3	3	3
		小計	11	15	2	4	0	6	18	17	3	11
	病弱・ 虚弱	内部障害等	21	33	4	9	1	42	99	115	10	14
		他の慢性疾患	14	31	11	8	1	38	110	144	10	18
		小計	35	64	15	17	2	80	209	259	20	32
	重複	0	1	0	1	0	0	9	2	5	0	
	(発達 障害 書有)	S L D	1	0	0	4	0	1	4	3	0	1
		A D H D	4	1	0	5	0	2	8	8	3	3
		A S D	8	8	2	12	1	2	19	5	8	7
		発達障害の重複	3	0	2	0	0	0	3	1	3	2
		小計	16	9	4	21	1	5	34	17	14	13
	精神 障害	統合失調症等	7	4	0	0	0	2	7	3	2	2
		気分障害	10	3	1	1	0	10	12	23	3	8
		神経症性障害等	22	6	1	1	0	1	18	21	6	5
		摂食障害・睡眠障害等	9	1	1	4	0	3	5	9	2	3
		他の精神障害	8	2	1	4	0	6	16	10	6	11
小計		56	16	4	10	0	22	58	66	19	29	
その他の障害	10	9	3	7	0	9	27	30	5	6		
計	138	121	29	62	4	130	370	414	70	96		
構成比 (%)	9.6	8.4	2.0	4.3	0.3	9.1	25.8	28.9	4.9	6.7		

※ 学科(専攻)の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(4) 障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

< 概要 >

○高等専門学校に在籍している障害学生(1,340人)を学科(専攻)別に見ると、構成比の98.9%を占めているのが「工業」1,325人。

表7 障害学生数〔障害種別・学科(専攻)別〕(高等専門学校)

区 分		社 会	工 業	商 船	芸 術	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
高等専門学校	視覚障害	盲	0	0	0	0	0
		弱視	0	38	0	0	38
		小計	0	38	0	0	38
	言聴 語覚 障・ 害	聾	0	2	0	0	2
		難聴	0	60	0	0	60
		言語障害のみ	0	3	0	0	3
		小計	0	65	0	0	65
	不肢 自由	上肢機能障害	0	3	0	0	3
		下肢機能障害	0	13	0	1	14
		上下肢機能障害	0	6	0	0	6
		他の機能障害	0	7	0	0	7
		小計	0	29	0	1	30
	病弱・ 虚弱	内部障害等	0	212	0	2	214
		他の慢性疾患	1	189	0	4	194
		小計	1	401	0	6	408
	重複	0	9	0	0	9	
	(発達障害 有)	S L D	0	24	0	0	24
		A D H D	0	155	1	0	156
		A S D	0	299	1	0	300
		発達障害の重複	0	101	1	0	102
		小計	0	579	3	0	582
	精神障害	統合失調症等	0	12	0	0	12
		気分障害	0	36	0	0	36
		神経症性障害等	1	39	1	0	41
		摂食障害・睡眠障害等	1	18	0	1	20
		他の精神障害	0	20	0	0	20
		小計	2	125	1	1	129
その他の障害	0	79	0	0	79		
計		3	1,325	4	8	1,340	
構成比 (%)		0.2	98.9	0.3	0.6	100.0	

※ 学科(専攻)の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）

< 概要 >

○発達障害と他の障害が重複している障害学生の数を障害種別で見ると、精神障害との重複が最も多く175人（構成比57.2%）。次いで病弱・虚弱との重複が60人（同19.6%）となっている。

○精神障害と他の障害が重複している障害学生の数を障害種別で見ると、発達障害との重複が最も多く237人（同58.4%）。次いで病弱・虚弱との重複が85人（同20.9%）となっている。

なお、発達障害と精神障害の重複については、いずれか主となる障害の側に計上されている。

表8 発達障害と他の障害が重複している障害学生数〔障害種別〕

区分	大学					短期大学					高等専門学校					計	構成比	
	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計			
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			(人)
視覚障害	盲	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3
	弱視	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.0
	小計	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.3
聴覚・言語障害	聾	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3
	難聴	0	1	8	0	9	0	0	0	0	0	0	1	1	2	11	3.6	
	言語障害のみ	0	1	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.3	
	小計	0	3	10	1	14	0	0	0	0	0	0	1	1	2	16	5.2	
不自由	上肢機能障害	0	0	3	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4	1.3
	下肢機能障害	0	1	7	0	8	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	10	3.3
	上下肢機能障害	1	0	4	1	6	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	2.3
	他の機能障害	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3
	小計	1	1	15	1	18	1	1	0	1	3	0	0	1	0	1	22	7.2
病弱・虚弱	内部障害等	0	3	9	5	17	0	1	3	0	4	0	0	0	0	0	21	6.9
	他の慢性疾患	3	6	16	3	28	1	2	1	0	4	0	4	2	1	7	39	12.7
	小計	3	9	25	8	45	1	3	4	0	8	0	4	2	1	7	60	19.6
重複	0	3	6	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3.3	
精神障害	統合失調症等	1	3	6	4	14	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	15	4.9
	気分障害	1	18	19	9	47	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	48	15.7
	神経症性障害等	1	12	42	8	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	20.6
	摂食障害・睡眠障害等	0	6	7	4	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	5.6
	他の精神障害	0	4	18	10	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	10.5
	小計	3	43	92	35	173	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	175	57.2
その他の障害	0	3	11	3	17	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	19	6.2	
計	7	62	163	49	281	2	4	7	1	14	0	4	5	2	11	306	100.0	

表9 精神障害と他の障害が重複している障害学生数[障害種別]

区分	大学						短期大学						高等専門学校						計	構成比		
	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計				
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			(人)	
視覚障害	盲	0	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.7
	弱視	1	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.7
	小計	1	2	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1.5
聴覚・言語障害	聾	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.5
	難聴	3	1	2	0	1	7	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	9	2.2
	言語障害のみ	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.7
	小計	4	1	5	0	2	12	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	14	3.4
肢体不自由	上肢機能障害	1	0	1	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.0
	下肢機能障害	3	1	4	0	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3.0
	上下肢機能障害	1	3	5	0	7	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	3.9
	他の機能障害	0	1	2	0	1	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1.2
	小計	5	5	12	0	14	36	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	37	9.1
病弱・虚弱	内部障害等	2	6	14	4	9	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	8.6
	他の慢性疾患	5	12	20	2	8	47	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	1	50	12.3
	小計	7	18	34	6	17	82	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	1	85	20.9
重複	0	0	3	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	4	4	8	2.0	
発達障害	S L D	0	2	1	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.0
	A D H D	1	17	18	13	2	51	0	1	1	1	0	3	0	0	1	1	0	2	2	56	13.8
	A S D	9	45	59	12	30	155	0	0	2	0	1	3	1	1	2	0	0	4	4	162	39.9
	発達障害の重複	1	3	6	0	3	13	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	15	3.7
	小計	11	67	84	25	36	223	0	1	4	1	1	7	1	2	3	1	0	7	7	237	58.4
その他の障害	1	4	10	1	2	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	19	4.7	
計	29	97	148	32	75	381	0	3	5	2	2	12	1	3	4	3	2	13	13	406	100.0	

3. 障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

< 概要 >

○障害学生が在籍している学校は914校で、前年度（899校）より15校の増。

○全学校（1,170校）に占める障害学生在籍校（914校）の割合は78.1%で、前年度（76.8%）より1.3ポイントの増。

○障害種別の在籍校数が多い順に並べると次のとおり。

「精神障害」665校（前年度596校）、「病弱・虚弱」647校（同629校）、「発達障害（診断書有）」632校（同572校）、「肢体不自由」542校（同573校）、「聴覚・言語障害」495校（同478校）、「その他の障害」324校（同311校）、「視覚障害」265校（同245校）、「重複」159校（同166校）。

表10 障害学生在籍学校数〔障害種別・学校種別〕

区 分		大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	盲	57 (55)	0 (1)	0 (0)	57 (56)
	弱視	222 (210)	9 (6)	14 (11)	245 (227)
	視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	242 (227)	9 (7)	14 (11)	265 (245)
聴覚・ 言語障害	聾	112 (111)	4 (5)	2 (2)	118 (118)
	難聴	378 (362)	46 (44)	24 (21)	448 (427)
	言語障害のみ	50 (52)	1 (4)	2 (2)	53 (58)
	聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	421 (405)	50 (51)	24 (22)	495 (478)
肢体 不自由	上肢機能障害	175 (195)	11 (14)	3 (6)	189 (215)
	下肢機能障害	332 (354)	27 (33)	10 (11)	369 (398)
	上下肢機能障害	279 (280)	16 (18)	6 (5)	301 (303)
	他の機能障害	159 (166)	17 (14)	4 (2)	180 (182)
	肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	466 (490)	57 (64)	19 (19)	542 (573)
病弱・虚弱	内部障害等	457 (434)	98 (75)	31 (27)	586 (536)
	他の慢性疾患	345 (322)	72 (91)	28 (24)	445 (437)
	病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	494 (484)	116 (112)	37 (33)	647 (629)
重複	重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	143 (156)	12 (9)	4 (1)	159 (166)
発達障害 (診断書有)	SLD	100 (88)	11 (13)	12 (12)	123 (113)
	ADHD	320 (250)	24 (17)	45 (35)	389 (302)
	ASD	436 (392)	50 (41)	44 (42)	530 (475)
	発達障害の重複	223 (189)	13 (11)	30 (27)	266 (227)
	発達障害(診断書有)学生が 1人以上在籍する学校数	502 (459)	78 (67)	52 (46)	632 (572)
精神障害	統合失調症等	279 (258)	25 (23)	11 (8)	315 (289)
	気分障害	345 (327)	48 (39)	13 (10)	406 (376)
	神経症性障害等	391 (354)	48 (44)	22 (16)	461 (414)
	摂食障害・睡眠障害等	251 (202)	25 (23)	14 (12)	290 (237)
	他の精神障害	303 (267)	41 (30)	14 (11)	358 (308)
	精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	523 (474)	105 (91)	37 (31)	665 (596)
その他の障害	その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	261 (248)	40 (47)	23 (16)	324 (311)
障害学生在籍学校数		673 (667)	186 (180)	55 (52)	914 (899)
比率 (%) (※)		86.1 (85.7)	56.2 (53.6)	96.5 (91.2)	78.1 (76.8)
全学校数		782 (778)	331 (336)	57 (57)	1,170 (1,171)

※ 比率：障害学生在籍学校数÷全学校数（大学782校、短期大学331校、高等専門学校57校）×100(%)

(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別

< 概要 >

○障害学生在籍者数別で見ると次のとおり。

- ・多い順に「21人以上」366校（前年度336校）、「0人」256校（同272校）、「2～5人」203校（同207校）、「11～20人」138校（同138校）、「6～10人」115校（同120校）、「1人」92校（同98校）。

○障害学生が「1人以上在籍」する学校を全学生数の規模別で見ると次のとおり。

- ・多い順に「1,000～1,999人」204校（同201校）、「1～499人」190校（同183校）、「2,000～4,999人」176校（同170校）、「500～999人」174校（同175校）、「5,000～9,999人」102校（同101校）、「10,000人以上」68校（同69校）。

表11 障害学生在籍学校数〔学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別〕

区分	学校種別	障害学生在籍者数								計 ② (校)	1人以上 在籍 ① (校)	1人以上 在籍率 (※2) (%)
		21人 以上 (校)	11～ 20人 (校)	6～ 10人 (校)	2～5人 (校)	1人 (校)	0人 (校)	28年度 在籍校 (※1) (校)				
10,000人 以上	大学	66 (67)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	68 (69)	68 (69)	100.0 (100.0)	
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	小計	66 (67)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	68 (69)	68 (69)	100.0 (100.0)	
5,000 ～ 9,999人	大学	81 (67)	11 (19)	5 (9)	5 (5)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	103 (100)	102 (100)	99.0 (100.0)	
	短期大学	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0.0 (100.0)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	小計	81 (68)	11 (19)	5 (9)	5 (5)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	103 (101)	102 (101)	99.0 (100.0)	
2,000 ～ 4,999人	大学	95 (87)	31 (33)	25 (24)	17 (20)	4 (4)	1 (3)	0 (0)	173 (171)	172 (168)	99.4 (98.2)	
	短期大学	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	4 (3)	4 (2)	100.0 (66.7)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	小計	95 (87)	32 (33)	26 (24)	18 (21)	5 (5)	1 (4)	0 (0)	177 (174)	176 (170)	99.4 (97.7)	
1,000 ～ 1,999人	大学	57 (46)	31 (32)	26 (23)	38 (48)	15 (15)	21 (22)	(7)	188 (186)	167 (164)	88.8 (88.2)	
	短期大学	1 (2)	3 (4)	1 (2)	3 (2)	1 (1)	1 (1)	(0)	10 (12)	9 (11)	90.0 (91.7)	
	高等専門学校	12 (10)	10 (9)	2 (3)	3 (3)	1 (1)	1 (3)	(0)	29 (29)	28 (26)	96.6 (89.7)	
	小計	70 (58)	44 (45)	29 (28)	44 (53)	17 (17)	23 (26)	(7)	227 (227)	204 (201)	89.9 (88.5)	
500 ～ 999人	大学	20 (21)	16 (12)	16 (17)	30 (36)	17 (17)	28 (26)	(10)	127 (129)	99 (103)	78.0 (79.8)	
	短期大学	4 (6)	7 (4)	9 (11)	20 (15)	9 (10)	25 (30)	(8)	74 (76)	49 (46)	66.2 (60.5)	
	高等専門学校	13 (8)	5 (5)	2 (6)	6 (6)	0 (1)	1 (2)	(0)	27 (28)	26 (26)	96.3 (92.9)	
	小計	37 (35)	28 (21)	27 (34)	56 (57)	26 (28)	54 (58)	(18)	228 (233)	174 (175)	76.3 (75.1)	
1 ～ 499人	大学	8 (9)	8 (7)	9 (8)	20 (24)	20 (15)	58 (60)	(8)	123 (123)	65 (63)	52.8 (51.2)	
	短期大学	9 (12)	14 (12)	19 (17)	58 (46)	24 (33)	119 (124)	(15)	243 (244)	124 (120)	51.0 (49.2)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	1 (0)	1 (0)	100.0 (0.0)	
	小計	17 (21)	22 (19)	28 (25)	79 (70)	44 (48)	177 (184)	(23)	367 (367)	190 (183)	51.8 (49.9)	
学校 種別 計	大学	327 (297)	98 (104)	81 (81)	111 (134)	56 (51)	109 (111)	(26)	782 (778)	673 (667)	86.1 (85.7)	
	短期大学	14 (21)	25 (20)	30 (30)	82 (64)	35 (45)	145 (156)	(23)	331 (336)	186 (180)	56.2 (53.6)	
	高等専門学校	25 (18)	15 (14)	4 (9)	10 (9)	1 (2)	2 (5)	(0)	57 (57)	55 (52)	96.5 (91.2)	
計	366 (336)	138 (138)	115 (120)	203 (207)	92 (98)	256 (272)	(49)	1,170 (1,171)	914 (899)	78.1 (76.8)		
構成比 (%)	31.3 (28.7)	11.8 (11.8)	9.8 (10.2)	17.4 (17.7)	7.9 (8.4)	21.9 (23.2)		100.0 (100.0)				

※1 「28年度在籍校」：平成29年度障害学生数0人の学校のうち、28年度に1人以上の障害学生が在籍していた学校数

※2 1人以上在籍率：①1人以上在籍校数÷②計（項目毎の全体の学校数）×100（%）

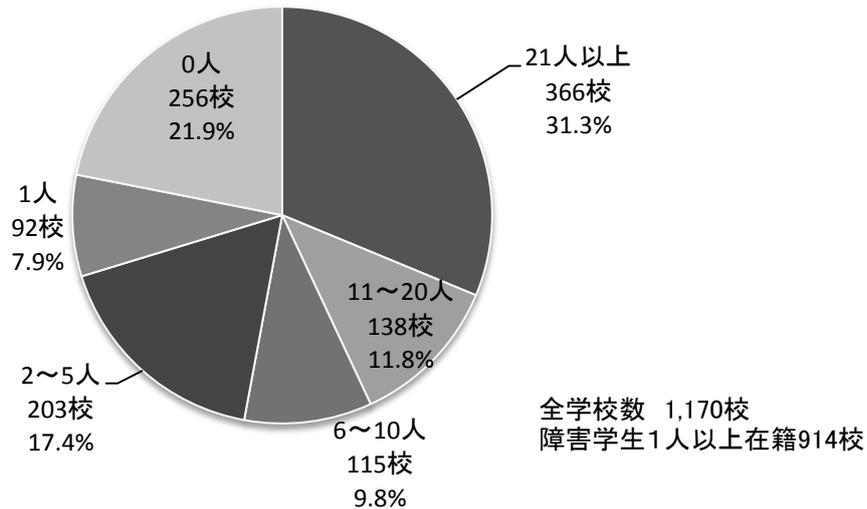


図2 障害学生在籍学校数（障害学生在籍者数別）

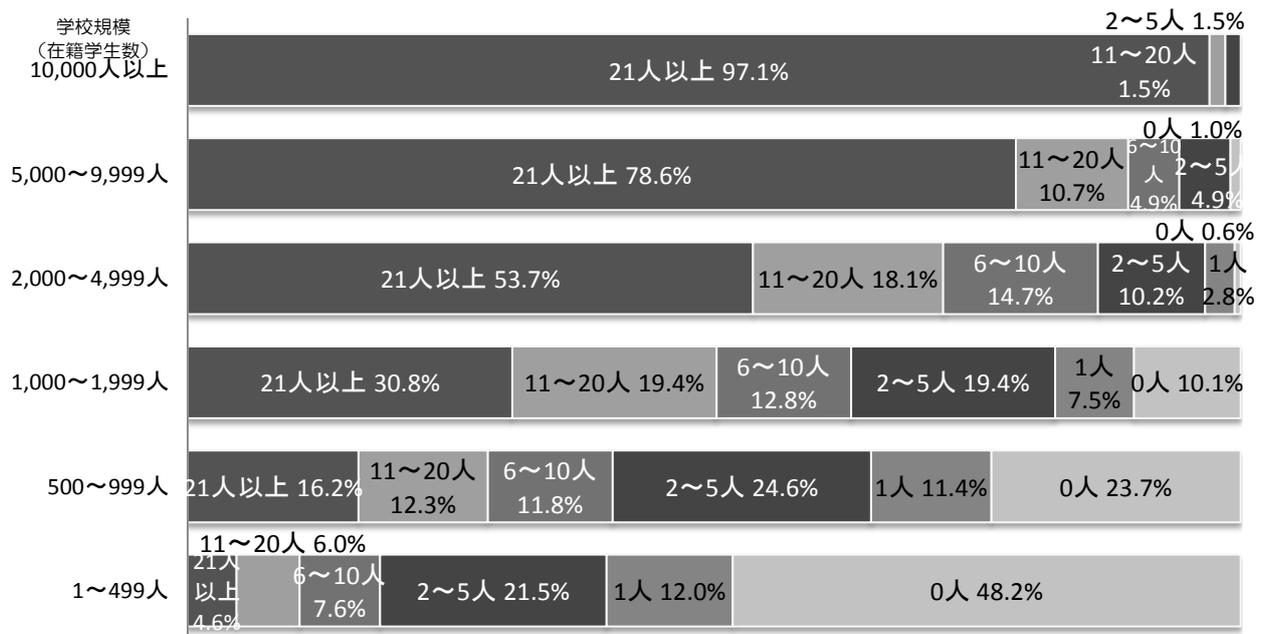


図3 障害学生在籍学校構成比（在籍学生数別・障害学生在籍者数別）

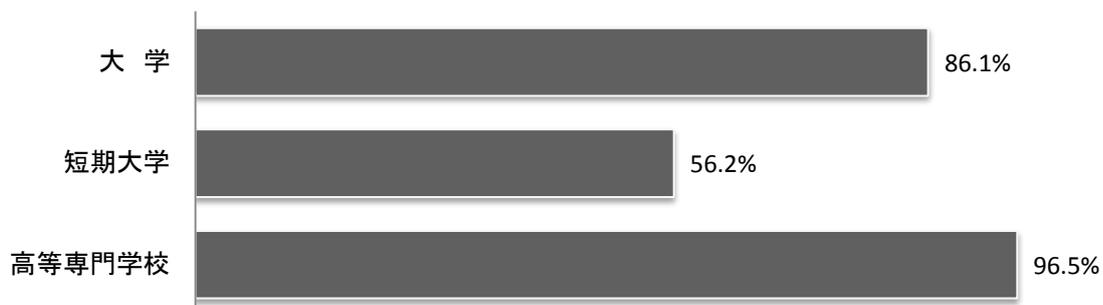


図4 障害学生1人以上在籍率（学校種別）

4. 支援障害学生数

(1) 学校種別・課程別

< 概要 >

- 障害学生（31,204人）のうち支援障害学生（※1）の総数は15,573人で、前年度（13,849人）より1,724人の増。
- 支援障害学生在籍率（※2）は0.49%で前年度（0.43%）より0.06ポイントの増。障害学生支援率（※3）は49.9%で前年度（50.8%）より0.9ポイントの減。
- 学校種別で見ると次のとおり。
 - ・「大学」に在籍している支援障害学生は14,346人で前年度（12,767人）より1,579人の増。
 - ・「短期大学」は508人で前年度（544人）より36人の減。「高等専門学校」は719人で前年度（538人）より181人の増。
- 課程別で見ると次のとおり。
 - ・支援障害学生が最も多いのは「大学の学部（通学）」の12,050人で前年度（10,641人）より1,409人の増。次いで「大学院（通学）」の1,269人で前年度（1,195人）より74人の増。以下は「大学の学部（通信）」の994人で前年度（906人）より88人の増。「高等専門学校の本科（通学）」の683人で前年度（513人）より170人の増。「短期大学の学科（通学）」の489人で前年度（530人）より41人の減。

表12 支援障害学生数 [学校種別・課程別]

区 分		学生数 (人)	障害学生数 (人)	支援障害 学生数 (人)	支援障害学生 在籍率(※2) (%)	障害学生 支援率(※3) (%)
大学	学部(通学)	2,581,815 (2,566,973)	24,535 (20,974)	12,050 (10,641)	0.47 (0.41)	49.1 (50.7)
	学部(通信)	163,835 (165,387)	1,838 (1,882)	994 (906)	0.61 (0.55)	54.1 (48.1)
	大学院(通学)	249,303 (246,663)	2,000 (1,782)	1,269 (1,195)	0.51 (0.48)	63.5 (67.1)
	大学院(通信)	3,923 (4,125)	43 (40)	23 (18)	0.59 (0.44)	53.5 (45.0)
	専攻科	1,095 (844)	14 (9)	10 (7)	0.91 (0.83)	71.4 (77.8)
	小計	2,999,971 (2,983,992)	28,430 (24,687)	14,346 (12,767)	0.48 (0.43)	50.5 (51.7)
短期大学	学科(通学)	119,546 (123,151)	1,390 (1,360)	489 (530)	0.41 (0.43)	35.2 (39.0)
	学科(通信)	20,366 (20,815)	30 (32)	14 (11)	0.07 (0.05)	46.7 (34.4)
	専攻科	1,847 (2,938)	14 (19)	5 (3)	0.27 (0.10)	35.7 (15.8)
	小計	141,759 (146,904)	1,434 (1,411)	508 (544)	0.36 (0.37)	35.4 (38.6)
高等 専門学校	本科(通学)	53,600 (53,808)	1,280 (1,107)	683 (513)	1.27 (0.95)	53.4 (46.3)
	専攻科	3,121 (2,940)	60 (51)	36 (25)	1.15 (0.85)	60.0 (49.0)
	小計	56,721 (56,748)	1,340 (1,158)	719 (538)	1.27 (0.95)	53.7 (46.5)
計		3,198,451 (3,187,644)	31,204 (27,256)	15,573 (13,849)	0.49 (0.43)	49.9 (50.8)

※1 支援障害学生：学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（平成29年度中の予定を含む）障害学生。

※2 支援障害学生在籍率：支援障害学生数÷学生数×100(%)

※3 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

(2) 学校種別・設置者別

< 概要 >

○学校種別・設置者別で見ると次のとおり。

- ・支援障害学生数が最も多いのは「私立大学」の9,826人で、前年度(8,464人)より1,362人の増。次いで「国立大学」の3,862人で前年度(3,735人)より127人の増。「国立高等専門学校」の679人で前年度(516人)より163人の増。「公立大学」の658人で前年度(568人)より90人の増。「私立短期大学」の490人で前年度(516人)より26人の減。
- ・支援障害学生在籍率(※2)は、「大学」は0.48%(前年度0.43%)、「短期大学」は0.36%(同0.37%)、「高等専門学校」は1.27%(同0.95%)となっている。
- ・障害学生支援率(※3)については、「公立高等専門学校」67.9%(同64.3%)、「国立大学」66.7%(同71.0%)、「公立短期大学」58.1%(同47.5%)の順に高い。

表13 支援障害学生数 [学校種別・設置者別]

区 分		学生数 (人)	障害学生数 (人)	支援障害 学生数 (人)	支援障害学生 在籍率(※2) (%)	障害学生 支援率(※3) (%)
大学	国立	592,964 (594,703)	5,790 (5,257)	3,862 (3,735)	0.65 (0.63)	66.7 (71.0)
	公立	149,962 (147,481)	1,626 (1,408)	658 (568)	0.44 (0.39)	40.5 (40.3)
	私立	2,257,045 (2,241,808)	21,014 (18,022)	9,826 (8,464)	0.44 (0.38)	46.8 (47.0)
	小計	2,999,971 (2,983,992)	28,430 (24,687)	14,346 (12,767)	0.48 (0.43)	50.5 (51.7)
短期大学	国立	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	公立	6,705 (6,683)	31 (59)	18 (28)	0.27 (0.42)	58.1 (47.5)
	私立	135,054 (140,221)	1,403 (1,352)	490 (516)	0.36 (0.37)	34.9 (38.2)
	小計	141,759 (146,904)	1,434 (1,411)	508 (544)	0.36 (0.37)	35.4 (38.6)
高等 専門学校	国立	51,568 (51,572)	1,270 (1,114)	679 (516)	1.32 (1.00)	53.5 (46.3)
	公立	2,953 (2,882)	28 (14)	19 (9)	0.64 (0.31)	67.9 (64.3)
	私立	2,200 (2,294)	42 (30)	21 (13)	0.95 (0.57)	50.0 (43.3)
	小計	56,721 (56,748)	1,340 (1,158)	719 (538)	1.27 (0.95)	53.7 (46.5)
計		3,198,451 (3,187,644)	31,204 (27,256)	15,573 (13,849)	0.49 (0.43)	49.9 (50.8)

※1 支援障害学生：学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（平成29年度中の予定を含む）障害学生。

※2 支援障害学生在籍率：支援障害学生数÷学生数×100(%)

※3 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

(3) 障害種別・学校種別

< 概要 >

○障害種別で見ると次のとおり。

- ・最も多いのは「精神障害」の5,307人で前年度(4,230人)より1,077人の増。次いで「発達障害(診断書有)」の3,698人で前年度(3,021人)より677人の増。「病弱・虚弱」2,259人で前年度(2,463人)より204人の減。「肢体不自由」1,554人で前年度(1,584人)より30人の減。

○障害学生支援率(※1)を多い順位に並べると次のとおり。

- ・「視覚障害」73.5%(前年度77.2%)、「発達障害(診断書有)」71.5%(同72.8%)、「重複」70.3%(同71.5%)、「聴覚・言語障害」65.6%(同64.7%)、「精神障害」64.0%(同62.4%)、「肢体不自由」60.8%(同59.6%)、「その他の障害」36.0%(同35.4%)、「病弱・虚弱」21.6%(同26.2%)。

表14 支援障害学生数〔障害種別・学校種別〕

区分	大学			短期大学			高等専門学校			計				
	数 障 害 学 生 (人)	学 支 援 率 (%)	支 障 害 学 生 数 (人)	数 障 害 学 生 (人)	学 支 援 率 (%)	支 障 害 学 生 数 (人)	数 障 害 学 生 (人)	学 支 援 率 (%)	支 障 害 学 生 数 (人)	数 障 害 学 生 (人)	学 支 援 率 (%)	構 成 比 (%)	支 障 害 学 生 数 (人)	
視覚障害	盲	176 (159)	165 (150)	93.8 (94.3)	0 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	176 (160)	165 (150)	1.1 (1.1)	93.8 (93.8)
	弱視	608 (591)	427 (443)	70.2 (75.0)	9 (6)	5 (5)	55.6 (83.3)	38 (33)	14 (12)	36.8 (36.4)	655 (630)	446 (460)	2.9 (3.3)	68.1 (73.0)
	小計	784 (750)	592 (593)	75.5 (79.1)	9 (7)	5 (5)	55.6 (71.4)	38 (33)	14 (12)	36.8 (36.4)	831 (790)	611 (610)	3.9 (4.4)	73.5 (77.2)
言語障害・聴覚障害	聾	565 (568)	514 (531)	91.0 (93.5)	4 (5)	3 (3)	75.0 (60.0)	2 (2)	2 (2)	100.0 (100.0)	571 (575)	519 (536)	3.3 (3.9)	90.9 (93.2)
	難聴	1,184 (1,157)	656 (622)	55.4 (53.8)	62 (58)	32 (25)	51.6 (43.1)	60 (47)	39 (20)	65.0 (42.6)	1,306 (1,262)	727 (667)	4.7 (4.8)	55.7 (52.9)
	言語障害のみ	70 (72)	32 (34)	45.7 (47.2)	1 (5)	0 (2)	0.0 (40.0)	3 (3)	2 (2)	66.7 (66.7)	74 (80)	34 (38)	0.2 (0.3)	45.9 (47.5)
	小計	1,819 (1,797)	1,202 (1,187)	66.1 (66.1)	67 (68)	35 (30)	52.2 (44.1)	65 (52)	43 (24)	66.2 (46.2)	1,951 (1,917)	1,280 (1,241)	8.2 (9.0)	65.6 (64.7)
肢体不自由	上肢機能障害	332 (361)	124 (142)	37.3 (39.3)	12 (14)	5 (3)	41.7 (21.4)	3 (9)	2 (4)	66.7 (44.4)	347 (384)	131 (149)	0.8 (1.1)	37.8 (38.8)
	下肢機能障害	869 (913)	511 (521)	58.8 (57.1)	32 (36)	17 (15)	53.1 (41.7)	14 (14)	8 (10)	57.1 (71.4)	915 (963)	536 (546)	3.4 (3.9)	58.6 (56.7)
	上下肢機能障害	777 (814)	544 (558)	70.0 (68.6)	22 (19)	15 (14)	68.2 (73.7)	6 (6)	4 (2)	66.7 (33.3)	805 (839)	563 (574)	3.6 (4.1)	69.9 (68.4)
	他の機能障害	460 (452)	313 (304)	68.0 (67.3)	21 (15)	7 (6)	33.3 (40.0)	7 (6)	4 (5)	57.1 (83.3)	488 (473)	324 (315)	2.1 (2.3)	66.4 (66.6)
	小計	2,438 (2,540)	1,492 (1,525)	61.2 (60.0)	87 (84)	44 (38)	50.6 (45.2)	30 (35)	18 (21)	60.0 (60.0)	2,555 (2,659)	1,554 (1,584)	10.0 (11.4)	60.8 (59.6)
病弱・虚弱	内部障害等	5,181 (4,413)	1,326 (1,166)	25.6 (26.4)	348 (281)	69 (73)	19.8 (26.0)	214 (151)	117 (85)	54.7 (56.3)	5,743 (4,845)	1,512 (1,324)	9.7 (9.6)	26.3 (27.3)
	他の慢性疾患	4,121 (3,873)	556 (955)	13.5 (24.7)	385 (437)	72 (100)	18.7 (22.9)	194 (233)	119 (84)	61.3 (36.1)	4,700 (4,543)	747 (1,139)	4.8 (8.2)	15.9 (25.1)
	小計	9,302 (8,286)	1,882 (2,121)	20.2 (25.6)	733 (718)	141 (173)	19.2 (24.1)	408 (384)	236 (169)	57.8 (44.0)	10,443 (9,388)	2,259 (2,463)	14.5 (17.8)	21.6 (26.2)
重複	435 (377)	305 (270)	70.1 (71.6)	18 (12)	11 (7)	61.1 (58.3)	9 (4)	9 (4)	100.0 (100.0)	462 (393)	325 (281)	2.1 (2.0)	70.3 (71.5)	
(発達障害)	SLD	153 (133)	114 (87)	74.5 (65.4)	14 (18)	13 (12)	92.9 (66.7)	24 (19)	13 (7)	54.2 (36.8)	191 (170)	140 (106)	0.9 (0.8)	73.3 (62.4)
	ADHD	997 (667)	707 (477)	70.9 (71.5)	34 (23)	16 (15)	47.1 (65.2)	156 (116)	74 (42)	47.4 (36.2)	1,187 (806)	797 (534)	5.1 (3.9)	67.1 (66.3)
	ASD	2,746 (2,285)	2,041 (1,794)	74.3 (78.5)	72 (82)	50 (63)	69.4 (76.8)	300 (267)	149 (112)	49.7 (41.9)	3,118 (2,634)	2,240 (1,969)	14.4 (14.2)	71.8 (74.8)
	発達障害の重複	562 (434)	456 (344)	81.1 (79.3)	14 (14)	10 (9)	71.4 (64.3)	102 (90)	55 (59)	53.9 (65.6)	678 (538)	521 (412)	3.3 (3.0)	76.8 (76.6)
	小計	4,458 (3,519)	3,318 (2,702)	74.4 (76.8)	134 (137)	89 (99)	66.4 (72.3)	582 (492)	291 (220)	50.0 (44.7)	5,174 (4,148)	3,698 (3,021)	23.7 (21.8)	71.5 (72.8)
精神障害	統合失調症等	783 (762)	478 (430)	61.0 (56.4)	27 (26)	13 (12)	48.1 (46.2)	12 (11)	8 (10)	66.7 (90.9)	822 (799)	499 (452)	3.2 (3.3)	60.7 (56.6)
	気分障害	2,408 (1,989)	1,435 (1,207)	59.6 (60.7)	71 (65)	37 (40)	52.1 (61.5)	36 (24)	15 (7)	41.7 (29.2)	2,515 (2,078)	1,487 (1,254)	9.5 (9.1)	59.1 (60.3)
	神経症性障害等	2,919 (2,300)	2,044 (1,577)	70.0 (68.6)	81 (97)	50 (56)	61.7 (57.7)	41 (27)	26 (19)	63.4 (70.4)	3,041 (2,424)	2,120 (1,652)	13.6 (11.9)	69.7 (68.2)
	摂食障害・睡眠障害等	777 (510)	472 (277)	60.7 (54.3)	37 (34)	12 (16)	32.4 (47.1)	20 (22)	12 (14)	60.0 (63.6)	834 (566)	496 (307)	3.2 (2.2)	59.5 (54.2)
	他の精神障害	993 (832)	651 (512)	65.6 (61.5)	64 (58)	41 (34)	64.1 (58.6)	20 (19)	13 (19)	65.0 (100.0)	1,077 (909)	705 (565)	4.5 (4.1)	65.5 (62.2)
	小計	7,880 (6,393)	5,080 (4,003)	64.5 (62.6)	280 (280)	153 (158)	54.6 (56.4)	129 (103)	74 (69)	57.4 (67.0)	8,289 (6,776)	5,307 (4,230)	34.1 (30.5)	64.0 (62.4)
その他の障害	1,314 (1,025)	475 (366)	36.1 (35.7)	106 (105)	30 (34)	28.3 (32.4)	79 (55)	34 (19)	43.0 (34.5)	1,499 (1,185)	539 (419)	3.5 (3.0)	36.0 (35.4)	
計	28,430 (24,687)	14,346 (12,767)	50.5 (51.7)	1,434 (1,411)	508 (544)	35.4 (38.6)	1,340 (1,158)	719 (538)	53.7 (46.5)	31,204 (27,256)	15,573 (13,849)	100.0 (100.0)	49.9 (50.8)	

※1 障害学生支援率：支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

※2 構成比：支援障害学生数÷支援障害学生数の計×100(%)

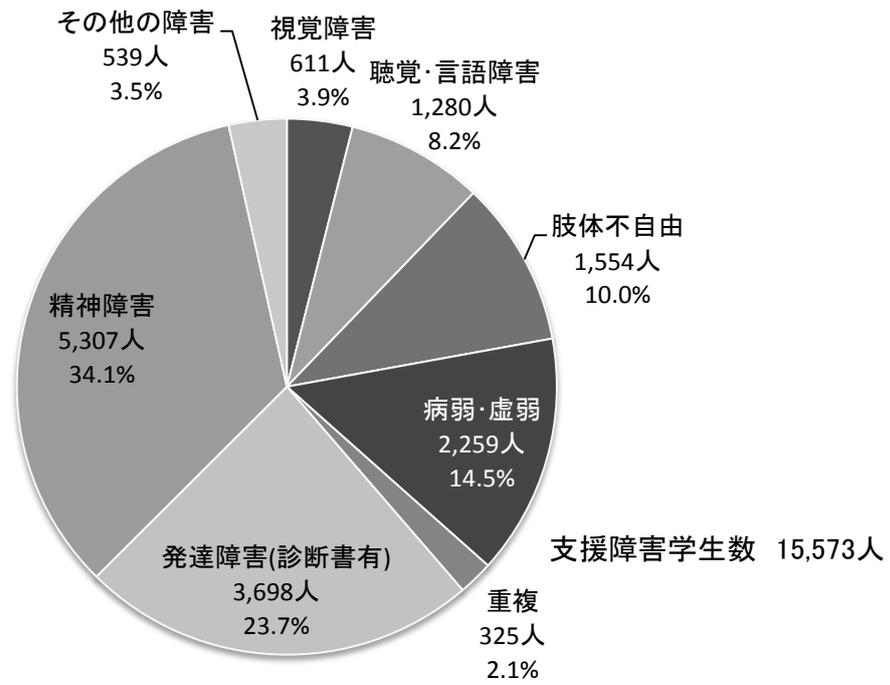


図5 支援障害学生数（障害種別）

(4) 障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

< 概要 >

○大学に在籍している支援障害学生（14,346人）を学科（専攻）別に見ると、構成比が10%を超えているのは次のとおり。

- ・多い順に「社会科学」3,341人（構成比23.3%）、「人文科学」2,984人（同20.8%）、「工学」2,573人（同17.9%）、「その他」1,514人（同10.6%）。

表15 支援障害学生数〔障害種別・学科(専攻)別〕(大学)

区 分		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健 (医・歯学)	保健 (医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
大学	視覚障害	盲	24	24	2	13	0	1	11	0	0	5	11	74	165
		弱視	45	85	15	46	7	4	84	1	5	28	12	95	427
		小計	69	109	17	59	7	5	95	1	5	33	23	169	592
	言語・聴覚障害	聾	69	127	5	202	5	3	9	0	5	51	14	24	514
		難聴	99	165	20	96	17	14	72	0	19	68	33	53	656
		言語障害のみ	3	12	1	6	1	1	3	0	0	2	2	1	32
		小計	171	304	26	304	23	18	84	0	24	121	49	78	1,202
	不自由	上肢機能障害	25	41	2	11	1	4	3	0	1	9	3	24	124
		下肢機能障害	88	152	15	50	8	6	43	1	3	25	19	101	511
		上下肢機能障害	100	211	18	36	5	5	19	0	1	20	12	117	544
		他の機能障害	54	96	5	27	3	2	17	0	2	15	6	86	313
		小計	267	500	40	124	17	17	82	1	7	69	40	328	1,492
	虚弱・重複	内部障害等	223	318	30	272	48	21	131	0	54	95	53	81	1,326
		他の慢性疾患	104	118	14	103	13	10	49	0	17	54	50	24	556
		小計	327	436	44	375	61	31	180	0	71	149	103	105	1,882
	(診断書障害)	重複	47	81	5	52	3	2	43	0	2	12	7	51	305
		S L D	30	38	2	14	5	0	4	0	0	5	11	5	114
		A D H D	171	155	32	113	30	7	24	0	16	35	66	58	707
		A S D	491	445	142	461	105	20	54	2	24	54	96	147	2,041
		発達障害の重複	90	115	37	109	14	4	14	0	7	15	23	28	456
	小計	782	753	213	697	154	31	96	2	47	109	196	238	3,318	
	精神障害	統合失調症等	120	119	20	64	16	10	29	0	8	14	30	48	478
		気分障害	333	259	48	244	89	52	81	0	20	71	97	141	1,435
		神経症性障害等	511	444	80	395	70	31	85	2	30	89	75	232	2,044
		摂食障害・睡眠障害等	98	94	30	73	34	18	25	0	13	29	14	44	472
		他の精神障害	146	147	31	89	32	7	48	0	16	28	56	51	651
小計	1,208	1,063	209	865	241	118	268	2	87	231	272	516	5,080		
その他の障害	113	95	12	97	19	8	29	0	14	37	22	29	475		
計		2,984	3,341	566	2,573	525	230	877	6	257	761	712	1,514	14,346	
構成比 (%)		20.8	23.3	3.9	17.9	3.7	1.6	6.1	0.0	1.8	5.3	5.0	10.6	100.0	

※ 学科(専攻)の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(4) 障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

< 概要 >

○短期大学に在籍している支援障害学生（508人）を学科（専攻）別に見ると、構成比が10%を超えているは次のとおり。

・多い順に「家政」110人（構成比21.7%）、「教育」が93人（同18.3%）、「人文」72人（同14.2%）、「社会」59人（同11.6%）、「その他」が53人（同10.4%）。

表16 支援障害学生数〔障害種別・学科(専攻)別〕（短期大学）

区 分		人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他	計
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
短期大学	視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		弱視	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0
		小計	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0
	言聴 語覚 障・ 害	聾	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
		難聴	4	6	1	2	1	1	7	6	2	2
		言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	4	6	1	2	1	1	8	7	2	3
	不肢 自由	上肢機能障害	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0
		下肢機能障害	2	4	0	0	0	1	3	2	0	5
		上下肢機能障害	2	5	0	2	0	0	2	3	0	1
		他の機能障害	2	2	0	0	0	0	0	1	2	0
		小計	7	11	1	2	0	1	7	7	2	6
	病弱・ 虚弱	内部障害等	9	11	0	5	0	10	18	11	2	3
		他の慢性疾患	6	4	0	0	0	17	9	22	8	6
		小計	15	15	0	5	0	27	27	33	10	9
	重複		0	0	0	1	0	0	5	1	4	0
	(発達 障害 書有)	S L D	0	0	0	4	0	1	4	3	0	1
		A D H D	0	1	0	4	0	2	5	1	1	2
		A S D	6	8	1	8	1	2	12	1	4	7
		発達障害の重複	1	0	2	0	0	0	3	0	2	2
		小計	7	9	3	16	1	5	24	5	7	12
	精神 障害	統合失調症等	2	4	0	0	0	1	4	1	0	1
		気分障害	7	3	0	0	0	3	6	11	2	5
		神経症性障害等	15	6	0	0	0	0	12	11	2	4
		摂食障害・睡眠障害等	5	0	0	1	0	2	0	2	0	2
		他の精神障害	5	2	1	0	0	4	13	4	5	7
		小計	34	15	1	1	0	10	35	29	9	19
その他の障害		3	2	3	0	0	3	3	10	2	4	
計		72	59	9	27	2	47	110	93	36	53	
構成比 (%)		14.2	11.6	1.8	5.3	0.4	9.3	21.7	18.3	7.1	10.4	

※ 学科（専攻）の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(4) 障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

< 概要 >

○高等専門学校に在籍している支援障害学生（719人）を学科（専攻）別に見ると、構成比99.0%を占めているのが「工業」の712人。

表17 支援障害学生数〔障害種別・学科(専攻)別〕（高等専門学校）

区 分		社 会	工 業	商 船	芸 術	計	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
高等 専 門 学 校	視 覚 障 害	盲	0	0	0	0	0
		弱視	0	14	0	0	14
		小計	0	14	0	0	14
	言 語 障 害 ・ 聴 覚 障 害	聾	0	2	0	0	2
		難聴	0	39	0	0	39
		言語障害のみ	0	2	0	0	2
		小計	0	43	0	0	43
	不 肢 自 由	上肢機能障害	0	2	0	0	2
		下肢機能障害	0	8	0	0	8
		上下肢機能障害	0	4	0	0	4
		他の機能障害	0	4	0	0	4
		小計	0	18	0	0	18
	病 弱 ・ 虚 弱	内部障害等	0	115	0	2	117
		他の慢性疾患	0	118	0	1	119
		小計	0	233	0	3	236
	重複	0	9	0	0	9	
	(発 達 障 害 有)	S L D	0	13	0	0	13
		A D H D	0	73	1	0	74
		A S D	0	149	0	0	149
		発達障害の重複	0	54	1	0	55
		小計	0	289	2	0	291
	精 神 障 害	統合失調症等	0	8	0	0	8
		気分障害	0	15	0	0	15
		神経症性障害等	0	25	1	0	26
		摂食障害・睡眠障害等	1	11	0	0	12
		他の精神障害	0	13	0	0	13
		小計	1	72	1	0	74
その他の障害	0	34	0	0	34		
計		1	712	3	3	719	
構成比		(% 0.1	99.0	0.4	0.4	100.0	

※ 学科（専攻）の分類は、学校基本調査の「学科系統分類表」による。

(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複（障害種別）

< 概要 >

○発達障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、精神障害との重複が最も多く131人（構成比54.8%）。次いで病弱・虚弱との重複が48人（同20.1%）となっている。

○精神障害と他の障害が重複している障害学生の数を障害種別で見ると、発達障害との重複が最も多く200人（同65.1%）。次いで病弱・虚弱との重複が42人（同13.7%）となっている。

なお、発達障害と精神障害の重複については、いずれか主となる障害の側に計上されている。

表18 発達障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別]

区分	大学					短期大学					高等専門学校					計	構成比	
	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計	S L D	A D H D	A S D	発達 障害 の 重複	小計			
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			
視覚障害	盲	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4
	弱視	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.3
	小計	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.7
聴覚・言語障害	聾	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4
	難聴	0	1	7	0	8	0	0	0	0	0	0	1	1	2	10	4.2	
	言語障害のみ	0	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.3	
	小計	0	3	9	0	12	0	0	0	0	0	0	1	1	2	14	5.9	
不自由	上肢機能障害	0	0	3	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4	1.7
	下肢機能障害	0	0	6	0	6	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	8	3.3
	上下肢機能障害	1	0	4	1	6	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	2.9
	他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	1	0	13	1	15	1	1	0	1	3	0	0	1	0	1	19	7.9
病弱・虚弱	内部障害等	0	3	7	4	14	0	1	3	0	4	0	0	0	0	0	18	7.5
	他の慢性疾患	0	5	14	3	22	0	1	1	0	2	0	4	1	1	6	30	12.6
	小計	0	8	21	7	36	0	2	4	0	6	0	4	1	1	6	48	20.1
重複	0	2	5	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3.3	
精神障害	統合失調症等	1	2	5	2	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	11	4.6
	気分障害	0	12	17	5	34	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	35	14.6
	神経症性障害等	0	9	34	6	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	20.5
	摂食障害・睡眠障害等	0	4	6	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	5.0
	他の精神障害	0	2	16	6	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	10.0
	小計	1	29	78	21	129	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	131	54.8
その他の障害	0	3	8	2	13	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	15	6.3	
計	2	45	138	32	217	1	3	7	1	12	0	4	4	2	10	239	100.0	

表19 精神障害と他の障害が重複している支援障害学生数[障害種別]

区分	大学						短期大学						高等専門学校						計	構成比		
	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	小計				
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			(人)	
視覚障害	盲	0	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.0
	弱視	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3
	小計	0	2	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.3
言語障害	聾	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7
	難聴	3	1	2	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2.3
	言語障害のみ	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7
	小計	4	1	4	0	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	3.6
肢体不自由	上肢機能障害	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7
	下肢機能障害	3	1	4	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3.3
	上下肢機能障害	1	2	4	0	7	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	4.6
	他の機能障害	0	1	2	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1.3
	小計	4	4	11	0	10	29	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	30	9.8
病弱・虚弱	内部障害等	0	2	6	4	7	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	6.2
	他の慢性疾患	3	2	10	1	5	21	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	23	7.5
	小計	3	4	16	5	12	40	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	42	13.7
重複	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	4	4	7	2.3	
(発達障害有)	S L D	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7
	A D H D	1	15	14	12	2	44	0	1	1	1	0	3	0	0	1	1	0	2	2	49	16.0
	A S D	8	34	51	11	29	133	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	4	4	137	44.6
	発達障害の重複	1	3	4	0	2	10	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	12	3.9
	小計	10	52	70	23	34	189	0	1	2	1	0	4	1	2	3	1	0	7	7	200	65.1
その他の障害	1	3	7	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	13	4.2	
計	22	66	110	28	62	288	0	1	2	2	1	6	1	3	4	3	2	13	13	307	100.0	

5. 支援障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

< 概要 >

- 支援障害学生が在籍している学校は796校で、前年度（782校）より14校の増。
- 全学校（1,170校）に占める支援障害学生在籍校（796校）の割合は68.0%で、前年度（66.8%）より1.2ポイントの増。
- 障害種別の支援障害学生在籍校数を多い順に並べると次のとおり。
 - ・「発達障害（診断書有）」546校（前年度485校）、「精神障害」534校（同474校）、「病弱・虚弱」439校（同419校）、「肢体不自由」418校（同420校）、「聴覚・言語障害」375校（同352校）、「その他の障害」214校（同183校）、「視覚障害」205校（同201校）、「重複」122校（同120校）。

表20 支援障害学生在籍学校数〔障害種別・学校種別〕

区 分		大学 (校)	短期大学 (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	盲	55 (50)	0 (0)	0 (0)	55 (50)
	弱視	166 (169)	5 (5)	9 (11)	180 (185)
	支援視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	191 (185)	5 (5)	9 (11)	205 (201)
聴覚・ 言語障害	聾	104 (102)	3 (3)	2 (2)	109 (107)
	難聴	270 (254)	27 (24)	16 (13)	313 (291)
	言語障害のみ	26 (27)	0 (2)	2 (2)	28 (31)
	支援聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	329 (308)	30 (29)	16 (15)	375 (352)
肢体不自由	上肢機能障害	76 (96)	5 (3)	2 (3)	83 (102)
	下肢機能障害	245 (235)	15 (14)	7 (10)	267 (259)
	上下肢機能障害	216 (227)	11 (13)	4 (2)	231 (242)
	他の機能障害	120 (122)	7 (6)	2 (2)	129 (130)
	支援肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	376 (373)	30 (33)	12 (14)	418 (420)
病弱・虚弱	内部障害等	312 (278)	41 (42)	18 (14)	371 (334)
	他の慢性疾患	208 (184)	34 (42)	16 (14)	258 (240)
	支援病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	359 (338)	58 (63)	22 (18)	439 (419)
重複	支援重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	110 (114)	8 (5)	4 (1)	122 (120)
発達障害 (診断書有)	SLD	77 (62)	10 (8)	7 (5)	94 (75)
	ADHD	250 (200)	12 (12)	36 (21)	298 (233)
	ASD	376 (337)	39 (31)	37 (34)	452 (402)
	発達障害の重複	194 (158)	9 (8)	20 (21)	223 (187)
	支援発達障害(診断書有)学生が 1人以上在籍する学校数	438 (398)	60 (48)	48 (39)	546 (485)
精神障害	統合失調症等	204 (187)	13 (11)	8 (7)	225 (205)
	気分障害	267 (244)	25 (25)	6 (5)	298 (274)
	神経症性障害等	313 (283)	32 (24)	15 (13)	360 (320)
	摂食障害・睡眠障害等	166 (130)	10 (14)	8 (8)	184 (152)
	他の精神障害	231 (202)	27 (20)	11 (11)	269 (233)
	支援精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	442 (390)	65 (59)	27 (25)	534 (474)
その他の障 害	支援その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	178 (150)	20 (26)	16 (7)	214 (183)
支援障害学生在籍学校数		614 (607)	129 (128)	53 (47)	796 (782)
全学校数		782 (778)	331 (336)	57 (57)	1,170 (1,171)
在籍率 (%) (※1)		78.5 (78.0)	39.0 (38.1)	93.0 (82.5)	68.0 (66.8)
障害学生在籍学校数		673 (667)	186 (180)	55 (52)	914 (899)
在籍率 (%) (※2)		91.2 (91.0)	69.4 (71.1)	96.4 (90.4)	87.1 (87.0)

※1 全学校数欄の在籍率：支援障害学生在籍学校数÷全学校数×100(%)

※2 障害学生在籍学校数欄の在籍率：支援障害学生在籍学校数÷障害学生在籍学校数×100(%)

(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別

< 概要 >

○支援障害学生在籍者数別で見ると次のとおり。

- ・多い順に「0人」374校（前年度389校）、「2～5人」231校（同235校）、「21人以上」201校（同174校）、「6～10人」134校（同122校）、「11～20人」131校（同130校）、「1人」99校（同121校）。

○支援障害学生が「1人以上在籍」する学校を全学生数の規模別で見ると次のとおり。

- ・多い順に「1,000～1,999人」186校（同176校）、「2,000～4,999人」163校（同160校）、「1～499人」143校（同133校）、「500～999人」136校（同145校）、「5,000～9,999人」101校（同99校）、「10,000人以上」67校（同69校）。

表21 支援障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別]

区分	学校種別	支援障害学生在籍者数別								計	1人以上 在籍	1人以上 在籍率
		21人 以上	11～ 20人	6～ 10人	2～5人	1人	0人	28年度 在籍校 (※)	(校)			
		(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	
10,000人 以上	大学	57 (55)	7 (9)	0 (3)	2 (2)	1 (0)	1 (0)	(1)	68 (69)	67 (69)	98.5 (100.0)	
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	小計	57 (55)	7 (9)	0 (3)	2 (2)	1 (0)	1 (0)	(1)	68 (69)	67 (69)	98.5 (100.0)	
5,000 ～ 9,999人	大学	60 (41)	23 (28)	9 (17)	9 (9)	0 (3)	2 (2)	(2)	103 (100)	101 (98)	98.1 (98.0)	
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (1)	0 (1)	0.0 (100.0)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	小計	60 (41)	23 (28)	9 (17)	9 (10)	0 (3)	2 (2)	(2)	103 (101)	101 (99)	98.1 (98.0)	
2,000 ～ 4,999人	大学	45 (42)	37 (36)	34 (33)	36 (40)	10 (8)	11 (12)	(6)	173 (171)	162 (159)	93.6 (93.0)	
	短期大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (2)	(1)	4 (3)	1 (1)	25.0 (33.3)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	
	小計	45 (42)	37 (36)	34 (33)	37 (41)	10 (8)	14 (14)	(7)	177 (174)	163 (160)	92.1 (92.0)	
1,000 ～ 1,999人	大学	22 (20)	26 (21)	34 (22)	55 (59)	14 (21)	37 (43)	(9)	188 (186)	151 (143)	80.3 (76.9)	
	短期大学	0 (0)	1 (2)	1 (3)	4 (4)	1 (1)	3 (2)	(1)	10 (12)	7 (10)	70.0 (83.3)	
	高等専門学校	4 (4)	6 (6)	6 (3)	10 (8)	2 (2)	1 (6)	(0)	29 (29)	28 (23)	96.6 (79.3)	
	小計	26 (24)	33 (29)	41 (28)	69 (71)	17 (24)	41 (51)	(10)	227 (227)	186 (176)	81.9 (77.5)	
500 ～ 999人	大学	8 (7)	11 (11)	12 (12)	31 (31)	16 (23)	49 (45)	(10)	127 (129)	78 (84)	61.4 (65.1)	
	短期大学	0 (1)	2 (2)	8 (5)	15 (16)	9 (13)	40 (39)	(13)	74 (76)	34 (37)	45.9 (48.7)	
	高等専門学校	0 (1)	8 (4)	8 (5)	7 (12)	1 (2)	3 (4)	(1)	27 (28)	24 (24)	88.9 (85.7)	
	小計	8 (9)	21 (17)	28 (22)	53 (59)	26 (38)	92 (88)	(24)	228 (233)	136 (145)	59.6 (62.2)	
1 ～ 499人	大学	5 (2)	6 (6)	7 (9)	13 (18)	24 (19)	68 (69)	(9)	123 (123)	55 (54)	44.7 (43.9)	
	短期大学	0 (1)	4 (5)	15 (10)	48 (34)	20 (29)	156 (165)	(18)	243 (244)	87 (79)	35.8 (32.4)	
	高等専門学校	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	(0)	1 (0)	1 (0)	100.0 (0.0)	
	小計	5 (3)	10 (11)	22 (19)	61 (52)	45 (48)	224 (234)	(27)	367 (367)	143 (133)	39.0 (36.2)	
学校 種別 計	大学	197 (167)	110 (111)	96 (96)	146 (159)	65 (74)	168 (171)	(37)	782 (778)	614 (607)	78.5 (78.0)	
	短期大学	0 (2)	7 (9)	24 (18)	68 (56)	30 (43)	202 (208)	(33)	331 (336)	129 (128)	39.0 (38.1)	
	高等専門学校	4 (5)	14 (10)	14 (8)	17 (20)	4 (4)	4 (10)	(1)	57 (57)	53 (47)	93.0 (82.5)	
計	201 (174)	131 (130)	134 (122)	231 (235)	99 (121)	374 (389)	(71)	1,170 (1,171)	796 (782)	68.0 (66.8)		
構成比 (%)	17.2 (14.9)	11.2 (11.1)	11.5 (10.4)	19.7 (20.1)	8.5 (10.3)	32.0 (33.2)		100.0 (100.0)				

※「28年度在籍校」：平成29年度支援障害学生数0人の学校のうち、28年度に1人以上の支援障害学生が在籍していた学校数。

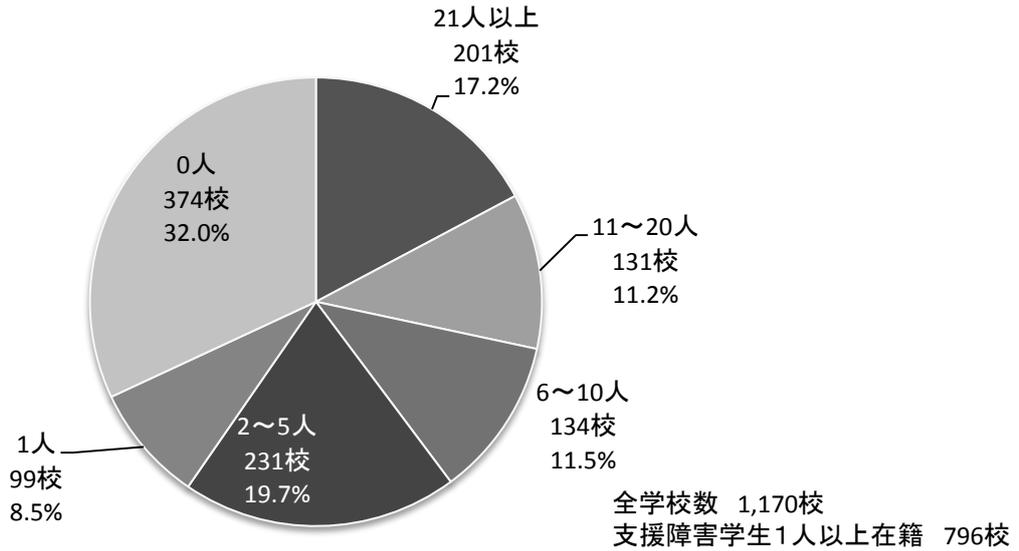


図6 支援障害学生在籍学校数（障害学生在籍者数別）

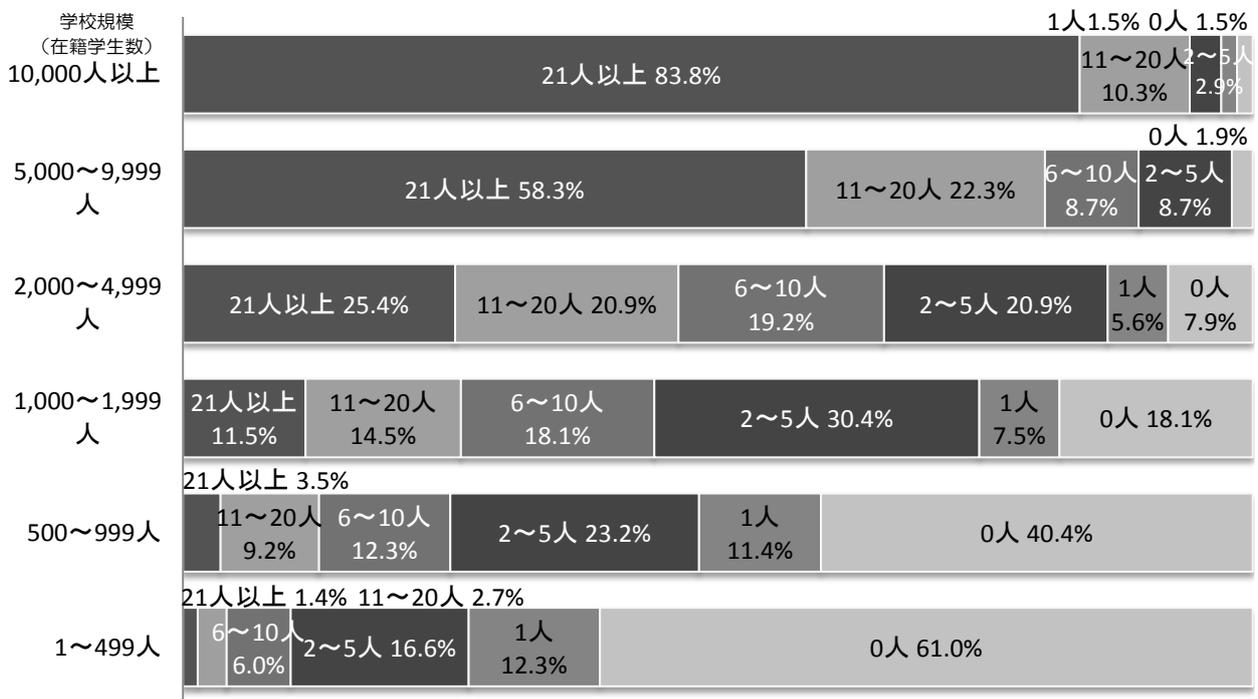


図7 支援障害学生在籍学校構成比（在籍学生数別・支援障害学生在籍者数別）

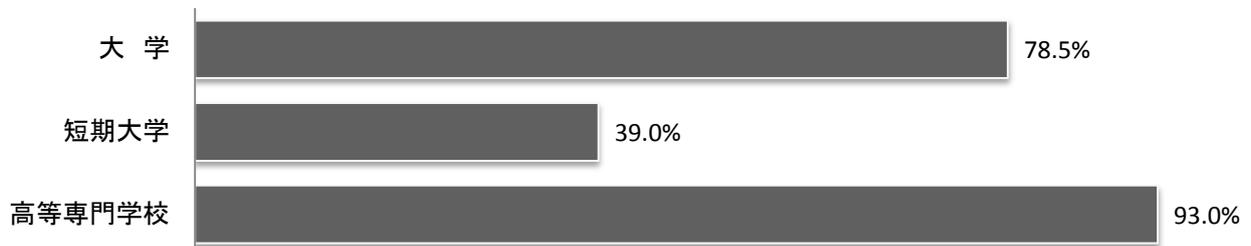


図8 支援障害学生1人以上在籍率(学校種別)

6. 支援の実施状況

(1) 障害種別・学校種別

< 概要 >

○障害学生への授業に関する支援を実施している学校は741校で、前年度（723校）より18校の増。

○授業支援実施状況を障害種別に、多い順に並べると次のとおり。

- ・「発達障害」455校、「精神障害」428校、「病弱・虚弱」370校、「肢体不自由」369校、「聴覚・言語障害」358校、「視覚障害」197校、「その他の障害」187校、「重複」111校。

○障害学生への授業以外の支援を実施している学校は646校で、前年度（620校）より26校の増。

○授業以外の支援実施状況を障害種別に、多い順に並べると次のとおり。

- ・「発達障害」444校、「精神障害」426校、「肢体不自由」320校、「病弱・虚弱」282校、「聴覚・言語障害」162校、「その他の障害」122校、「視覚障害」92校、「重複」82校。

表22 授業支援実施状況〔障害種別・学校種別〕

区 分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	183 (179)	5 (5)	9 (10)	197 (194)
聴覚・言語障害	315 (298)	28 (28)	15 (12)	358 (338)
肢体不自由	331 (332)	27 (31)	11 (14)	369 (377)
病弱・虚弱	307 (273)	44 (43)	19 (13)	370 (329)
重複	99 (97)	8 (4)	4 (1)	111 (102)
発達障害	371 (331)	47 (37)	37 (33)	455 (401)
精神障害	360 (303)	49 (42)	19 (20)	428 (365)
その他の障害	155 (121)	19 (19)	13 (7)	187 (147)
障害種別区分なし	583 (571)	108 (107)	50 (45)	741 (723)

表23 授業以外の支援実施状況〔障害種別・学校種別〕

区 分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等 専門学校 (校)	計 (校)
視覚障害	89 (90)	1 (2)	2 (2)	92 (94)
聴覚・言語障害	150 (141)	8 (15)	4 (3)	162 (159)
肢体不自由	296 (276)	18 (19)	6 (8)	320 (303)
病弱・虚弱	235 (214)	35 (43)	12 (10)	282 (267)
重複	74 (79)	6 (4)	2 (1)	82 (84)
発達障害	362 (329)	44 (36)	38 (29)	444 (394)
精神障害	359 (306)	45 (42)	22 (19)	426 (367)
その他の障害	108 (89)	7 (14)	7 (2)	122 (105)
障害種別区分なし	508 (489)	93 (91)	45 (40)	646 (620)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ア 授業支援（総表）

< 概要 >

- 障害学生への授業支援について、最も多くの学校で実施されているのが「22. 配慮依頼文書の配付」475校。次いで「17. 教室内座席配慮」471校、「23. 出席に関する配慮」353校、「16. 実技・実習配慮」346校。
- 障害種別に見ると「22. 配慮依頼文書の配付」については「発達障害」309校が最も多く、「精神障害」270校、「聴覚・言語障害」242校、「病弱・虚弱」227校の順。「17. 教室内座席配慮」は「肢体不自由」219校が最も多く、次いで「聴覚・言語障害」216校の順。

表24 授業支援実施状況〔支援内容別・障害種別〕(総表)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)																
1 点訳・墨訳	40	20.3	—	—	—	—	—	—	3	2.7	—	—	—	—	—	—	40	5.4
2 教材のテキストデータ化	67	34.0	10	2.8	9	2.4	3	0.8	12	10.8	6	1.3	2	0.5	1	0.5	89	12.0
3 教材の拡大	102	51.8	2	0.6	16	4.3	4	1.1	17	15.3	10	2.2	1	0.2	1	0.5	132	17.8
4 ガイドヘルプ	33	16.8	1	0.3	14	3.8	0	0.0	5	4.5	3	0.7	3	0.7	0	0.0	44	5.9
5 リーディングサービス	23	11.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	3.6	2	0.4	0	0.0	0	0.0	26	3.5
6 手話通訳	2	1.0	56	15.6	—	—	—	—	2	1.8	—	—	—	—	—	—	57	7.7
7 ノートテイク	11	5.6	148	41.3	27	7.3	2	0.5	12	10.8	15	3.3	3	0.7	0	0.0	172	23.2
8 パソコンテイク	6	3.0	108	30.2	3	0.8	1	0.3	9	8.1	6	1.3	0	0.0	0	0.0	119	16.1
9 ビデオ教材字幕付け	4	2.0	77	21.5	2	0.5	1	0.3	6	5.4	1	0.2	1	0.2	0	0.0	80	10.8
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	19	9.6	22	6.1	20	5.4	5	1.4	6	5.4	37	8.1	18	4.2	1	0.5	87	11.7
11 試験時間延長・別室受験	86	43.7	14	3.9	119	32.2	40	10.8	32	28.8	103	22.6	101	23.6	30	16.0	272	36.7
12 解答方法配慮	70	35.5	15	4.2	82	22.2	8	2.2	19	17.1	45	9.9	17	4.0	8	4.3	174	23.5
13 パソコンの持込使用許可	56	28.4	26	7.3	50	13.6	12	3.2	15	13.5	50	11.0	7	1.6	7	3.7	150	20.2
14 注意事項等文書伝達	29	14.7	110	30.7	28	7.6	26	7.0	20	18.0	138	30.3	50	11.7	12	6.4	237	32.0
15 使用教室配慮	33	16.8	19	5.3	174	47.2	36	9.7	35	31.5	27	5.9	32	7.5	13	7.0	249	33.6
16 実技・実習配慮	49	24.9	71	19.8	153	41.5	122	33.0	36	32.4	107	23.5	81	18.9	33	17.6	346	46.7
17 教室内座席配慮	107	54.3	216	60.3	219	59.3	85	23.0	64	57.7	125	27.5	138	32.2	61	32.6	471	63.6
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	147	41.1	—	—	—	—	8	7.2	—	—	—	—	—	—	148	20.0
19 専用机・イス・スペース確保	20	10.2	10	2.8	167	45.3	12	3.2	39	35.1	10	2.2	5	1.2	7	3.7	200	27.0
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	45	22.8	33	9.2	2	0.5	1	0.3	7	6.3	13	2.9	0	0.0	0	0.0	81	10.9
21 講義に関する配慮	79	40.1	73	20.4	90	24.4	31	8.4	29	26.1	149	32.7	64	15.0	15	8.0	297	40.1
22 配慮依頼文書の配付	123	62.4	242	67.6	220	59.6	227	61.4	73	65.8	309	67.9	270	63.1	131	70.1	475	64.1
23 出席に関する配慮	16	8.1	9	2.5	107	29.0	154	41.6	36	32.4	159	34.9	216	50.5	81	43.3	353	47.6
24 学習指導	14	7.1	15	4.2	22	6.0	37	10.0	8	7.2	177	38.9	104	24.3	13	7.0	258	34.8
25 授業内容の代替、提出期限延長等	28	14.2	26	7.3	48	13.0	51	13.8	16	14.4	147	32.3	112	26.2	27	14.4	245	33.1
26 履修支援	43	21.8	44	12.3	48	13.0	34	9.2	20	18.0	182	40.0	110	25.7	20	10.7	263	35.5
27 学外実習・フィールドワーク配慮	29	14.7	48	13.4	79	21.4	55	14.9	18	16.2	70	15.4	52	12.1	12	6.4	221	29.8
28 その他	44	22.3	50	14.0	66	17.9	52	14.1	17	15.3	95	20.9	97	22.7	25	13.4	224	30.2
実施校数	197	100.0	358	100.0	369	100.0	370	100.0	111	100.0	455	100.0	428	100.0	187	100.0	741	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 イ 授業以外の支援 (総表)

< 概要 >

- 障害学生への授業以外の支援について、最も多くの学校で実施されているのが「8. 専門家によるカウンセリング」438校。次いで「6. 対人関係配慮」262校、「16. 就職支援情報の提供、支援機関の紹介」の259校。
- 障害種別に見ると「8. 専門家によるカウンセリング」は「発達障害」339校、「精神障害」318校が多く、「6. 対人関係配慮」については「発達障害」204校、「精神障害」127校が多い。

表25 授業以外の支援実施状況[支援内容別・障害種別](総表)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)		
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)				
1	居場所の確保	26	28.3	39	24.1	73	22.8	36	12.8	17	20.7	158	35.6	121	28.4	20	16.4	246	38.1	
2	学生生活支援	通学支援	15	16.3	7	4.3	165	51.6	40	14.2	34	41.5	8	1.8	16	3.8	4	3.3	216	33.4
3		個別支援情報の収集	23	25.0	25	15.4	51	15.9	30	10.6	13	15.9	101	22.7	47	11.0	11	9.0	177	27.4
4		情報取得支援	31	33.7	32	19.8	24	7.5	19	6.7	8	9.8	104	23.4	40	9.4	7	5.7	157	24.3
5		社会的スキル指導	自己管理指導	9	9.8	12	7.4	18	5.6	26	9.2	9	11.0	210	47.3	94	22.1	15	12.3	240
6	社会的スキル指導	対人関係配慮	11	12.0	24	14.8	19	5.9	22	7.8	10	12.2	204	45.9	127	29.8	13	10.7	262	40.6
7		日常生活支援	1	1.1	3	1.9	16	5.0	17	6.0	3	3.7	64	14.4	58	13.6	7	5.7	109	16.9
8		保健管理・生活支援	専門家によるカウンセリング	18	19.6	46	28.4	51	15.9	86	30.5	28	34.1	339	76.4	318	74.6	69	56.6	438
9	医療機関との連携		6	6.5	11	6.8	26	8.1	61	21.6	9	11.0	148	33.3	168	39.4	16	13.1	252	39.0
10	医療機器、薬剤の保管等		1	1.1	2	1.2	8	2.5	46	16.3	7	8.5	9	2.0	11	2.6	3	2.5	77	11.9
11	休憩室・治療室の確保等		10	10.9	16	9.9	84	26.3	113	40.1	28	34.1	103	23.2	124	29.1	38	31.1	249	38.5
12	生活介助		0	0.0	—	—	52	16.3	5	1.8	9	11.0	—	—	—	—	1	0.8	60	9.3
13	介助者の入構、入室許可		7	7.6	6	3.7	77	24.1	9	3.2	17	20.7	10	2.3	5	1.2	1	0.8	99	15.3
14	進路・就職指導	キャリア教育	20	21.7	48	29.6	53	16.6	32	11.3	12	14.6	146	32.9	64	15.0	12	9.8	202	31.3
15		障害学生向け求人情報の提供	41	44.6	74	45.7	97	30.3	49	17.4	20	24.4	119	26.8	60	14.1	20	16.4	213	33.0
16		就職支援情報の提供、支援機関の紹介	37	40.2	72	44.4	88	27.5	59	20.9	24	29.3	174	39.2	97	22.8	23	18.9	259	40.1
17		インターンシップ先の開拓	9	9.8	16	9.9	21	6.6	13	4.6	6	7.3	40	9.0	20	4.7	8	6.6	71	11.0
18	就職先の開拓、就職活動支援	29	31.5	56	34.6	72	22.5	52	18.4	12	14.6	134	30.2	74	17.4	16	13.1	214	33.1	
19	その他	17	18.5	20	12.3	60	18.8	47	16.7	16	19.5	57	12.8	76	17.8	16	13.1	173	26.8	
実施校数		92	100.0	162	100.0	320	100.0	282	100.0	82	100.0	444	100.0	426	100.0	122	100.0	646	100.0	

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ウ 授業支援 (大学)

< 概要 >

○大学における障害学生への授業支援で、最も実施校数が多いのは「22. 配慮依頼文書の配付」408校。次いで「17. 教室内座席配慮」390校、「23. 出席に関する配慮」296校、「16. 実技・実習配慮」288校、「21. 講義に関する配慮」270校の順。

表26 授業支援実施状況[支援内容別・障害種別](大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)																
1 点訳・墨訳	40	21.9	—	—	—	—	—	—	3	3.0	—	—	—	—	—	—	40	6.9
2 教材のテキストデータ化	66	36.1	10	3.2	8	2.4	3	1.0	11	11.1	6	1.6	2	0.6	1	0.6	87	14.9
3 教材の拡大	97	53.0	2	0.6	15	4.5	4	1.3	16	16.2	9	2.4	1	0.3	1	0.6	124	21.3
4 ガイドヘルプ	33	18.0	1	0.3	13	3.9	0	0.0	5	5.1	3	0.8	2	0.6	0	0.0	42	7.2
5 リーディングサービス	23	12.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	4.0	2	0.5	0	0.0	0	0.0	26	4.5
6 手話通訳	2	1.1	54	17.1	—	—	—	—	2	2.0	—	—	—	—	—	—	55	9.4
7 ノートテイク	11	6.0	144	45.7	27	8.2	2	0.7	12	12.1	15	4.0	3	0.8	0	0.0	168	28.8
8 パソコンテイク	6	3.3	106	33.7	3	0.9	1	0.3	9	9.1	6	1.6	0	0.0	0	0.0	117	20.1
9 ビデオ教材字幕付け	4	2.2	76	24.1	2	0.6	1	0.3	6	6.1	1	0.3	1	0.3	0	0.0	79	13.6
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	19	10.4	21	6.7	20	6.0	5	1.6	6	6.1	32	8.6	17	4.7	1	0.6	81	13.9
11 試験時間延長・別室受験	86	47.0	14	4.4	113	34.1	38	12.4	30	30.3	92	24.8	86	23.9	27	17.4	242	41.5
12 解答方法配慮	69	37.7	15	4.8	79	23.9	8	2.6	19	19.2	42	11.3	17	4.7	7	4.5	167	28.6
13 パソコンの持込使用許可	55	30.1	25	7.9	50	15.1	12	3.9	15	15.2	47	12.7	6	1.7	7	4.5	144	24.7
14 注意事項等文書伝達	28	15.3	104	33.0	27	8.2	24	7.8	16	16.2	119	32.1	44	12.2	12	7.7	208	35.7
15 使用教室配慮	32	17.5	17	5.4	157	47.4	34	11.1	31	31.3	23	6.2	27	7.5	10	6.5	217	37.2
16 実技・実習配慮	46	25.1	68	21.6	135	40.8	96	31.3	29	29.3	95	25.6	66	18.3	23	14.8	288	49.4
17 教室内座席配慮	97	53.0	185	58.7	203	61.3	74	24.1	59	59.6	103	27.8	121	33.6	52	33.5	390	66.9
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	134	42.5	—	—	—	—	8	8.1	—	—	—	—	—	—	135	23.2
19 専用机・イス・スペース確保	20	10.9	10	3.2	158	47.7	12	3.9	37	37.4	9	2.4	5	1.4	7	4.5	189	32.4
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	45	24.6	33	10.5	2	0.6	1	0.3	7	7.1	12	3.2	0	0.0	0	0.0	80	13.7
21 講義に関する配慮	76	41.5	68	21.6	83	25.1	28	9.1	26	26.3	136	36.7	59	16.4	13	8.4	270	46.3
22 配慮依頼文書の配付	119	65.0	223	70.8	208	62.8	199	64.8	66	66.7	272	73.3	245	68.1	121	78.1	408	70.0
23 出席に関する配慮	15	8.2	9	2.9	98	29.6	135	44.0	31	31.3	143	38.5	190	52.8	74	47.7	296	50.8
24 学習指導	14	7.7	14	4.4	21	6.3	31	10.1	5	5.1	136	36.7	94	26.1	9	5.8	205	35.2
25 授業内容の代替、提出期限延長等	28	15.3	26	8.3	42	12.7	45	14.7	14	14.1	132	35.6	100	27.8	24	15.5	216	37.0
26 履修支援	43	23.5	43	13.7	46	13.9	33	10.7	16	16.2	170	45.8	100	27.8	18	11.6	239	41.0
27 学外実習・フィールドワーク配慮	29	15.8	47	14.9	73	22.1	46	15.0	15	15.2	59	15.9	44	12.2	8	5.2	196	33.6
28 その他	41	22.4	43	13.7	60	18.1	46	15.0	16	16.2	85	22.9	92	25.6	20	12.9	195	33.4
実施校数	183	100.0	315	100.0	331	100.0	307	100.0	99	100.0	371	100.0	360	100.0	155	100.0	583	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 エ 授業以外の支援 (大学)

< 概要 >

○大学における障害学生への授業以外の支援で、最も実施校数が多いのは「8. 専門家によるカウンセリング」356校。次いで「16. 就職支援情報の提供、支援機関の紹介」224校、「6. 対人関係配慮」220校、「9. 医療機関との連携」212校、「2. 通学支援」206校の順。

表27 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)	
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)			
1	居場所の確保	24	27.0	37	24.7	70	23.6	33	14.0	15	20.3	127	35.1	102	28.4	18	16.7	202	39.8
2	学生生活支援 通学支援	15	16.9	7	4.7	159	53.7	39	16.6	34	45.9	8	2.2	13	3.6	4	3.7	206	40.6
3	個別支援情報の収集	22	24.7	19	12.7	44	14.9	22	9.4	13	17.6	82	22.7	41	11.4	10	9.3	144	28.3
4	情報取得支援	31	34.8	30	20.0	23	7.8	15	6.4	8	10.8	88	24.3	37	10.3	7	6.5	138	27.2
5	社会的スキル指導 自己管理指導	9	10.1	11	7.3	18	6.1	24	10.2	8	10.8	179	49.4	88	24.5	14	13.0	205	40.4
6	対人関係配慮	10	11.2	22	14.7	18	6.1	17	7.2	9	12.2	174	48.1	113	31.5	13	12.0	220	43.3
7	日常生活支援 日常生活支援	1	1.1	3	2.0	16	5.4	15	6.4	2	2.7	55	15.2	51	14.2	6	5.6	94	18.5
8	専門家によるカウンセリング	17	19.1	43	28.7	49	16.6	78	33.2	24	32.4	284	78.5	277	77.2	63	58.3	356	70.1
9	保健管理・生活支援 医療機関との連携	6	6.7	10	6.7	24	8.1	51	21.7	8	10.8	127	35.1	150	41.8	15	13.9	212	41.7
10	医療機器、薬剤の保管等	1	1.1	2	1.3	8	2.7	38	16.2	6	8.1	7	1.9	10	2.8	1	0.9	63	12.4
11	休憩室・治療室の確保等	10	11.2	16	10.7	78	26.4	92	39.1	26	35.1	86	23.8	108	30.1	33	30.6	204	40.2
12	生活介助	0	0.0	—	—	50	16.9	5	2.1	9	12.2	—	—	—	—	1	0.9	58	11.4
13	介助者の入構、入室許可	7	7.9	6	4.0	76	25.7	9	3.8	16	21.6	9	2.5	4	1.1	1	0.9	95	18.7
14	キャリア教育	19	21.3	45	30.0	45	15.2	28	11.9	11	14.9	126	34.8	57	15.9	12	11.1	171	33.7
15	進路・就職指導 障害学生向け求人情報の提供	40	44.9	69	46.0	87	29.4	42	17.9	20	27.0	106	29.3	56	15.6	19	17.6	185	36.4
16	就職支援情報の提供、支援機関の紹介	36	40.4	67	44.7	81	27.4	53	22.6	22	29.7	152	42.0	90	25.1	21	19.4	224	44.1
17	インターンシップ先の開拓	9	10.1	16	10.7	18	6.1	11	4.7	6	8.1	31	8.6	19	5.3	7	6.5	59	11.6
18	就職先の開拓、就職活動支援	29	32.6	53	35.3	63	21.3	44	18.7	12	16.2	114	31.5	66	18.4	14	13.0	176	34.6
19	その他	17	19.1	20	13.3	56	18.9	38	16.2	16	21.6	52	14.4	69	19.2	15	13.9	154	30.3
実施校数		89	100.0	150	100.0	296	100.0	235	100.0	74	100.0	362	100.0	359	100.0	108	100.0	508	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 才 授業支援 (短期大学)

< 概要 >

○短期大学における障害学生への授業支援で、最も実施校数が多いのは「17. 教室内座席配慮」52校。次いで「23. 出席に関する配慮」45校、「22. 配慮依頼文書の配付」44校、「16. 実技・実習配慮」39校の順。

表28 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)																
1 点訳・墨訳	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0
2 教材のテキストデータ化	0	0.0	0	0.0	1	3.7	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.9
3 教材の拡大	1	20.0	0	0.0	1	3.7	0	0.0	1	12.5	1	2.1	0	0.0	0	0.0	4	3.7
4 ガイドヘルプ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.0	0	0.0	1	0.9
5 リーディングサービス	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 手話通訳	0	0.0	2	7.1	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	2	1.9
7 ノートテイク	0	0.0	4	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	3.7
8 パソコンテイク	0	0.0	2	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.9
9 ビデオ教材字幕付け	0	0.0	1	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.9
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	0	0.0	1	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	6.4	0	0.0	0	0.0	3	2.8
11 試験時間延長・別室受験	0	0.0	0	0.0	6	22.2	0	0.0	1	12.5	5	10.6	10	20.4	0	0.0	16	14.8
12 解答方法配慮	1	20.0	0	0.0	2	7.4	0	0.0	0	0.0	2	4.3	0	0.0	0	0.0	5	4.6
13 パソコンの持込使用許可	0	0.0	1	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.1	1	2.0	0	0.0	3	2.8
14 注意事項等文書伝達	0	0.0	4	14.3	0	0.0	2	4.5	3	37.5	7	14.9	4	8.2	0	0.0	16	14.8
15 使用教室配慮	0	0.0	1	3.6	14	51.9	2	4.5	2	25.0	1	2.1	4	8.2	1	5.3	24	22.2
16 実技・実習配慮	0	0.0	3	10.7	10	37.0	19	43.2	3	37.5	6	12.8	10	20.4	6	31.6	39	36.1
17 教室内座席配慮	4	80.0	20	71.4	12	44.4	7	15.9	3	37.5	10	21.3	10	20.4	7	36.8	52	48.1
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	8	28.6	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	8	7.4
19 専用机・イス・スペース確保	0	0.0	0	0.0	5	18.5	0	0.0	2	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	5.6
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.1	0	0.0	0	0.0	1	0.9
21 講義に関する配慮	0	0.0	4	14.3	6	22.2	2	4.5	3	37.5	8	17.0	3	6.1	0	0.0	17	15.7
22 配慮依頼文書の配付	2	40.0	12	42.9	9	33.3	21	47.7	5	62.5	21	44.7	17	34.7	7	36.8	44	40.7
23 出席に関する配慮	1	20.0	0	0.0	7	25.9	17	38.6	3	37.5	9	19.1	19	38.8	6	31.6	45	41.7
24 学習指導	0	0.0	1	3.6	0	0.0	5	11.4	1	12.5	17	36.2	3	6.1	1	5.3	24	22.2
25 授業内容の代替、提出期限延長等	0	0.0	0	0.0	3	11.1	4	9.1	1	12.5	7	14.9	9	18.4	0	0.0	18	16.7
26 履修支援	0	0.0	1	3.6	2	7.4	1	2.3	4	50.0	12	25.5	9	18.4	2	10.5	23	21.3
27 学外実習・フィールドワーク配慮	0	0.0	1	3.6	2	7.4	6	13.6	2	25.0	8	17.0	5	10.2	4	21.1	19	17.6
28 その他	2	40.0	4	14.3	3	11.1	2	4.5	1	12.5	2	4.3	2	4.1	3	15.8	13	12.0
実施校数	5	100.0	28	100.0	27	100.0	44	100.0	8	100.0	47	100.0	49	100.0	19	100.0	108	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 カ 授業以外の支援（短期大学）

< 概要 >

○短期大学における障害学生への授業以外の支援で、最も実施校数が多いのは「8. 専門家によるカウンセリング」46校。次いで「11. 休憩室・治療室の確保等」31校、「18. 就職先の開拓、就職活動支援」27校、「1. 居場所の確保」26校、「16. 就職支援情報の提供、支援機関の紹介」25校の順。

表29 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)	
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)					
1	居場所の確保	0	0.0	1	12.5	1	5.6	2	5.7	1	16.7	16	36.4	12	26.7	0	0.0	26	28.0
2	学生生活支援	0	0.0	0	0.0	5	27.8	1	2.9	0	0.0	0	0.0	2	4.4	0	0.0	8	8.6
3	個別支援情報の収集	0	0.0	5	62.5	5	27.8	4	11.4	0	0.0	9	20.5	4	8.9	0	0.0	20	21.5
4	情報取得支援	0	0.0	1	12.5	0	0.0	2	5.7	0	0.0	9	20.5	1	2.2	0	0.0	11	11.8
5	社会的スキル指導	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.9	0	0.0	12	27.3	4	8.9	0	0.0	16	17.2
6	対人関係配慮	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	5.7	0	0.0	13	29.5	10	22.2	0	0.0	23	24.7
7	日常生活支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.9	1	16.7	3	6.8	5	11.1	0	0.0	9	9.7
8	専門家によるカウンセリング	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	17.1	3	50.0	23	52.3	26	57.8	1	14.3	46	49.5
9	医療機関との連携	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	17.1	0	0.0	5	11.4	8	17.8	0	0.0	17	18.3
10	医療機器、薬剤の保管等	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	11.4	0	0.0	0	0.0	1	2.2	1	14.3	6	6.5
11	休憩室・治療室の確保等	0	0.0	0	0.0	3	16.7	16	45.7	1	16.7	8	18.2	11	24.4	3	42.9	31	33.3
12	生活介助	0	0.0	—	—	1	5.6	0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	0	0.0	1	1.1
13	介助者の入構、入室許可	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	1	2.2	0	0.0	2	2.2
14	キャリア教育	0	0.0	3	37.5	7	38.9	3	8.6	1	16.7	12	27.3	6	13.3	0	0.0	22	23.7
15	障害学生向け求人情報の提供	1	100.0	5	62.5	10	55.6	7	20.0	0	0.0	9	20.5	4	8.9	1	14.3	24	25.8
16	就職支援情報の提供、支援機関の紹介	1	100.0	5	62.5	6	33.3	6	17.1	2	33.3	13	29.5	5	11.1	2	28.6	25	26.9
17	インターンシップ先の開拓	0	0.0	0	0.0	3	16.7	2	5.7	0	0.0	3	6.8	1	2.2	1	14.3	6	6.5
18	就職先の開拓、就職活動支援	0	0.0	3	37.5	9	50.0	7	20.0	0	0.0	11	25.0	6	13.3	2	28.6	27	29.0
19	その他	0	0.0	0	0.0	3	16.7	4	11.4	0	0.0	1	2.3	6	13.3	0	0.0	11	11.8
実施校数		1	100.0	8	100.0	18	100.0	35	100.0	6	100.0	44	100.0	45	100.0	7	100.0	93	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 キ 授業支援 (高等専門学校)

< 概要 >

○高等専門学校における障害学生への授業支援で、最も実施校数が多いのは「17. 教室内座席配慮」と「24. 学習指導」の29校。次いで「22. 配慮依頼文書の配付」23校、「16. 実技・実習配慮」19校の順。

表30 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)
	実施校数 (校)	実施率 (%)																
1 点訳・墨訳	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0
2 教材のテキストデータ化	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.0
3 教材の拡大	4	44.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	8.0
4 ガイドヘルプ	0	0.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.0
5 リーディングサービス	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 手話通訳	0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	0	0.0
7 ノートテイク	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8 パソコンテイク	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9 ビデオ教材字幕付け	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10 チューター又はティーチング・アシスタントの活用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	5.4	1	5.3	0	0.0	3	6.0
11 試験時間延長・別室受験	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	10.5	1	25.0	6	16.2	5	26.3	3	23.1	14	28.0
12 解答方法配慮	0	0.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	1	7.7	2	4.0
13 パソコンの持込使用許可	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	5.4	0	0.0	0	0.0	3	6.0
14 注意事項等文書伝達	1	11.1	2	13.3	1	9.1	0	0.0	1	25.0	12	32.4	2	10.5	0	0.0	13	26.0
15 使用教室配慮	1	11.1	1	6.7	3	27.3	0	0.0	2	50.0	3	8.1	1	5.3	2	15.4	8	16.0
16 実技・実習配慮	3	33.3	0	0.0	8	72.7	7	36.8	4	100.0	6	16.2	5	26.3	4	30.8	19	38.0
17 教室内座席配慮	6	66.7	11	73.3	4	36.4	4	21.1	2	50.0	12	32.4	7	36.8	2	15.4	29	58.0
18 FM補聴器・マイク使用	—	—	5	33.3	—	—	—	—	0	0.0	—	—	—	—	—	—	5	10.0
19 専用机・イス・スペース確保	0	0.0	0	0.0	4	36.4	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	0	0.0	5	10.0
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21 講義に関する配慮	3	33.3	1	6.7	1	9.1	1	5.3	0	0.0	5	13.5	2	10.5	2	15.4	10	20.0
22 配慮依頼文書の配付	2	22.2	7	46.7	3	27.3	7	36.8	2	50.0	16	43.2	8	42.1	3	23.1	23	46.0
23 出席に関する配慮	0	0.0	0	0.0	2	18.2	2	10.5	2	50.0	7	18.9	7	36.8	1	7.7	12	24.0
24 学習指導	0	0.0	0	0.0	1	9.1	1	5.3	2	50.0	24	64.9	7	36.8	3	23.1	29	58.0
25 授業内容の代替、提出期限延長等	0	0.0	0	0.0	3	27.3	2	10.5	1	25.0	8	21.6	3	15.8	3	23.1	11	22.0
26 履修支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.3	0	0.0	1	2.0
27 学外実習・フィールドワーク配慮	0	0.0	0	0.0	4	36.4	3	15.8	1	25.0	3	8.1	3	15.8	0	0.0	6	12.0
28 その他	1	11.1	3	20.0	3	27.3	4	21.1	0	0.0	8	21.6	3	15.8	2	15.4	16	32.0
実施校数	9	100.0	15	100.0	11	100.0	19	100.0	4	100.0	37	100.0	19	100.0	13	100.0	50	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ク 授業以外の支援 (高等専門学校)

< 概要 >

○高等専門学校における障害学生への授業以外の支援で、最も実施校数が多いのは「8. 専門家によるカウンセリング」36校。次いで「9. 医療機関との連携」23校、「5. 自己管理指導」と「6. 対人関係配慮」の19校、「1. 居場所の確保」18校の順。

表31 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](高等専門学校)

区分	視覚障害		聴覚・言語障害		肢体不自由		病弱・虚弱		重複		発達障害		精神障害		その他の障害		実施校数 (校)	実施率 (%)	
	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)	実施校数 (校)	実施率 (%)			
1	居場所の確保	2	100.0	1	25.0	2	33.3	1	8.3	1	50.0	15	39.5	7	31.8	2	28.6	18	40.0
2	通学支援	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.5	0	0.0	2	4.4
3	個別支援情報の収集	1	50.0	1	25.0	2	33.3	4	33.3	0	0.0	10	26.3	2	9.1	1	14.3	13	28.9
4	情報取得支援	0	0.0	1	25.0	1	16.7	2	16.7	0	0.0	7	18.4	2	9.1	0	0.0	8	17.8
5	自己管理指導	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	8.3	1	50.0	19	50.0	2	9.1	1	14.3	19	42.2
6	対人関係配慮	1	50.0	2	50.0	1	16.7	3	25.0	1	50.0	17	44.7	4	18.2	0	0.0	19	42.2
7	日常生活支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3	0	0.0	6	15.8	2	9.1	1	14.3	6	13.3
8	専門家によるカウンセリング	1	50.0	3	75.0	2	33.3	2	16.7	1	50.0	32	84.2	15	68.2	5	71.4	36	80.0
9	医療機関との連携	0	0.0	1	25.0	2	33.3	4	33.3	1	50.0	16	42.1	10	45.5	1	14.3	23	51.1
10	医療機器、薬剤の保管等	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	33.3	1	50.0	2	5.3	0	0.0	1	14.3	8	17.8
11	休憩室・治療室の確保等	0	0.0	0	0.0	3	50.0	5	41.7	1	50.0	9	23.7	5	22.7	2	28.6	14	31.1
12	生活介助	0	0.0	—	—	1	16.7	0	0.0	0	0.0	—	—	—	—	0	0.0	1	2.2
13	介助者の入構、入室許可	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	2	4.4
14	キャリア教育	1	50.0	0	0.0	1	16.7	1	8.3	0	0.0	8	21.1	1	4.5	0	0.0	9	20.0
15	障害学生向け求人情報の提供	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	10.5	0	0.0	0	0.0	4	8.9
16	就職支援情報の提供、支援機関の紹介	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0	9	23.7	2	9.1	0	0.0	10	22.2
17	インターンシップ先の開拓	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	15.8	0	0.0	0	0.0	6	13.3
18	就職先の開拓、就職活動支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3	0	0.0	9	23.7	2	9.1	0	0.0	11	24.4
19	その他	0	0.0	0	0.0	1	16.7	5	41.7	0	0.0	4	10.5	1	4.5	1	14.3	8	17.8
実施校数		2	100.0	4	100.0	6	100.0	12	100.0	2	100.0	38	100.0	22	100.0	7	100.0	45	100.0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

※ 実施率: 支援実施校数 ÷ 実施校数の計 × 100 (%)

(3) 主な授業支援 ア 視覚障害

表32 視覚障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	123	62.4
教室内座席配慮	107	54.3
教材の拡大	102	51.8
試験時間延長・別室受験	86	43.7
講義に関する配慮	79	40.1
解答方法配慮	70	35.5
教材のテキストデータ化	67	34.0
パソコンの持込使用許可	56	28.4
実技・実習配慮	49	24.9
読み上げソフト・音声認識ソフト使用	45	22.8

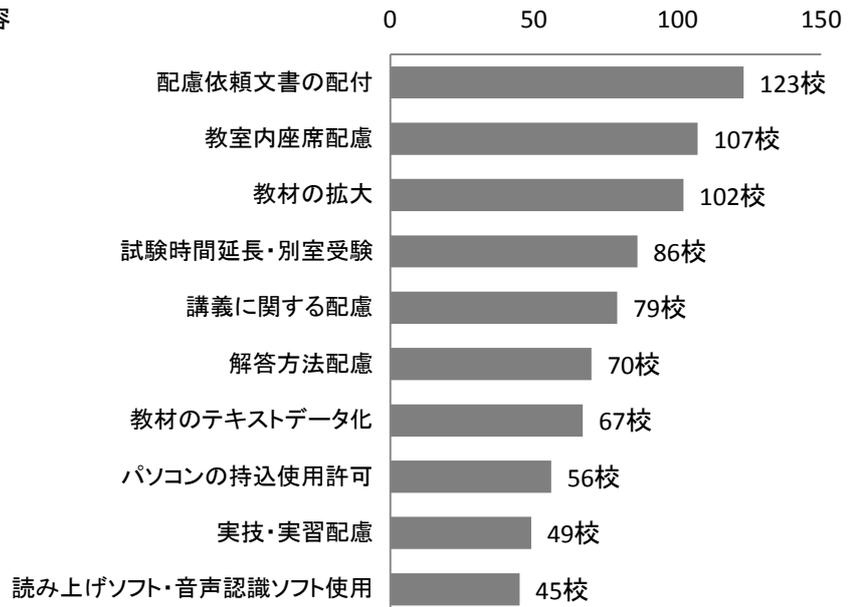


図9 視覚障害 主な授業支援内容

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

(3) 主な授業支援 イ 聴覚・言語障害

表33 聴覚・言語障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	242	67.6
教室内座席配慮	216	60.3
ノートテイク	148	41.3
FM補聴器・マイク使用	147	41.1
注意事項等文書伝達	110	30.7
パソコンテイク	108	30.2
ビデオ教材字幕付け	77	21.5
講義に関する配慮	73	20.4
実技・実習配慮	71	19.8
手話通訳	56	15.6

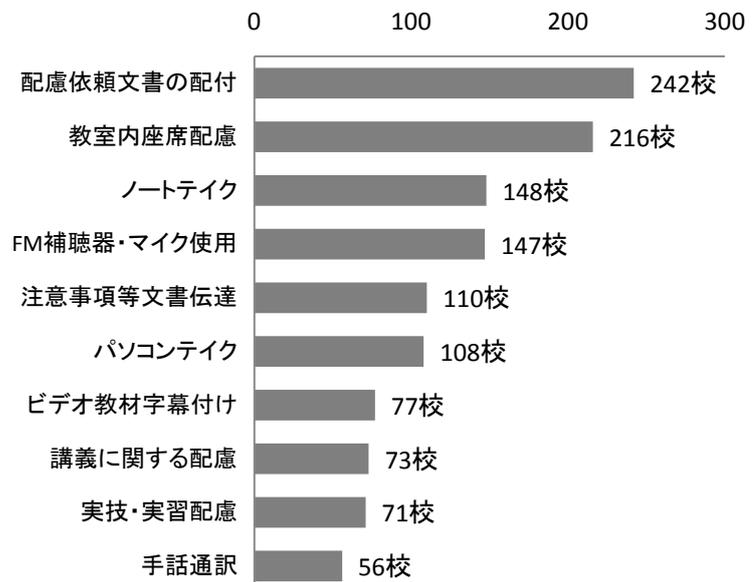


図10 聴覚・言語障害 主な授業支援内容

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

(3) 主な授業支援 ウ 肢体不自由

表34 肢体不自由 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	220	59.6
教室内座席配慮	219	59.3
使用教室配慮	174	47.2
専用机・イス・スペース確保	167	45.3
実技・実習配慮	153	41.5
試験時間延長・別室受験	119	32.2
出席に関する配慮	107	29.0
講義に関する配慮	90	24.4
解答方法配慮	82	22.2
学外実習・フィールドワーク配慮	79	21.4

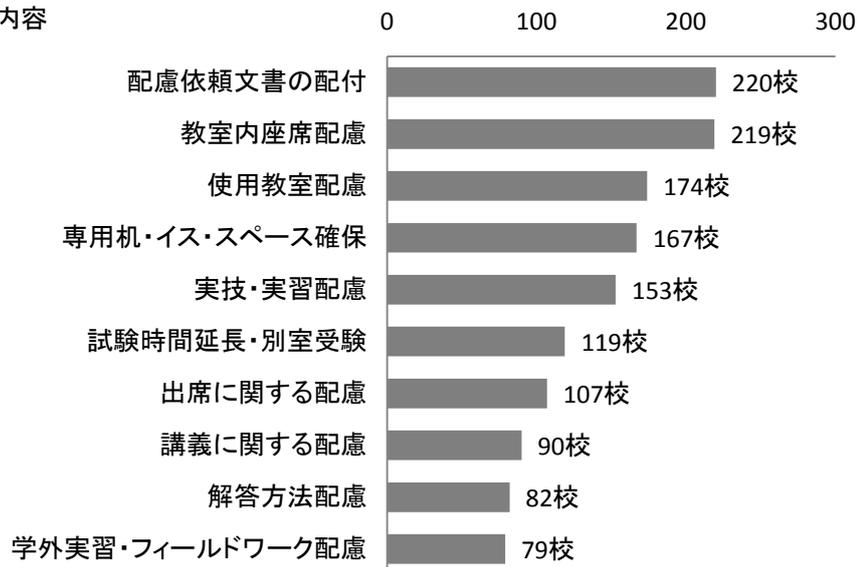


図11 肢体不自由 主な授業支援内容

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

(3) 主な授業支援 エ 病弱・虚弱

表35 病弱・虚弱 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	227	61.4
出席に関する配慮	154	41.6
実技・実習配慮	122	33.0
教室内座席配慮	85	23.0
学外実習・フィールドワーク配慮	55	14.9
授業内容の代替、提出期限延長等	51	13.8
試験時間延長・別室受験	40	10.8
学習指導	37	10.0
使用教室配慮	36	9.7
履修支援	34	9.2

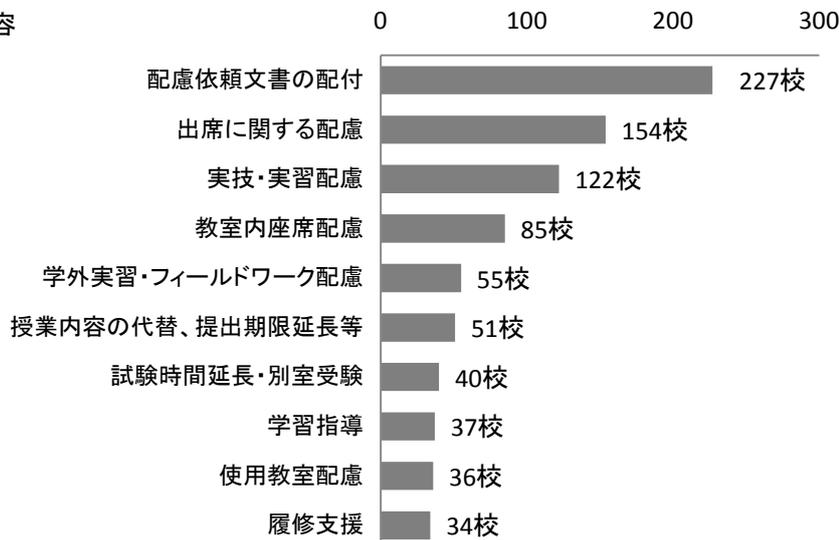


図12 病弱・虚弱 主な授業支援内容

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

(3) 主な授業支援 才 発達障害

表36 発達障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	309	67.9
履修支援	182	40.0
学習指導	177	38.9
出席に関する配慮	159	34.9
講義に関する配慮	149	32.7
授業内容の代替、提出期限延長等	147	32.3
注意事項等文書伝達	138	30.3
教室内座席配慮	125	27.5
実技・実習配慮	107	23.5
試験時間延長・別室受験	103	22.6

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

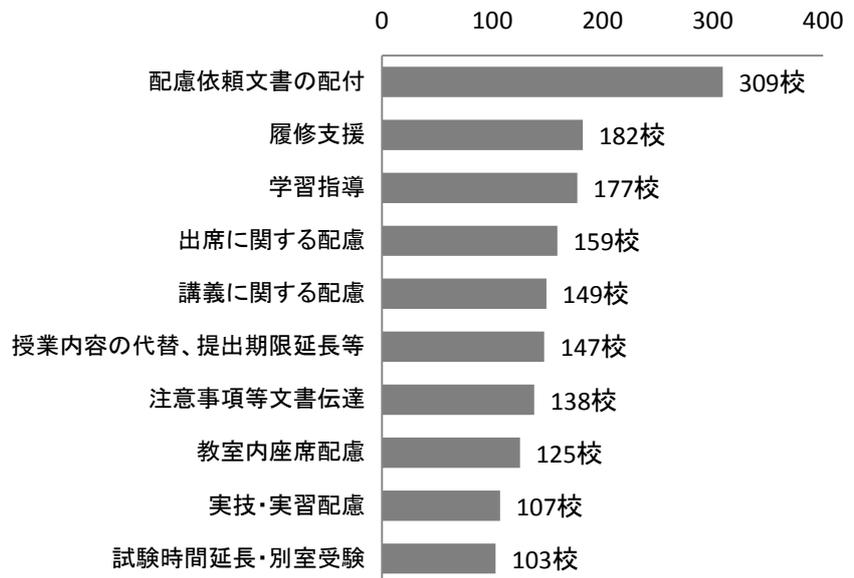


図13 発達障害 主な授業支援内容

(3) 主な授業支援 力 精神障害

表37 精神障害 主な授業支援内容

授業支援内容	実施校数	実施率 (%)
配慮依頼文書の配付	270	63.1
出席に関する配慮	216	50.5
教室内座席配慮	138	32.2
授業内容の代替、提出期限延長等	112	26.2
履修支援	110	25.7
学習指導	104	24.3
試験時間延長・別室受験	101	23.6
実技・実習配慮	81	18.9
講義に関する配慮	64	15.0
学外実習・フィールドワーク配慮	52	12.1

※ 複数回答あり

※ 実施率：授業支援実施校数÷実施校数の計×100(%)

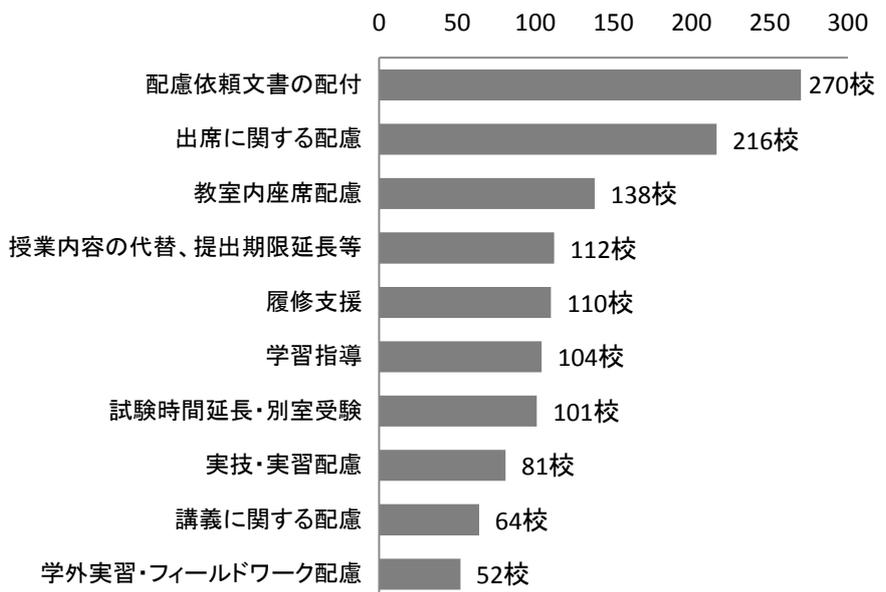


図14 精神障害 主な授業支援内容

7. 障害学生支援に関する体制等

(1)障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害者差別解消法に関する対応要領等の設置状況を見ると次のとおり。

「対応要領または基本方針、規程等がある」学校は557校(前年度427校)で全学校(1,170校)の47.6%(同36.5%)と前年度より11.1ポイントの増。「平成29年度中に策定予定である」学校102校を合わせると659校であり、全学校(1,170校)の56.3%(同46.4%)と前年度より9.9ポイントの増。「対応要領または基本方針、規程等はない」学校は511校で全学校(1,170校)の43.7%(同53.5%)と前年度より9.8ポイントの減。

表38 障害者差別解消法に関する対応要領等 [障害学生数別・学校種別]

区分	障害学生在籍校													
	対応要領または基本方針、規程等がある				平成29年度中に策定予定である				計			対応要領または基本方針、規程等はない		
	(校)	比率	支援障害学生在籍校(※)	(校)	比率	支援障害学生在籍校(※)	(校)	比率	支援障害学生在籍校(※)	(校)	比率	支援障害学生在籍校(※)		
大学	327	222	67.9	219	30	9.2	28	252	77.1	247	75	22.9	72	
短期大学	14	6	42.9	6	0	0.0	0	6	42.9	6	8	57.1	4	
高等専門学校	25	21	84.0	21	2	8.0	2	23	92.0	23	2	8.0	2	
小計	366 (336)	249 (184)	68.0 (54.8)	246 (182)	32 (34)	8.7 (10.1)	30 (33)	281 (218)	76.8 (64.9)	276 (215)	85 (118)	23.2 (35.1)	78 (107)	
大学	98	53	54.1	52	9	9.2	9	62	63.3	61	36	36.7	31	
短期大学	25	10	40.0	8	3	12.0	2	13	52.0	10	12	48.0	8	
高等専門学校	15	13	86.7	13	1	6.7	1	14	93.3	14	1	6.7	1	
小計	138 (138)	76 (63)	55.1 (45.7)	73 (61)	13 (19)	9.4 (13.8)	12 (19)	89 (82)	64.5 (59.4)	85 (80)	49 (56)	35.5 (40.6)	40 (54)	
大学	81	43	53.1	40	8	9.9	7	51	63.0	47	30	37.0	23	
短期大学	30	9	30.0	8	3	10.0	3	12	40.0	11	18	60.0	14	
高等専門学校	4	4	100.0	4	0	0.0	0	4	100.0	4	0	0.0	0	
小計	115 (120)	56 (46)	48.7 (38.3)	52 (40)	11 (12)	9.6 (10.0)	10 (11)	67 (58)	58.3 (48.3)	62 (51)	48 (62)	41.7 (51.7)	37 (49)	
大学	111	47	42.3	42	9	8.1	8	56	50.5	50	55	49.5	46	
短期大学	82	35	42.7	30	10	12.2	6	45	54.9	36	37	45.1	25	
高等専門学校	10	7	70.0	5	0	0.0	0	7	70.0	5	3	30.0	3	
小計	203 (207)	89 (74)	43.8 (35.7)	77 (64)	19 (18)	9.4 (8.7)	14 (17)	108 (92)	53.2 (44.4)	91 (81)	95 (115)	46.8 (55.6)	74 (85)	
大学	56	15	26.8	12	6	10.7	4	21	37.5	16	35	62.5	21	
短期大学	35	9	25.7	4	4	11.4	2	13	37.1	6	22	62.9	9	
高等専門学校	1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	100.0	1	
小計	92 (98)	24 (22)	26.1 (22.4)	16 (14)	10 (11)	10.9 (11.2)	6 (8)	34 (33)	37.0 (33.7)	22 (22)	58 (65)	63.0 (66.3)	31 (38)	
大学	109	26	23.9	0	6	5.5	0	32	29.4	0	77	70.6	0	
短期大学	145	35	24.1	0	11	7.6	0	46	31.7	0	99	68.3	0	
高等専門学校	2	2	100.0	0	0	0.0	0	2	100.0	0	0	0.0	0	
小計	256 (272)	63 (38)	24.6 (14.0)	0 (0)	17 (22)	6.6 (8.1)	0 (0)	80 (60)	31.3 (22.1)	0 (0)	176 (211)	68.8 (77.6)	0 (0)	
大学	782	406	51.9	365	68	8.7	56	474	60.6	421	308	39.4	193	
短期大学	331	104	31.4	56	31	9.4	13	135	40.8	69	196	59.2	60	
高等専門学校	57	47	82.5	43	3	5.3	3	50	87.7	46	7	12.3	7	
計	1,170 (1,171)	557 (427)	47.6 (36.5)	464 (361)	102 (116)	8.7 (9.9)	72 (88)	659 (543)	56.3 (46.4)	536 (449)	511 (627)	43.7 (53.5)	260 (333)	

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

(2) 専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害学生支援に関する専門委員会等の設置状況を見ると次のとおり。

- ・「専門委員会を設置」している学校406校(前年度358校)と「他の委員会が対応」する学校615校(同645校)を合わせた1,021校(同1,003校)で組織的な対応をしており、全学校(1,170校)の87.3%(同85.7%)と前年度より1.6ポイントの増。
- ・比率を見ると、「専門委員会を設置」している学校が34.7%で前年度(30.6%)より4.1ポイントの増。「他の委員会が対応」する学校が52.6%で前年度(55.1%)より2.5ポイントの減。

表39 障害学生支援に関する専門委員会等[障害学生数別・学校種別]

区分		障害学生在籍校												
		専門委員会を設置			他の委員会が対応			計			対応する委員会はない			
		(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	
大学	2 1 人 以上	327	178	54.4	175	132	40.4	127	310	94.8	302	17	5.2	17
短期大学		14	4	28.6	4	6	42.9	4	10	71.4	8	4	28.6	2
高等専門学校		25	12	48.0	12	13	52.0	13	25	100.0	25	0	0.0	0
小計		366 (336)	194 (167)	53.0 (49.7)	191 (165)	151 (147)	41.3 (43.8)	144 (138)	345 (314)	94.3 (93.5)	335 (303)	21 (22)	5.7 (6.5)	19 (19)
大学	1 1 人 以下	98	36	36.7	36	51	52.0	47	87	88.8	83	11	11.2	9
短期大学		25	10	40.0	6	10	40.0	10	20	80.0	16	5	20.0	2
高等専門学校		15	6	40.0	6	8	53.3	8	14	93.3	14	1	6.7	1
小計		138 (138)	52 (52)	37.7 (37.7)	48 (51)	69 (78)	50.0 (56.5)	65 (75)	121 (130)	87.7 (94.2)	113 (126)	17 (8)	12.3 (5.8)	12 (8)
大学	6 人 以上	81	35	43.2	32	43	53.1	35	78	96.3	67	3	3.7	3
短期大学		30	11	36.7	11	15	50.0	11	26	86.7	22	4	13.3	3
高等専門学校		4	2	50.0	2	1	25.0	1	3	75.0	3	1	25.0	1
小計		115 (120)	48 (38)	41.7 (31.7)	45 (34)	59 (66)	51.3 (55.0)	47 (53)	107 (104)	93.0 (86.7)	92 (87)	8 (16)	7.0 (13.3)	7 (13)
大学	2 人 以上	111	34	30.6	32	63	56.8	55	97	87.4	87	14	12.6	9
短期大学		82	23	28.0	20	47	57.3	32	70	85.4	52	12	14.6	9
高等専門学校		10	6	60.0	4	2	20.0	2	8	80.0	6	2	20.0	2
小計		203 (207)	63 (65)	31.0 (31.4)	56 (55)	112 (120)	55.2 (58.0)	89 (93)	175 (185)	86.2 (89.4)	145 (148)	28 (22)	13.8 (10.6)	20 (18)
大学	1 人	56	7	12.5	6	42	75.0	28	49	87.5	34	7	12.5	3
短期大学		35	4	11.4	2	24	68.6	12	28	80.0	14	7	20.0	1
高等専門学校		1	0	0.0	0	1	100.0	1	1	100.0	1	0	0.0	0
小計		92 (98)	11 (14)	12.0 (14.3)	8 (10)	67 (65)	72.8 (66.3)	41 (39)	78 (79)	84.8 (80.6)	49 (49)	14 (19)	15.2 (19.4)	4 (11)
大学	0 人	109	16	14.7	0	68	62.4	0	84	77.1	0	25	22.9	0
短期大学		145	22	15.2	0	88	60.7	0	110	75.9	0	35	24.1	0
高等専門学校		2	0	0.0	0	1	50.0	0	1	50.0	0	1	50.0	0
小計		256 (272)	38 (22)	14.8 (8.1)	0 (0)	157 (169)	61.3 (62.1)	0 (0)	195 (191)	76.2 (70.2)	0 (0)	61 (80)	23.8 (29.4)	0 (0)
大学		782	306	39.1	281	399	51.0	292	705	90.2	573	77	9.8	41
短期大学		331	74	22.4	43	190	57.4	69	264	79.8	112	67	20.2	17
高等専門学校		57	26	45.6	24	26	45.6	25	52	91.2	49	5	8.8	4
計		1,170 (1,171)	406 (358)	34.7 (30.6)	348 (315)	615 (645)	52.6 (55.1)	386 (398)	1,021 (1,003)	87.3 (85.7)	734 (713)	149 (167)	12.7 (14.3)	62 (69)

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

(3)紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

- 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況を見ると次のとおり。
 - ・「第三者的視点で調整を行なう機関がある」学校は70校（前年度61校）で全学校（1,170校）の6.0%（同5.2%）。「他の機関で対応している」学校を合わせると477校（同446校）で全学校（1,170校）の40.8%（同38.1%）と前年度より2.7ポイントの増。
 - ・「第三者的視点で調整を行なう機関はない」学校は693校（同716校）で全学校（1,170校）の59.2%（同61.1%）と前年度より1.9ポイントの減。

表40 紛争の防止、解決等に関する調整機関[障害学生数別・学校種別]

区分		障害学生在籍校												
		第三者的視点で調整を行なう機関がある				他の機関で対応している			計			第三者的視点で調整を行なう機関はない		
		(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	
大学	2 1 人以上	327	40	12.2	39	144	44.0	143	184	56.3	182	143	43.7	137
短期大学		14	0	0.0	0	5	35.7	4	5	35.7	4	9	64.3	6
高等専門学校		25	2	8.0	2	9	36.0	9	11	44.0	11	14	56.0	14
小計		366 (336)	42 (29)	11.5 (8.6)	41 (29)	158 (136)	43.2 (40.5)	156 (131)	200 (165)	54.6 (49.1)	197 (160)	166 (165)	45.4 (49.1)	157 (156)
大学	1 1 0 2 0 人	98	7	7.1	7	30	30.6	29	37	37.8	36	61	62.2	56
短期大学		25	0	0.0	0	8	32.0	6	8	32.0	6	17	68.0	12
高等専門学校		15	1	6.7	1	4	26.7	4	5	33.3	5	10	66.7	10
小計		138 (138)	8 (11)	5.8 (8.0)	8 (11)	42 (40)	30.4 (29.0)	39 (38)	50 (51)	36.2 (37.0)	47 (49)	88 (87)	63.8 (63.0)	78 (85)
大学	6 5 1 0 人	81	5	6.2	5	27	33.3	24	32	39.5	29	49	60.5	41
短期大学		30	1	3.3	1	11	36.7	9	12	40.0	10	18	60.0	15
高等専門学校		4	0	0.0	0	1	25.0	1	1	25.0	1	3	75.0	3
小計		115 (120)	6 (6)	5.2 (5.0)	6 (5)	39 (35)	33.9 (29.2)	34 (29)	45 (41)	39.1 (34.2)	40 (34)	70 (78)	60.9 (65.0)	59 (65)
大学	2 5 5 人	111	4	3.6	4	40	36.0	35	44	39.6	39	67	60.4	57
短期大学		82	1	1.2	1	32	39.0	28	33	40.2	29	49	59.8	32
高等専門学校		10	0	0.0	0	1	10.0	1	1	10.0	1	9	90.0	7
小計		203 (207)	5 (5)	2.5 (2.4)	5 (5)	73 (70)	36.0 (33.8)	64 (55)	78 (75)	38.4 (36.2)	69 (60)	125 (131)	61.6 (63.3)	96 (106)
大学	1 人	56	2	3.6	2	18	32.1	15	20	35.7	17	36	64.3	20
短期大学		35	1	2.9	1	9	25.7	4	10	28.6	5	25	71.4	10
高等専門学校		1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	100.0	1
小計		92 (98)	3 (7)	3.3 (7.1)	3 (4)	27 (32)	29.3 (32.7)	19 (20)	30 (39)	32.6 (39.8)	22 (24)	62 (59)	67.4 (60.2)	31 (36)
大学	0 人	109	2	1.8	0	32	29.4	0	34	31.2	0	75	68.8	0
短期大学		145	3	2.1	0	36	24.8	0	39	26.9	0	106	73.1	0
高等専門学校		2	1	50.0	0	0	0.0	0	1	50.0	0	1	50.0	0
小計		256 (272)	6 (3)	2.3 (1.1)	0 (0)	68 (72)	26.6 (26.5)	0 (0)	74 (75)	28.9 (27.6)	0 (0)	182 (196)	71.1 (72.1)	0 (0)
大学		782	60	7.7	57	291	37.2	246	351	44.9	303	431	55.1	311
短期大学		331	6	1.8	3	101	30.5	51	107	32.3	54	224	67.7	75
高等専門学校		57	4	7.0	3	15	26.3	15	19	33.3	18	38	66.7	35
計		1,170 (1,171)	70 (61)	6.0 (5.2)	63 (54)	407 (385)	34.8 (32.9)	312 (273)	477 (446)	40.8 (38.1)	375 (327)	693 (716)	59.2 (61.1)	421 (448)

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

(4) 1)障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害学生支援担当部署の設置状況を見ると次のとおり。

- ・「専門部署・機関を設置」している学校228校(前年度196校)と「他の部署・機関が対応」する学校878校(同893校)を合わせた1,106校(同1,089校)で組織的な対応をしており、全学校(1,170校)の94.5%(同93.0%)と前年度より1.5ポイントの増。
- ・比率を見ると、「専門部署・機関を設置」している学校が19.5%(同16.7%)と前年度より2.8ポイントの増。「他の部署・機関が対応」する学校が75.0%(同76.3%)と前年度より1.3ポイントの減。

表41 障害学生支援担当部署[障害学生数別・学校種別]

区分		障害学生在籍校												
		専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			計			対応する部署・機関はない			
		(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	(校)	比率 (%)	支援障害学生 在籍校 (※)	
大学	21人以上	327	126	38.5	126	201	61.5	193	327	100.0	319	0	0.0	0
短期大学		14	2	14.3	2	9	64.3	7	11	78.6	9	3	21.4	1
高等専門学校		25	6	24.0	6	19	76.0	19	25	100.0	25	0	0.0	0
小計		366 (336)	134 (111)	36.6 (33.0)	134 (111)	229 (223)	62.6 (66.4)	219 (209)	363 (334)	99.2 (99.4)	353 (320)	3 (2)	0.8 (0.6)	1 (2)
大学	11/20人	98	15	15.3	15	81	82.7	76	96	98.0	91	2	2.0	1
短期大学		25	2	8.0	1	23	92.0	17	25	100.0	18	0	0.0	0
高等専門学校		15	5	33.3	5	10	66.7	10	15	100.0	15	0	0.0	0
小計		138 (138)	22 (31)	15.9 (22.5)	21 (30)	114 (104)	82.6 (75.4)	103 (101)	136 (135)	98.6 (97.8)	124 (131)	2 (3)	1.4 (2.2)	1 (3)
大学	6/10人	81	21	25.9	20	59	72.8	50	80	98.8	70	1	1.2	0
短期大学		30	5	16.7	5	25	83.3	20	30	100.0	25	0	0.0	0
高等専門学校		4	0	0.0	0	4	100.0	4	4	100.0	4	0	0.0	0
小計		115 (120)	26 (14)	22.6 (11.7)	25 (13)	88 (104)	76.5 (86.7)	74 (87)	114 (118)	99.1 (98.3)	99 (100)	1 (2)	0.9 (1.7)	0 (0)
大学	2/5人	111	12	10.8	11	94	84.7	81	106	95.5	92	5	4.5	4
短期大学		82	11	13.4	9	67	81.7	48	78	95.1	57	4	4.9	4
高等専門学校		10	3	30.0	2	5	50.0	4	8	80.0	6	2	20.0	2
小計		203 (207)	26 (25)	12.8 (12.1)	22 (21)	166 (173)	81.8 (83.6)	133 (138)	192 (198)	94.6 (95.7)	155 (159)	11 (9)	5.4 (4.3)	10 (7)
大学	1人	56	1	1.8	1	54	96.4	35	55	98.2	36	1	1.8	1
短期大学		35	2	5.7	0	32	91.4	14	34	97.1	14	1	2.9	1
高等専門学校		1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	100.0	1
小計		92 (98)	3 (6)	3.3 (6.1)	1 (5)	86 (82)	93.5 (83.7)	49 (48)	89 (88)	96.7 (89.8)	50 (53)	3 (10)	3.3 (10.2)	3 (7)
大学	0人	109	6	5.5	0	83	76.1	0	89	81.7	0	20	18.3	0
短期大学		145	11	7.6	0	111	76.6	0	122	84.1	0	23	15.9	0
高等専門学校		2	0	0.0	0	1	50.0	0	1	50.0	0	1	50.0	0
小計		256 (272)	17 (9)	6.6 (3.3)	0 (0)	195 (207)	76.2 (76.1)	0 (0)	212 (216)	82.8 (79.4)	0 (0)	44 (55)	17.2 (20.2)	0 (0)
大学		782	181	23.1	173	572	73.1	435	753	96.3	608	29	3.7	6
短期大学		331	33	10.0	17	267	80.7	106	300	90.6	123	31	9.4	6
高等専門学校		57	14	24.6	13	39	68.4	37	53	93.0	50	4	7.0	3
計		1,170 (1,171)	228 (196)	19.5 (16.7)	203 (180)	878 (893)	75.0 (76.3)	578 (583)	1,106 (1,089)	94.5 (93.0)	781 (763)	64 (81)	5.5 (6.9)	15 (19)

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

(4) 2)障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)

< 概要 >

○障害学生支援担当者の配置状況を見ると次のとおり。

- ・「専任配置」している学校193校(前年度178校)と「兼任配置」の学校926校(同911校)を合わせた1,119校(同1,089校)で支援担当者を配置しており、全学校(1,170校)の95.6%(同93.0%)と前年度より2.6ポイントの増。

表42 障害学生支援担当者[障害学生数別・学校種別]

区分		障害学生在籍校							外部	
		専任配置		兼任配置		計				
		(校)	支援障害学生在籍校(※) (校)	(校)	支援障害学生在籍校(※) (校)	(校)	比率 (%)	支援障害学生在籍校(※) (校)		
大学	21人以上	327	124	124	202	195	326	99.7	319	180
短期大学		14	2	2	9	6	11	78.6	8	4
高等専門学校		25	2	2	23	23	25	100.0	25	20
小計		366 (336)	128 (106)	128 (105)	234 (222)	224 (211)	362 (328)	98.9 (97.6)	352 (316)	204 (181)
大学	11520人	98	17	17	79	73	96	98.0	90	39
短期大学		25	4	3	21	15	25	100.0	18	11
高等専門学校		15	1	1	14	14	15	100.0	15	11
小計		138 (138)	22 (26)	21 (26)	114 (108)	102 (104)	136 (134)	98.6 (97.1)	123 (130)	61 (80)
大学	6510人	81	10	10	70	59	80	98.8	69	41
短期大学		30	2	2	28	23	30	100.0	25	14
高等専門学校		4	0	0	4	4	4	100.0	4	4
小計		115 (120)	12 (15)	12 (14)	102 (100)	86 (84)	114 (115)	99.1 (95.8)	98 (98)	59 (61)
大学	255人	111	4	3	104	92	108	97.3	95	45
短期大学		82	9	8	71	51	80	97.6	59	39
高等専門学校		10	2	0	8	8	10	100.0	8	6
小計		203 (207)	15 (18)	11 (16)	183 (182)	151 (146)	198 (200)	97.5 (96.6)	162 (162)	90 (90)
大学	1人	56	3	3	51	33	54	96.4	36	19
短期大学		35	3	2	31	12	34	97.1	14	9
高等専門学校		1	0	0	1	1	1	100.0	1	1
小計		92 (98)	6 (5)	5 (5)	83 (86)	46 (49)	89 (91)	96.7 (92.9)	51 (54)	29 (34)
大学	0人	109	2	0	92	0	94	86.2	0	24
短期大学		145	8	0	117	0	125	86.2	0	43
高等専門学校		2	0	0	1	0	1	50.0	0	0
小計		256 (272)	10 (8)	0 (0)	210 (213)	0 (0)	220 (221)	85.9 (81.3)	0 (0)	67 (75)
大学		782	160	157	598	452	758	96.9	609	348
短期大学		331	28	17	277	107	305	92.1	124	120
高等専門学校		57	5	3	51	50	56	98.2	53	42
計		1,170 (1,171)	193 (178)	177 (166)	926 (911)	609 (594)	1,119 (1,089)	95.6 (93.0)	786 (760)	510 (521)

※ 複数回答あり

※ 専任担当者と兼任担当者の両方が配置されている学校については、専任配置校とした。

※ 左記の障害学生在籍学校数のうち、支援障害学生が在籍している学校数

(4) 3)障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生在籍数別)

< 概要 >

○障害学生支援担当者別の配置校数を職種別に多い順に並べると次のとおり。

- ・専任スタッフでは、最も多いのが「職員」108校。次いで「コーディネーター」84校、「教員」57校、「カウンセラー」35校、「支援技術を持つ教職員」9校、「医師」4校の順。
- ・兼任スタッフでは、最も多いのが「職員」985校。次いで「教員」643校、「カウンセラー」397校、「医師」196校、「コーディネーター」103校、「支援技術を持つ教職員」23校の順。
- ・外部に委託では、最も多いのが「医師・カウンセラー等」455校。次いで「専門技能者」66校の順。

表43 障害学生支援担当者[職種別・障害学生在籍数別]

区分		障害学生在籍校																				
		専任スタッフが いる								兼任スタッフが いる								外部に委託して いる				
		(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)		
21人以上	大学	327	124	63	24	3	6	74	40	18	318	38	156	93	9	285	197	24	180	148	38	20
	短期大学	14	2	1	0	0	0	1	0	0	11	0	6	2	0	10	5	0	4	4	0	0
	高等専門学校	25	2	1	0	0	0	1	0	0	24	5	5	0	0	22	19	0	20	20	1	0
	小計	366	128	65	24	3	6	76	40	18	353	43	167	95	9	317	221	24	204	172	39	20
11～20人	大学	98	17	5	3	0	2	9	2	2	94	9	41	18	3	84	46	3	39	36	6	1
	短期大学	25	4	1	0	0	0	2	0	1	24	0	9	2	0	23	15	1	11	11	1	0
	高等専門学校	15	1	0	0	0	0	1	1	0	15	6	2	0	0	14	13	1	11	11	0	1
	小計	138	22	6	3	0	2	12	3	3	133	15	52	20	3	121	74	5	61	58	7	2
6～10人	大学	81	10	4	2	0	0	4	5	3	78	8	21	15	2	72	45	4	41	39	3	3
	短期大学	30	2	1	0	0	0	2	0	0	30	4	13	5	1	26	19	0	14	14	0	0
	高等専門学校	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	3	3	0	4	4	0	0
	小計	115	12	5	2	0	0	6	5	3	112	12	35	20	3	101	67	4	59	57	3	3
2～5人	大学	111	4	2	2	0	0	3	1	0	107	4	34	20	3	102	56	4	45	40	6	1
	短期大学	82	9	4	1	0	0	5	2	1	78	6	31	11	1	68	46	6	39	35	3	3
	高等専門学校	10	2	0	0	0	0	1	1	1	9	2	1	0	0	8	8	1	6	6	0	0
	小計	203	15	6	3	0	0	9	4	2	194	12	66	31	4	178	110	11	90	81	9	4
1人	大学	56	3	0	0	0	1	0	0	2	54	3	11	5	0	50	31	0	19	17	1	1
	短期大学	35	3	0	0	0	0	2	2	1	33	3	10	2	1	29	14	0	9	7	1	1
	高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
	小計	92	6	0	0	0	1	2	2	3	88	6	21	7	1	80	46	0	29	25	2	2
0人	大学	109	2	1	1	0	0	0	0	0	94	5	20	13	1	88	54	2	24	23	0	1
	短期大学	145	8	1	2	1	0	3	3	1	121	10	35	10	2	100	71	7	43	39	6	2
	高等専門学校	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	256	10	2	3	1	0	3	3	1	216	15	56	23	3	188	125	9	67	62	6	3
大学		782	160	75	32	3	9	90	48	25	745	67	283	164	18	681	429	37	348	303	54	27
短期大学		331	28	8	3	1	0	15	7	4	297	23	104	32	5	256	170	14	120	110	11	6
高等専門学校		57	5	1	0	0	0	3	2	1	54	13	10	0	0	48	44	2	42	42	1	1
計		1,170	193	84	35	4	9	108	57	30	1,096	103	397	196	23	985	643	53	510	455	66	34

※ 複数回答あり

表44 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者[職種別・障害学生在籍数別]

区分		障害学生在籍数																				
		支援障害学生在籍校(※)																		外部に委託している		
		専任スタッフが在籍している									兼任スタッフが在籍している											
(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)		
		コーデイネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他		コーデイネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他		医師・カウンセラー等	専門技能者	その他		
21人以上	大学	319	124	63	24	3	6	74	40	18	311	37	154	90	8	278	191	23	175	143	38	20
	短期大学	10	2	1	0	0	0	1	0	0	8	0	6	2	0	8	4	0	3	3	0	0
	高等専門学校	25	2	1	0	0	0	1	0	0	24	5	5	0	0	22	19	0	20	20	1	0
	小計	354	128	65	24	3	6	76	40	18	343	42	165	92	8	308	214	23	198	166	39	20
11～20人	大学	92	17	5	3	0	2	9	2	2	88	8	37	17	2	79	43	3	38	35	6	1
	短期大学	18	3	0	0	0	0	2	0	1	17	0	8	2	0	16	11	1	9	9	1	0
	高等専門学校	15	1	0	0	0	0	1	1	0	15	6	2	0	0	14	13	1	11	11	0	1
	小計	125	21	5	3	0	2	12	3	3	120	14	47	19	2	109	67	5	58	55	7	2
6～10人	大学	70	10	4	2	0	0	4	5	3	67	6	20	14	2	61	38	4	35	33	3	3
	短期大学	25	2	1	0	0	0	2	0	0	25	4	11	4	1	22	16	0	13	13	0	0
	高等専門学校	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	3	3	0	4	4	0	0
	小計	99	12	5	2	0	0	6	5	3	96	10	32	18	3	86	57	4	52	50	3	3
2～5人	大学	96	3	1	1	0	0	3	1	0	94	3	31	20	3	90	52	4	39	35	5	1
	短期大学	61	8	4	1	0	0	4	2	1	57	5	24	8	1	51	35	4	32	28	3	3
	高等専門学校	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	1	0	0	7	7	1	5	5	0	0
	小計	165	11	5	2	0	0	7	3	1	159	10	56	28	4	148	94	9	76	68	8	4
1人	大学	37	3	0	0	0	1	0	0	2	36	3	8	5	0	33	21	0	12	11	1	0
	短期大学	15	2	0	0	0	0	2	2	0	14	3	5	0	0	11	7	0	3	3	0	0
	高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
	小計	53	5	0	0	0	1	2	2	2	51	6	13	5	0	45	29	0	16	15	1	0
0人	大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学	614	157	73	30	3	9	90	48	25	596	57	250	146	15	541	345	34	299	257	53	25	
短期大学	129	17	6	1	0	0	11	4	2	121	12	54	16	2	108	73	5	60	56	4	3	
高等専門学校	53	3	1	0	0	0	2	1	0	52	13	9	0	0	47	43	2	41	41	1	1	
計	796	177	80	31	3	9	103	53	27	769	82	313	162	17	696	461	41	400	354	58	29	

※ 各障害学生在籍数区分のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 複数回答あり

(5) 障害学生の相談受付窓口

< 概要 >

○障害学生の支援の申し出等に対応する窓口の設置状況は次のとおり。

「支援の申し出等の相談に対応する窓口がある」学校は839校（前年度778校）で全体の学校数（1,170校）の71.7%（同66.4%）と前年度より5.3ポイントの増。このうち、「窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している」学校は606校51.8%（同534校45.6%）と前年度より72校6.2ポイントの増。

表45 障害学生の相談受付窓口の設置状況

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,170校) 中の実施率 (%)
支援の申し出等の相談に対応する窓口がある	591 (546)	196 (186)	52 (46)	839 (778)	71.7 (66.4)
窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している	440 (388)	122 (114)	44 (32)	606 (534)	51.8 (45.6)
窓口は設けているが、特に周知はしていない	151 (158)	74 (72)	8 (14)	233 (244)	19.9 (20.8)
支援の申し出等の相談に対応する窓口はない	191 (230)	135 (150)	5 (11)	331 (391)	28.3 (33.4)
特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している	119 (139)	67 (73)	1 (7)	187 (219)	16.0 (18.7)
窓口はなく、相談対応について特に周知はしていない	72 (91)	68 (77)	4 (4)	144 (172)	12.3 (14.7)

(6) 支援の申し出等に関する対応手順

< 概要 >

○支援の申し出等に関する対応手順の整備状況は次のとおり。

「対応手順を規定した文書がある」学校は242校（前年度196校）。「対応要領等に対応手順が記載されている」学校176校（同158校）と合わせると418校（同354校）で全体の学校数（1,170校）の35.7%（同30.2%）と前年度より64校5.5ポイントの増。

表46 支援の申し出等に関する対応手順

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,170校) 中の比率 (%)
対応手順を規定した文書がある	186 (150)	41 (32)	15 (14)	242 (196)	20.7 (16.7)
対応要領等に対応手順が記載されている	132 (118)	33 (32)	11 (8)	176 (158)	15.0 (13.5)
対応手順を規定する文書はない	464 (508)	257 (272)	31 (35)	752 (815)	64.3 (69.6)

(7) 施設・設備の整備状況（学校種別・内容別）

< 概要 >

○大学、短期大学、高等専門学校すべてにおいて以下の整備率が高い。

- ・屋外については「専用駐車場」、「道路の舗装、段差の解消等」、「手すり、スロープ、階段昇降機等」。
- ・屋内については「障害者用トイレ」、「エレベーター」、「車椅子移動等に必要なスペース確保」。
- ・支援機器については「車椅子、簡易ベッド等」。

表47 施設・設備の整備状況

区分		学内全体 に整備 (校)	現在必要 な箇所に 整備 (校)	部分的に 整備して いるが不 十分 (校)	整備中ま たは年度 内に整備 予定 (校)	未整備 (校)	整備率 (%)	
大学	屋外	道路の舗装、段差の解消等	160	314	253	1	54	60.6
		手すり、スロープ、階段昇降機等	89	364	274	0	55	57.9
		点字ブロック、標識シール等	54	168	257	3	300	28.4
		専用駐車場	169	370	112	1	130	68.9
	屋内	自動扉等出入り口の整備	121	293	272	3	93	52.9
		エレベーター	206	324	229	4	19	67.8
		手すり、スロープ、階段昇降機等	93	329	309	0	51	54.0
		車椅子移動等に必要なスペース確保	164	289	261	0	68	57.9
		点字プレート等教室表示	26	74	125	4	553	12.8
		聴覚障害者用屋内信号装置	0	6	23	1	752	0.8
		障害者用トイレ	197	364	196	2	23	71.7
		自習室、独習室	55	206	158	4	359	33.4
	支援機器	磁気誘導ループ	1	9	7	1	764	1.3
		点字プリンタ	—	77	48	0	657	9.8
		立体コピー機	—	28	21	0	733	3.6
		拡大読書機	—	84	64	0	634	10.7
点字携帯端末		—	28	24	1	729	3.6	
筆談器等		—	88	81	3	610	11.3	
その他	—	476	244	2	60	60.9		
その他	11	53	14	1	—	8.2		
短期大学	屋外	道路の舗装、段差の解消等	40	109	115	1	66	45.0
		手すり、スロープ、階段昇降機等	12	135	133	0	51	44.4
		点字ブロック、標識シール等	9	56	58	0	208	19.6
		専用駐車場	37	130	36	0	128	50.5
	屋内	自動扉等出入り口の整備	23	104	109	1	94	38.4
		エレベーター	41	122	104	1	63	49.2
		手すり、スロープ、階段昇降機等	17	118	145	1	50	40.8
		車椅子移動等に必要なスペース確保	33	110	108	0	80	43.2
		点字プレート等教室表示	3	26	30	0	272	8.8
		聴覚障害者用屋内信号装置	0	3	9	0	319	0.9
		障害者用トイレ	36	142	108	2	43	53.8
		自習室、独習室	12	59	48	2	210	21.5
	支援機器	磁気誘導ループ	1	2	1	0	327	0.9
		点字プリンタ	—	10	14	0	307	3.0
		立体コピー機	—	6	6	0	319	1.8
		拡大読書機	—	12	7	0	312	3.6
点字携帯端末		—	5	7	0	319	1.5	
筆談器等		—	16	17	0	298	4.8	
その他	—	169	111	2	49	51.1		
その他	1	10	2	0	—	3.3		
高等専門学校	屋外	道路の舗装、段差の解消等	8	24	25	0	0	56.1
		手すり、スロープ、階段昇降機等	6	24	26	0	1	52.6
		点字ブロック、標識シール等	1	3	14	0	39	7.0
		専用駐車場	8	24	18	0	7	56.1
	屋内	自動扉等出入り口の整備	10	20	25	0	2	52.6
		エレベーター	9	19	26	0	3	49.1
		手すり、スロープ、階段昇降機等	4	25	26	0	2	50.9
		車椅子移動等に必要なスペース確保	7	20	24	0	6	47.4
		点字プレート等教室表示	2	0	2	0	53	3.5
		聴覚障害者用屋内信号装置	0	0	0	0	57	0.0
		障害者用トイレ	11	22	23	0	1	57.9
		自習室、独習室	1	10	9	0	37	19.3
	支援機器	磁気誘導ループ	0	0	0	0	57	0.0
		点字プリンタ	—	0	0	0	57	0.0
		立体コピー機	—	2	1	0	54	3.5
		拡大読書機	—	0	0	0	57	0.0
点字携帯端末		—	0	0	0	57	0.0	
筆談器等		—	2	3	1	51	3.5	
その他	—	33	17	1	6	57.9		
その他	1	1	0	0	—	3.5		

※ 整備率：（「学校全体に整備」＋「現在必要な箇所に整備」）÷全学校数（大学782校、短期大学331校、高等専門学校57校）×100（%）

(8)支援学生(障害学生を支援する学生)在籍学校数(支援学生数別・学校種別)

< 概要 >

○支援学生(障害学生を支援する学生)在籍学校数の状況を見ると次のとおり。

「①学校が運営する組織に登録している」支援学生がいる学校は218校(支援学生在籍学校数に対する比率は、90.1%)、「②学生が運営する組織に参加している」支援学生がいる学校は43校(同17.8%)、「④その他」(①～③に該当しない支援学生がいる)学校は10校(同4.1%)である。

表48 支援学生在籍学校数 [支援学生数別・学校種別]

支援学生数	学校種	支援学生在籍校数(※)																							
		①学校が運営する組織に登録している						②学生が運営する組織に参加している						③他校の協力により派遣してもらっている						④その他					
		(校)	(校)	(%)	有償(校)	無償(校)	その他(校)	(校)	(%)	有償(校)	無償(校)	その他(校)	(校)	(%)	有償(校)	無償(校)	その他(校)	(校)	(%)	有償(校)	無償(校)	その他(校)			
51人以上	大学	55	52	94.5	45	6	1	12	21.8	6	6	0	0	0.0	0	0	0	1	1.8	1	0	0			
	短期大学	2	2	100.0	2	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	小計	57	54	94.7	47	6	1	12	21.1	6	6	0	0	0.0	0	0	0	1	1.8	1	0	0			
41～50人	大学	13	13	100.0	10	1	2	2	15.4	0	2	0	1	7.7	1	0	0	1	7.7	0	0	1			
	短期大学	2	2	100.0	2	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	小計	15	15	100.0	12	1	2	2	13.3	0	2	0	1	6.7	1	0	0	1	6.7	0	0	1			
31～40人	大学	18	15	83.3	15	0	0	4	22.2	3	1	0	0	0.0	0	0	0	2	11.1	1	0	1			
	短期大学	1	1	100.0	1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	小計	19	16	84.2	16	0	0	4	21.1	3	1	0	0	0.0	0	0	0	2	10.5	1	0	1			
21～30人	大学	28	26	92.9	24	1	1	2	7.1	1	1	0	0	0.0	0	0	0	2	7.1	2	0	0			
	短期大学	3	3	100.0	3	0	0	1	33.3	0	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	高等専門学校	1	1	100.0	0	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	小計	32	30	93.8	27	2	1	3	9.4	1	2	0	0	0.0	0	0	0	2	6.3	2	0	0			
11～20人	大学	42	34	81.0	26	4	4	10	23.8	4	5	1	0	0.0	0	0	0	4	9.5	1	2	1			
	短期大学	4	4	100.0	2	1	1	0	0.0	0	0	0	1	25.0	1	0	0	0	0.0	0	0	0			
	高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	小計	46	38	82.6	28	5	5	10	21.7	4	5	1	1	2.2	1	0	0	4	8.7	1	2	1			
6～10人	大学	18	15	83.3	13	2	0	5	27.8	3	2	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	短期大学	3	3	100.0	2	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	高等専門学校	1	1	100.0	1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	小計	22	19	86.4	16	3	0	5	22.7	3	2	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
1～5人	大学	41	38	92.7	27	8	3	5	12.2	2	3	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	短期大学	7	6	85.7	4	0	2	1	14.3	0	0	1	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	高等専門学校	3	2	66.7	1	1	0	1	33.3	0	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
	小計	51	46	90.2	32	9	5	7	13.7	2	4	1	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0			
大学	215	193	89.8	160	22	11	40	18.6	19	20	1	1	0.5	1	0	0	10	4.7	5	2	3				
短期大学	22	21	95.5	16	2	3	2	9.1	0	1	1	1	4.5	1	0	0	0	0.0	0	0	0				
高等専門学校	5	4	80.0	2	2	0	1	20.0	0	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0				
計	242	218	90.1	178	26	14	43	17.8	19	22	2	2	0.8	2	0	0	10	4.1	5	2	3				
0人	大学	567																							
	短期大学	309																							
	高等専門学校	52																							
	小計	928																							

※ 支援学生在籍校数：①又は②に該当する支援学生が在籍する学校数。複数回答は学生数の多い区分に分類した。

(注)本項目は平成28年度から設けたものであるが、30年度から調査票と集計方法が変更されているため比較には留意が必要である〔公表後追記〕。

8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況

(1) 学校種別・障害学生在籍者数別

< 概要 >

○障害学生支援に関する活動や取組を実施している学校は1,031校（前年度968校）と前年度より63校の増。

○実施率が多い順に並べると次のとおり。

「6～10人」96.5%（同92.5%）、「21人以上」96.4%（同95.2%）、「11～20人」94.2%（同96.4%）、「2～5人」93.6%（同91.3%）、「1人」85.9%（同76.5%）となっている。

表49 活動・取組実施状況〔学校種別〕

学校種別	学校数 (校)	実施校数 (校)	実施率(※) (%)
大学	782 (778)	714 (676)	91.3 (86.9)
短期大学	331 (336)	263 (242)	79.5 (72.0)
高等専門学校	57 (57)	54 (50)	94.7 (87.7)
計	1,170 (1,171)	1,031 (968)	88.1 (82.7)

※ 実施率:実施校数÷学校数×100(%)

表50 活動・取組実施状況〔障害学生数別〕

障害学生在籍校					
区分	学校種別	学校数 (校)	実施校数		実施率(※) (%)
			(校)	支援障害学生 在籍校 (校)	
21人以上	大学	327 (297)	318 (287)	311 (281)	97.2 (96.6)
	短期大学	14 (21)	11 (18)	8 (16)	78.6 (85.7)
	高等専門学校	25 (18)	24 (15)	24 (15)	96.0 (83.3)
	小計	366 (336)	353 (320)	343 (312)	96.4 (95.2)
11～20人	大学	98 (104)	93 (101)	89 (99)	94.9 (97.1)
	短期大学	25 (20)	22 (18)	18 (17)	88.0 (90.0)
	高等専門学校	15 (14)	15 (14)	15 (13)	100.0 (100.0)
	小計	138 (138)	130 (133)	122 (129)	94.2 (96.4)
6～10人	大学	81 (81)	78 (75)	68 (67)	96.3 (92.6)
	短期大学	30 (30)	29 (27)	24 (21)	96.7 (90.0)
	高等専門学校	4 (9)	4 (9)	4 (9)	100.0 (100.0)
	小計	115 (120)	111 (111)	96 (97)	96.5 (92.5)
2～5人	大学	111 (134)	103 (122)	90 (104)	92.8 (91.0)
	短期大学	82 (64)	78 (60)	58 (44)	95.1 (93.8)
	高等専門学校	10 (9)	9 (7)	7 (6)	90.0 (77.8)
	小計	203 (207)	190 (189)	155 (154)	93.6 (91.3)
1人	大学	56 (51)	49 (36)	34 (27)	87.5 (70.6)
	短期大学	35 (45)	29 (37)	14 (18)	82.9 (82.2)
	高等専門学校	1 (2)	1 (2)	1 (0)	100.0 (100.0)
	小計	92 (98)	79 (75)	49 (45)	85.9 (76.5)
0人	大学	109 (111)	73 (55)	0 (0)	67.0 (49.5)
	短期大学	145 (156)	94 (82)	0 (0)	64.8 (52.6)
	高等専門学校	2 (5)	1 (3)	0 (0)	50.0 (60.0)
	小計	256 (272)	168 (140)	0 (0)	65.6 (51.5)

※ 実施率:実施校数÷学校数×100(%)

(2) 学校種別・内容別

< 概要 >

○障害学生支援に関する活動や取組を内容別に見ると次のとおり。

最も多いのが「障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援の実施」703校（前年度637校）。

次いで「障害学生支援に関する学外研修への教職員の派遣」647校（同619校）、「不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組」568校の順。

表51 活動・取組実施状況[学校種別・内容別]

区分	大学	短期大学	高等専門学校	実施校数	実施校数 (1,031校) 中の実施率 (※1)	全学校 (1,170校) 中の実施率 (※2)	
	(校)	(校)	(校)	(校)	(%)	(%)	
1	404 (-)	130 (-)	34 (-)	568 (-)	55.1 (-)	48.5 (-)	
2	356 (-)	104 (-)	21 (-)	481 (-)	46.7 (-)	41.1 (-)	
3	387 (315)	86 (62)	42 (24)	515 (401)	50.0 (41.4)	44.0 (34.2)	
4	513 (469)	163 (148)	27 (20)	703 (637)	68.2 (65.8)	60.1 (54.4)	
5	150 (-)	23 (-)	13 (-)	186 (-)	18.0 (-)	15.9 (-)	
6	332 (314)	84 (75)	21 (18)	437 (407)	42.4 (42.0)	37.4 (34.8)	
7	269 (444)	75 (123)	21 (38)	365 (605)	35.4 (62.5)	31.2 (51.7)	
障害学生支援に関する（学内）研修		326 (296)	83 (65)	23 (21)	432 (382)	41.9 (39.5)	36.9 (32.6)
8	教員向け各種研修(FD等)	296 (256)	73 (55)	22 (19)	391 (330)	37.9 (34.1)	33.4 (28.2)
9	職員向け各種研修(SD等)	260 (225)	64 (57)	16 (10)	340 (292)	33.0 (30.2)	29.1 (24.9)
10	障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣	466 (447)	138 (126)	43 (46)	647 (619)	62.8 (63.9)	55.3 (52.9)
11	障害学生支援に関する学生向け研修(ノートイカ養成等)	180 (170)	16 (17)	1 (1)	197 (188)	19.1 (19.4)	16.8 (16.1)
12	支援マニュアル、パンフレット等の配布	182 (209)	27 (36)	4 (9)	213 (254)	20.7 (26.2)	18.2 (21.7)
13	学内イベント(オープンキャンパス・入学式等)での支援についての情報提供	245 (225)	50 (54)	11 (24)	306 (303)	29.7 (31.3)	26.2 (25.9)
14	障害学生支援に関する講座講演等イベント	118 (128)	18 (23)	3 (5)	139 (156)	13.5 (16.1)	11.9 (13.3)
15	障害学生支援または障害者支援に関する講義(ボランティア論等)	298 (255)	77 (54)	1 (1)	376 (310)	36.5 (32.0)	32.1 (26.5)

※1 平成28年度の実実施校数は968校

※2 平成28年度の全学校数は1,171校

※ 複数回答あり

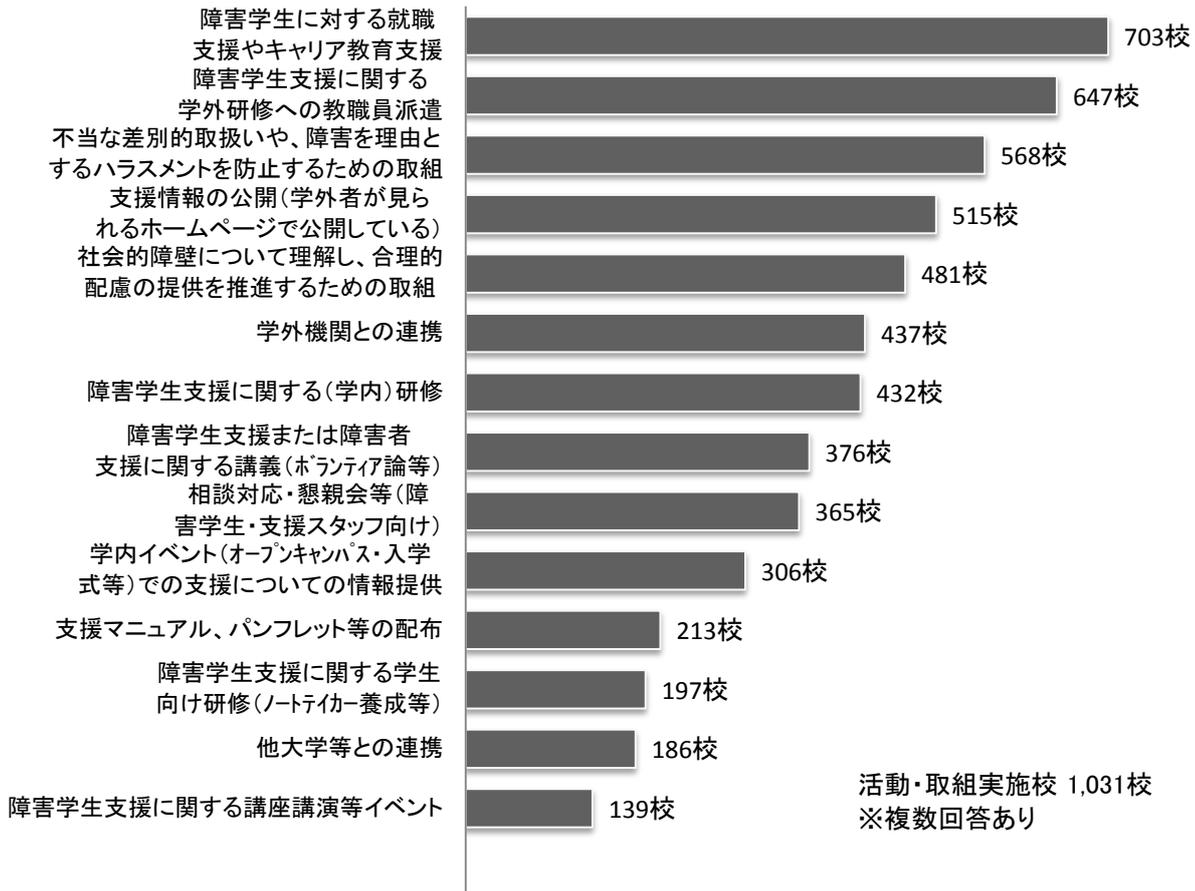


図15 活動・取組実施状況（内容別）

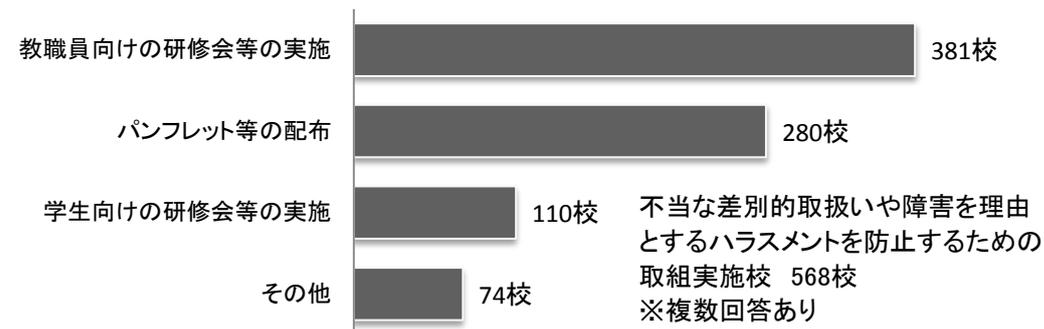


図16 不当な差別的取扱いや障害を理由とするハラスメントを防止するための取組

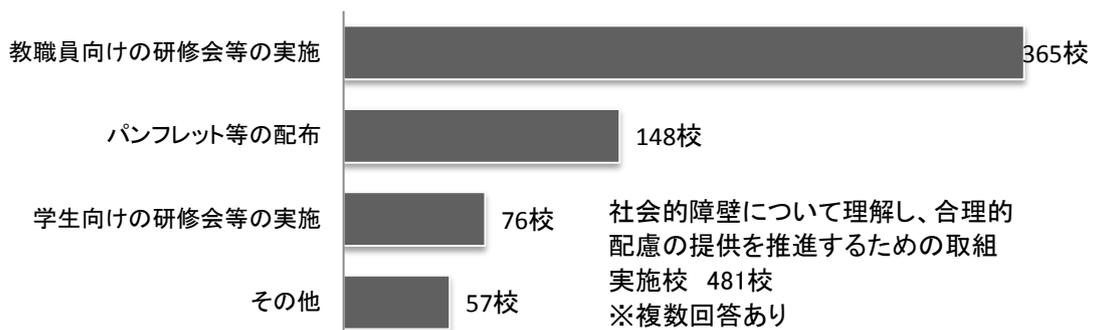


図17 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組

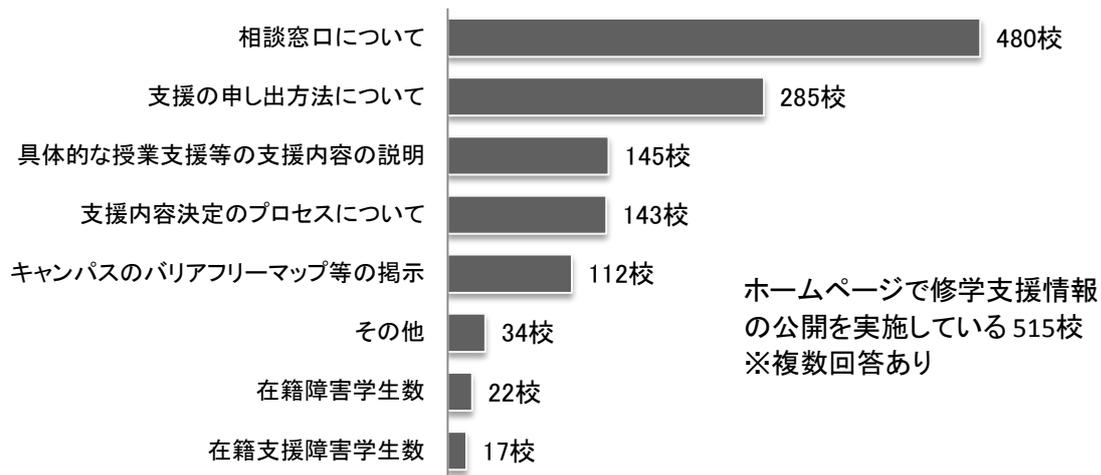


図18 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）

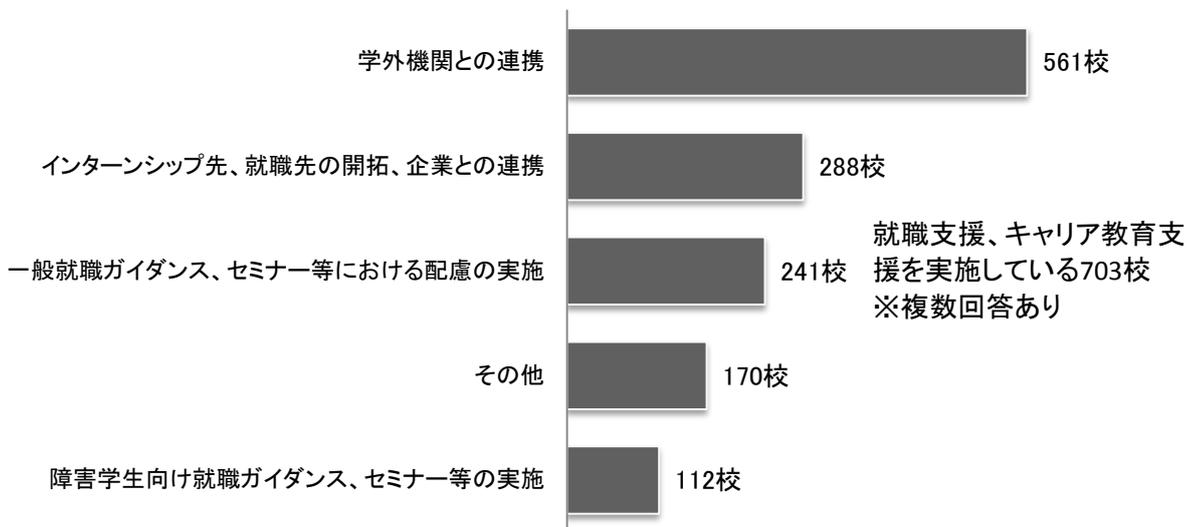


図19 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等

(1) 入学者選抜における配慮に関する体制

< 概要 >

- 平成29年度入学者選抜において、入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況については、「入試要項（紙）及びホームページに記載」している学校が748校（前年度697校）と前年度より51校の増。全学校（1,170校）に対する実施率は63.9%（同59.5%）と前年度より4.4ポイントの増。なお、「入試要項（紙）のみに記載」している学校は210校（同235校）と前年度より25校の減。
- 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法については、「全学共通のルールで期間を設けている」学校が521校（同476校）と前年度より45校の増。全学校（1,170校）に対する比率は44.5%。

表52 入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,170校) 中の実施率 (%)
入試要項（紙）及びホームページに記載	568 (527)	131 (122)	49 (48)	748 (697)	63.9 (59.5)
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載 ⁽¹⁾	556 (517)	127 (113)	49 (48)	732 (678)	62.6 (57.9)
個々の困難に応じた配慮内容を記載 ⁽²⁾	13 (11)	2 (1)	0 (0)	15 (12)	1.3 (1.0)
その他 ⁽³⁾ ※(1)(2)(3)は、複数回答あり	9 (7)	3 (3)	0 (0)	12 (10)	1.0 (0.9)
入試要項（紙）のみに記載	127 (151)	81 (82)	2 (2)	210 (235)	17.9 (20.1)
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載 ⁽¹⁾	125 (149)	78 (82)	2 (2)	205 (233)	17.5 (19.9)
個々の困難に応じた配慮内容を記載 ⁽²⁾	1 (3)	3 (1)	0 (0)	4 (4)	0.3 (0.3)
その他 ⁽³⁾ ※(1)(2)(3)は、複数回答あり	3 (2)	1 (0)	0 (0)	4 (2)	0.3 (0.2)
入試要項（紙）にもホームページにも記載していない	81 (89)	109 (122)	6 (7)	196 (218)	16.8 (18.6)

表53 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,170校) 中の比率 (%)
随時受け付けている	238 (247)	103 (108)	13 (13)	354 (368)	30.3 (31.4)
全学共通のルールで期間を設けている	381 (348)	101 (90)	39 (38)	521 (476)	44.5 (40.6)
出願受付締め切りまで	60 (67)	16 (23)	5 (5)	81 (95)	6.9 (8.1)
試験前日まで	5 (3)	1 (1)	1 (1)	7 (5)	0.6 (0.4)
その他	316 (278)	84 (66)	33 (32)	433 (376)	37.0 (32.1)
学部、学科等や入試形態によって違う	58 (59)	1 (4)	0 (0)	59 (63)	5.0 (5.4)
特に告知はしていないが、相談があれば対応する	105 (119)	126 (126)	5 (6)	236 (251)	20.2 (21.4)

(2) 入学者選抜において実施可能な配慮

< 概要 >

○平成29年度入学者選抜において、実施可能な配慮について、全学校中の比率が70%を超えているものは次のとおり。

比率が高いものから順に「松葉杖の持参使用」(80.2%)、「車椅子等の持参使用」(79.5%)、「別室を設定」(77.4%)、「試験場への車での入構許可」(74.9%)、「トイレに近接する試験室に指定」(73.3%)、「窓側の明るい席の指定」(72.2%)、「補聴器の持参使用」(71.9%)。

表54 入学者選抜において実施可能な配慮

区分	大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門 学校 (校)	計 (校)	全学校 (1,170校) 中の比率 (%)
点字問題を点字で解答	133	20	0	153	13.1
拡大文字問題の準備	411	119	20	550	47.0
拡大解答用紙の準備	398	118	20	536	45.8
音声で出題し音声で解答	53	7	0	60	5.1
マークシートに替えて文字で解答	123	20	1	144	12.3
チェック解答	155	25	2	182	15.6
試験時間の延長	476	117	18	611	52.2
照明器具の準備	328	85	21	434	37.1
特製機の使用	315	57	16	388	33.2
拡大鏡等の持参使用	539	162	36	737	63.0
補聴器の持参使用	609	190	42	841	71.9
車椅子等の持参使用	668	214	48	930	79.5
松葉杖の持参使用	672	218	48	938	80.2
パソコン等の持参使用	158	28	0	186	15.9
手話通訳者の付与	127	22	1	150	12.8
文書による伝達	471	116	18	605	51.7
窓側の明るい席の指定	608	192	45	845	72.2
トイレに近接する試験室に指定	625	189	44	858	73.3
別室を設定	652	208	46	906	77.4
試験室を一階に設定	471	139	35	645	55.1
介助者の付与	272	74	10	356	30.4
試験場への車での入構許可	634	198	44	876	74.9
その他	195	27	10	232	19.8

※ 実施率：実施校数÷全学校数×100 (%)

※ 複数回答あり

※ 過去に実施した実績がなく、実施可否の検討も行っていない項目については、実施可能と回答していない場合がある。

(3) 障害のある入学者数等（障害種別・学校種別）

< 概要 >

○平成29年度入学者選抜における障害のある入学者について見ると、大学においては「聴覚・言語障害」が、短期大学では「病弱・虚弱」が最も多い。高等専門学校においては「発達障害」が最も多い。

表55 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（総表）

区 分		相談者 (人)	志願者 (人)	受験者 (人)	配慮実施 (人)	合格者 (人)	配慮実施 (人)	入学者 (人)	配慮実施 (人)	
総表	視覚障害	盲	33	41	44	44	30	30	27	27
		弱視	183	202	203	177	116	103	78	67
		小計	216	243	247	221	146	133	105	94
	聴覚・言語障害	聾	356	325	321	311	142	141	115	112
		難聴	772	806	828	781	285	255	212	191
		言語障害のみ	17	14	13	8	8	3	7	3
		小計	1,145	1,145	1,162	1,100	435	399	334	306
	肢体不自由	上肢機能障害	70	66	69	51	38	20	30	15
		下肢機能障害	314	319	315	272	156	123	120	88
		上下肢機能障害	269	288	287	260	111	94	90	77
		他の機能障害	108	137	139	125	44	36	39	32
		小計	761	810	810	708	349	273	279	212
	病弱・虚弱	内部障害等	344	419	406	335	167	115	129	80
		他の慢性疾患	156	183	191	117	102	43	90	33
		小計	500	602	597	452	269	158	219	113
	重複	92	95	92	88	45	42	35	32	
	発達障害	S L D	47	41	40	35	13	10	11	8
		A D H D	103	100	103	74	46	23	29	7
		A S D	197	224	229	181	114	75	95	56
		発達障害の重複	128	117	106	80	43	28	33	20
小計		475	482	478	370	216	136	168	91	
精神障害	統合失調症等	31	34	33	18	16	4	14	2	
	気分障害	33	37	43	26	26	10	22	6	
	神経症性障害等	414	413	402	342	127	100	84	60	
	摂食障害・睡眠障害等	10	20	24	13	15	4	15	4	
	他の精神障害	103	117	112	98	55	43	38	30	
小計	591	621	614	497	239	161	173	102		
その他の障害	811	870	846	779	301	270	163	133		
計	4,591	4,868	4,846	4,215	2,000	1,572	1,476	1,083		

表56 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（大学）

区 分		相談者 (人)	志願者 (人)	受験者 (人)	配慮実施 (人)	合格者 (人)	配慮実施 (人)	入学者 (人)	配慮実施 (人)	
大学	視覚障害	盲	33	41	44	44	30	30	27	27
		弱視	179	198	199	174	113	101	76	66
		小計	212	239	243	218	143	131	103	93
	聴覚・言語障害	聾	355	324	320	310	141	140	114	111
		難聴	752	785	807	762	268	240	195	176
		言語障害のみ	17	14	13	8	8	3	7	3
		小計	1,124	1,123	1,140	1,080	417	383	316	290
	肢体不自由	上肢機能障害	70	65	67	51	36	20	28	15
		下肢機能障害	304	307	302	262	146	116	110	81
		上下肢機能障害	261	281	280	255	104	89	83	72
		他の機能障害	105	132	134	122	39	33	35	30
		小計	740	785	783	690	325	258	256	198
	病弱・虚弱	内部障害等	329	400	383	325	147	107	111	74
		他の慢性疾患	148	174	173	115	84	41	72	31
		小計	477	574	556	440	231	148	183	105
	重複	89	92	88	85	42	40	32	30	
	発達障害	S L D	45	39	38	34	11	9	9	7
		A D H D	94	90	92	73	35	22	18	6
		A S D	188	213	210	177	95	71	77	53
		発達障害の重複	121	109	96	77	34	26	24	18
小計		448	451	436	361	175	128	128	84	
精神障害	統合失調症等	28	30	29	18	12	4	10	2	
	気分障害	30	34	39	25	22	9	18	5	
	神経症性障害等	406	405	393	336	118	94	76	55	
	摂食障害・睡眠障害等	7	17	18	13	9	4	9	4	
	他の精神障害	99	112	109	97	52	42	35	29	
小計	570	598	588	489	213	153	148	95		
その他の障害	802	861	833	774	288	265	150	128		
計	4,462	4,723	4,667	4,137	1,834	1,506	1,316	1,023		

※ 相談者と志願者は学校が記入した数をそのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

表57 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（短期大学）

区 分		相談者 (人)	志願者 (人)	受験者 (人)	合格者		入学者	
					配慮実施 (人)	配慮実施 (人)	配慮実施 (人)	配慮実施 (人)
視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0
	弱視	0	0	0	0	0	0	0
小計		0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語 障害	聾	1	1	1	1	1	1	1
	難聴	12	13	13	12	9	8	9
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0
小計		13	14	14	13	10	9	10
肢体不自由	上肢機能障害	0	1	1	0	1	0	1
	下肢機能障害	7	8	9	6	8	5	8
	上下肢機能障害	8	7	7	5	7	5	7
	他の機能障害	2	4	4	2	4	2	3
	小計	17	20	21	13	20	12	19
病弱・虚弱	内部障害等	10	14	18	6	16	5	14
	他の慢性疾患	5	6	10	1	10	1	10
	小計	15	20	28	7	26	6	24
重複	3	3	3	2	2	1	2	
発達障害	S L D	1	1	1	1	1	1	1
	A D H D	4	5	5	1	5	1	5
	A S D	4	5	5	1	5	1	4
	発達障害の重複	2	3	3	1	3	1	3
	小計	11	14	14	4	14	4	13
精神障害	統合失調症等	3	4	4	0	4	0	4
	気分障害	2	2	3	1	3	1	3
	神経症性障害等	7	7	7	5	7	5	6
	摂食障害・睡眠障害等	2	2	5	0	5	0	5
	他の精神障害	2	3	3	1	3	1	3
小計	16	18	22	7	22	7	21	
その他の障害	6	6	9	3	9	3	9	
計		81	95	111	49	103	42	98

表58 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数〔障害種別・学校種別〕（高等専門学校）

区 分		相談者 (人)	志願者 (人)	受験者 (人)	合格者		入学者	
					配慮実施 (人)	配慮実施 (人)	配慮実施 (人)	配慮実施 (人)
視覚障害	盲	0	0	0	0	0	0	0
	弱視	4	4	4	3	3	2	2
	小計	4	4	4	3	3	2	2
聴覚・言語 障害	聾	0	0	0	0	0	0	0
	難聴	8	8	8	7	8	7	8
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0
小計		8	8	8	7	8	7	8
肢体不自由	上肢機能障害	0	0	1	0	1	0	1
	下肢機能障害	3	4	4	4	2	2	2
	上下肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0
	他の機能障害	1	1	1	1	1	1	1
	小計	4	5	6	5	4	3	4
病弱・虚弱	内部障害等	5	5	5	4	4	3	4
	他の慢性疾患	3	3	8	1	8	1	8
	小計	8	8	13	5	12	4	12
重複	0	0	1	1	1	1	1	
発達障害	S L D	1	1	1	0	1	0	1
	A D H D	5	5	6	0	6	0	6
	A S D	5	6	14	3	14	3	14
	発達障害の重複	5	5	7	2	6	1	6
	小計	16	17	28	5	27	4	27
精神障害	統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0
	気分障害	1	1	1	0	1	0	1
	神経症性障害等	1	1	2	1	2	1	2
	摂食障害・睡眠障害等	1	1	1	0	1	0	1
	他の精神障害	2	2	0	0	0	0	0
小計	5	5	4	1	4	1	4	
その他の障害	3	3	4	2	4	2	4	
計		48	50	68	29	63	24	62

※ 相談者と志願者は学校が記入した数をそのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

(4) 受験上の配慮を行なった受験者数 (障害種別・学校種別)

< 概要 >

○平成29年度入学選抜における受験上の配慮については次のとおり。

A O入試、推薦入試、障害者特別入試の「特別入試」を受験した障害学生は674人 (前年度761人) と前年度より87人の減。「特別入試以外入試」を受験した障害学生は3,319人 (同2,691人) と前年度より628人の増。

表59 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (総表)

区分	学部・学科(通学)						小計 (人)	(学部・学科 通信)	(大通学院 学院)	(大通学院 通信)	専攻科 (人)	計 (人)
	特別入試				外特 の別 入試 以 上 (人)							
	A O 入 試 (人)	推 薦 入 試 (人)	別 障 害 者 特 別 入 試 者 特 別 (人)	小 計 (人)								
視覚障害	盲	4 (12)	8 (14)	1 (3)	13 (29)	15 (11)	28 (40)	0 (0)	14 (4)	1 (5)	1 (0)	44 (49)
	弱視	23 (29)	22 (48)	1 (0)	46 (77)	114 (137)	160 (214)	2 (2)	14 (12)	1 (1)	0 (0)	177 (229)
	小計	27 (41)	30 (62)	2 (3)	59 (106)	129 (148)	188 (254)	2 (2)	28 (16)	2 (6)	1 (0)	221 (278)
聴覚・言語障害	聾	28 (33)	68 (86)	1 (3)	97 (122)	204 (210)	301 (332)	2 (0)	7 (14)	1 (0)	0 (0)	311 (346)
	難聴	46 (46)	95 (111)	4 (7)	145 (164)	594 (501)	739 (665)	9 (4)	31 (20)	0 (0)	2 (0)	781 (689)
	言語障害のみ	0 (1)	6 (4)	0 (0)	6 (5)	2 (2)	8 (7)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (8)
	小計	74 (80)	169 (201)	5 (10)	248 (291)	800 (713)	1,048 (1,004)	11 (4)	38 (35)	1 (0)	2 (0)	1,100 (1,043)
肢体不自由	上肢機能障害	2 (2)	4 (4)	0 (1)	6 (7)	40 (25)	46 (32)	4 (0)	0 (3)	1 (2)	0 (0)	51 (37)
	下肢機能障害	20 (26)	37 (41)	1 (1)	58 (68)	198 (251)	256 (319)	6 (1)	9 (10)	1 (0)	0 (0)	272 (330)
	上下肢機能障害	34 (30)	23 (39)	4 (0)	61 (69)	175 (143)	236 (212)	3 (3)	20 (17)	1 (6)	0 (0)	260 (238)
	他の機能障害	11 (7)	14 (14)	1 (1)	26 (22)	86 (75)	112 (97)	3 (0)	8 (3)	2 (0)	0 (0)	125 (100)
	小計	67 (65)	78 (98)	6 (3)	151 (166)	499 (494)	650 (660)	16 (4)	37 (33)	5 (8)	0 (0)	708 (705)
病弱・虚弱	内部障害等	15 (5)	19 (26)	1 (0)	35 (31)	289 (170)	324 (201)	9 (0)	1 (4)	1 (0)	0 (0)	335 (205)
	他の慢性疾患	7 (4)	10 (12)	1 (0)	18 (16)	98 (117)	116 (133)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	117 (136)
	小計	22 (9)	29 (38)	2 (0)	53 (47)	387 (287)	440 (334)	9 (1)	2 (6)	1 (0)	0 (0)	452 (341)
重複	9 (7)	7 (13)	3 (0)	19 (20)	62 (34)	81 (54)	0 (0)	6 (2)	1 (1)	0 (0)	88 (57)	
発達障害	S L D	1 (2)	3 (2)	0 (0)	4 (4)	28 (17)	32 (21)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (21)
	A D H D	2 (2)	2 (5)	1 (0)	5 (7)	68 (29)	73 (36)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	74 (38)
	A S D	21 (10)	9 (19)	3 (0)	33 (29)	139 (113)	172 (142)	3 (0)	5 (1)	1 (0)	0 (0)	181 (143)
	発達障害の重複	1 (3)	7 (3)	1 (0)	9 (6)	67 (38)	76 (44)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	80 (44)
	小計	25 (17)	21 (29)	5 (0)	51 (46)	302 (197)	353 (243)	9 (1)	7 (2)	1 (0)	0 (0)	370 (246)
精神障害	統合失調症等	1 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	14 (12)	16 (13)	2 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	18 (15)
	気分障害	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	24 (28)	26 (30)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (30)
	神経症性障害等	3 (2)	13 (11)	1 (0)	17 (13)	303 (231)	320 (244)	20 (17)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	342 (262)
	摂食障害・睡眠障害等	5 (0)	2 (0)	0 (0)	7 (0)	5 (7)	12 (7)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (7)
	他の精神障害	7 (2)	7 (12)	0 (0)	14 (14)	82 (41)	96 (55)	1 (0)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	98 (58)
	小計	16 (5)	25 (25)	1 (0)	42 (30)	428 (319)	470 (349)	24 (17)	3 (5)	0 (1)	0 (0)	497 (372)
その他の障害	11 (6)	40 (44)	0 (5)	51 (55)	712 (499)	763 (554)	12 (12)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	779 (567)	
計	251 (230)	399 (510)	24 (21)	674 (761)	3,319 (2,691)	3,993 (3,452)	83 (41)	125 (100)	11 (16)	3 (0)	4,215 (3,609)	

表60 受験上の配慮を行なった受験者数〔障害種別・学校種別〕(大学)

区分	学部・学科(通学)						小計 (人)	(学部・学科 (通信・学 科)	(大 学院 (通 学 院)	(大 学院 (通 信 院)	専 攻 科 (人)	計 (人)
	特別入試				外 特 の 別 入 入 試 以 上 (人)							
	A O 入 試 (人)	推 薦 入 試 (人)	別 障 害 者 特 別 入 試 (人)	小 計 (人)								
視覚障害	盲	4 (12)	8 (14)	1 (3)	13 (29)	15 (11)	28 (40)	0 (0)	14 (4)	1 (5)	1 (0)	44 (49)
	弱視	23 (29)	22 (47)	1 (0)	46 (76)	111 (135)	157 (211)	2 (2)	14 (12)	1 (1)	0 (0)	174 (226)
	小計	27 (41)	30 (61)	2 (3)	59 (105)	126 (146)	185 (251)	2 (2)	28 (16)	2 (6)	1 (0)	218 (275)
聴覚・言語障害	聾	28 (33)	67 (86)	1 (3)	96 (122)	204 (207)	300 (329)	2 (0)	7 (14)	1 (0)	0 (0)	310 (343)
	難聴	45 (44)	88 (105)	4 (7)	137 (156)	584 (491)	721 (647)	8 (4)	31 (20)	0 (0)	2 (0)	762 (671)
	言語障害のみ	0 (1)	6 (4)	0 (0)	6 (5)	2 (2)	8 (7)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (8)
	小計	73 (78)	161 (195)	5 (10)	239 (283)	790 (700)	1,029 (983)	10 (4)	38 (35)	1 (0)	2 (0)	1,080 (1,022)
肢体不自由	上肢機能障害	2 (2)	4 (4)	0 (1)	6 (7)	40 (25)	46 (32)	4 (0)	0 (3)	1 (2)	0 (0)	51 (37)
	下肢機能障害	19 (24)	34 (36)	1 (1)	54 (61)	192 (251)	246 (312)	6 (1)	9 (10)	1 (0)	0 (0)	262 (323)
	上下肢機能障害	32 (29)	21 (37)	4 (0)	57 (66)	174 (142)	231 (208)	3 (3)	20 (17)	1 (6)	0 (0)	255 (234)
	他の機能障害	11 (7)	11 (14)	1 (1)	23 (22)	86 (75)	109 (97)	3 (0)	8 (3)	2 (0)	0 (0)	122 (100)
	小計	64 (62)	70 (91)	6 (3)	140 (156)	492 (493)	632 (649)	16 (4)	37 (33)	5 (8)	0 (0)	690 (694)
病弱・虚弱	内部障害等	13 (5)	17 (24)	1 (0)	31 (29)	283 (168)	314 (197)	9 (0)	1 (4)	1 (0)	0 (0)	325 (201)
	他の慢性疾患	7 (4)	10 (11)	1 (0)	18 (15)	96 (115)	114 (130)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	115 (133)
	小計	20 (9)	27 (35)	2 (0)	49 (44)	379 (283)	428 (327)	9 (1)	2 (6)	1 (0)	0 (0)	440 (334)
重複	8 (6)	7 (13)	3 (0)	18 (19)	60 (34)	78 (53)	0 (0)	6 (2)	1 (1)	0 (0)	85 (56)	
発達障害	S L D	1 (2)	3 (2)	0 (0)	4 (4)	27 (17)	31 (21)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (21)
	A D H D	2 (2)	1 (5)	1 (0)	4 (7)	68 (29)	72 (36)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	73 (38)
	A S D	20 (8)	9 (18)	3 (0)	32 (26)	136 (109)	168 (135)	3 (0)	5 (1)	1 (0)	0 (0)	177 (136)
	発達障害の重複	1 (3)	7 (3)	1 (0)	9 (6)	64 (35)	73 (41)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	77 (41)
	小計	24 (15)	20 (28)	5 (0)	49 (43)	295 (190)	344 (233)	9 (1)	7 (2)	1 (0)	0 (0)	361 (236)
精神障害	統合失調症等	1 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	14 (12)	16 (13)	2 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	18 (15)
	気分障害	0 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (2)	24 (28)	25 (30)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (30)
	神経症性障害等	1 (2)	11 (11)	1 (0)	13 (13)	301 (229)	314 (242)	20 (17)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	336 (260)
	摂食障害・睡眠障害等	5 (0)	2 (0)	0 (0)	7 (0)	5 (7)	12 (7)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (7)
	他の精神障害	6 (2)	7 (9)	0 (0)	13 (11)	82 (40)	95 (51)	1 (0)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	97 (54)
	小計	13 (5)	22 (22)	1 (0)	36 (27)	426 (316)	462 (343)	24 (17)	3 (5)	0 (1)	0 (0)	489 (366)
その他の障害	11 (6)	40 (44)	0 (5)	51 (55)	707 (497)	758 (552)	12 (12)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	774 (565)	
計	240 (222)	377 (489)	24 (21)	641 (732)	3,275 (2,659)	3,916 (3,391)	82 (41)	125 (100)	11 (16)	3 (0)		4,137 (3,548)

表61 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (短期大学)

区分	学部・学科(通学)						小計	(学部・学科 (通信)	(大学院 (通学院)	(大学院 (通信)	専攻科	計
	特別入試				外特別入試以	小計						
	A O入試	推薦入試	入試障害者特別	小計								
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
視覚障害	盲	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	— (-)	— (-)	0 (0)	0 (0)	
	弱視	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (3)	— (-)	— (-)	0 (0)	0 (3)	
	小計	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (3)	— (-)	— (-)	0 (0)	0 (3)	
聴覚・言語障害	聾	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (2)	1 (2)	— (-)	— (-)	0 (0)	1 (2)	
	難聴	1 (2)	6 (3)	0 (0)	7 (5)	4 (5)	11 (10)	— (-)	— (-)	0 (0)	12 (10)	
	言語障害のみ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	— (-)	— (-)	0 (0)	0 (0)	
	小計	1 (2)	7 (3)	0 (0)	8 (5)	4 (7)	12 (12)	— (-)	— (-)	0 (0)	13 (12)	
肢体不自由	上肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	— (-)	— (-)	0 (0)	0 (0)	
	下肢機能障害	1 (2)	2 (5)	0 (0)	3 (7)	3 (0)	6 (7)	— (-)	— (-)	0 (0)	6 (7)	
	上下肢機能障害	2 (1)	2 (2)	0 (0)	4 (3)	1 (1)	5 (4)	— (-)	— (-)	0 (0)	5 (4)	
	他の機能障害	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	— (-)	— (-)	0 (0)	2 (0)	
	小計	3 (3)	6 (7)	0 (0)	9 (10)	4 (1)	13 (11)	— (-)	— (-)	0 (0)	13 (11)	
病弱・虚弱	内部障害等	2 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	3 (1)	6 (2)	— (-)	— (-)	0 (0)	6 (2)	
	他の慢性疾患	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (2)	— (-)	— (-)	0 (0)	1 (2)	
	小計	2 (0)	1 (2)	0 (0)	3 (2)	4 (2)	7 (4)	— (-)	— (-)	0 (0)	7 (4)	
重複	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	2 (1)	— (-)	— (-)	0 (0)	2 (1)		
発達障害	S L D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	— (-)	— (-)	0 (0)	1 (0)	
	A D H D	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	— (-)	— (-)	0 (0)	1 (0)	
	A S D	1 (2)	0 (1)	0 (0)	1 (3)	0 (2)	1 (5)	— (-)	— (-)	0 (0)	1 (5)	
	発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	— (-)	— (-)	0 (0)	1 (1)	
	小計	1 (2)	1 (1)	0 (0)	2 (3)	2 (3)	4 (6)	— (-)	— (-)	0 (0)	4 (6)	
精神障害	統合失調症等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	— (-)	— (-)	0 (0)	0 (0)	
	気分障害	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	— (-)	— (-)	0 (0)	1 (0)	
	神経症性障害等	2 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (0)	1 (2)	5 (2)	— (-)	— (-)	0 (0)	5 (2)	
	摂食障害・睡眠障害等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	— (-)	— (-)	0 (0)	0 (0)	
	他の精神障害	1 (0)	0 (3)	0 (0)	1 (3)	0 (1)	1 (4)	— (-)	— (-)	0 (0)	1 (4)	
	小計	3 (0)	3 (3)	0 (0)	6 (3)	1 (3)	7 (6)	— (-)	— (-)	0 (0)	7 (6)	
その他の障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	— (-)	— (-)	0 (0)	3 (0)		
計	11 (8)	18 (17)	0 (0)	29 (25)	19 (18)	48 (43)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	49 (43)	

表62 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

区分		学部・学科(通学)					小計	学部・学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科	計	
		特別入試				外特別入試 以外							
		AO入試 (人)	推薦入試 (人)	障害者特 別入試 (人)	小計 (人)								
高等専門学校	視覚障害	盲	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)	
		弱視	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	3 (0)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	3 (0)
	聴覚・言語障害	聾	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (1)
		難聴	0 (0)	1 (3)	0 (0)	1 (3)	6 (5)	7 (8)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	7 (8)
		言語障害のみ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	1 (3)	0 (0)	1 (3)	6 (6)	7 (9)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	7 (9)
	肢体不自由	上肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		下肢機能障害	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	4 (0)
		上下肢機能障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		他の機能障害	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)
		小計	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	5 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	5 (0)
	病弱・虚弱	内部障害等	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	3 (1)	4 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	4 (2)
		他の慢性疾患	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (1)
		小計	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (2)	5 (3)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	5 (3)
	重複		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)
	発達障害	S L D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		A D H D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		A S D	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	3 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	3 (2)
		発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (2)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (4)	5 (4)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	5 (4)
	精神障害	統合失調症等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		気分障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		神経症性障害等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)
		摂食障害・睡眠障害等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		他の精神障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	1 (0)
	その他の障害		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	2 (2)
	計		0 (0)	4 (4)	0 (0)	4 (4)	25 (14)	29 (18)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (18)

(5) 入学者選抜において実施した配慮の内容（障害種別）

< 概要 >

○平成29年度入学者選抜において実施した配慮の内容については次のとおり。

- ・実施校数は「その他」を除けば「別室を設定」が最も多く249校。次いで「補聴器の持参使用」189校、「文書による伝達」174校。
- ・障害種別で実施が多いのは、「肢体不自由」321校、「聴覚・言語障害」294校。

表63 入学者選抜において実施した配慮の内容〔障害種別〕

区分	点字問題を点字で解答	拡大文字問題の準備	拡大解答用紙の準備	音声で出題し音声で解答	マークシートに替えて文字で解答	チェック解答	試験時間の延長	照明器具の準備	特製機の使用	拡大鏡等の持参使用	補聴器の持参使用	車椅子等の持参使用	松葉杖の持参使用	パソコン等の持参使用	手話通訳者の付与	文書による伝達	窓側の明るい席の指定	トイレに近接する試験室に指定	別室を設定	試験室を一階に設定	介助者の付与	試験場への車での入構許可	その他	受験上の配慮を実施した学校数	
	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	(校)	
視覚障害	盲	20	0	0	0	0	20	0	7	0	0	0	0	7	0	0	0	0	24	4	6	2	11	28	
	弱視	0	59	42	0	7	9	48	10	7	54	2	0	1	2	1	5	8	2	50	2	6	9	33	85
	小計	20	59	42	0	7	9	68	10	14	54	2	0	1	9	1	5	8	2	74	6	12	11	44	113
聴覚・言語障害	聾	0	1	0	0	0	1	5	0	0	1	35	1	0	3	12	50	0	0	11	0	0	1	29	60
	難聴	0	0	0	0	0	0	9	0	2	1	170	3	0	1	13	131	2	0	30	1	1	3	153	227
	言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	7
小計	0	1	0	0	0	1	14	0	2	2	205	4	0	4	25	182	2	0	41	1	1	4	189	294	
肢体不自由	上肢機能障害	0	4	3	0	0	9	13	1	2	0	1	3	2	3	0	0	0	4	10	3	3	4	17	28
	下肢機能障害	0	0	0	0	0	4	7	0	24	0	0	82	34	3	0	0	0	42	35	25	17	79	64	134
	上下肢機能障害	0	6	14	1	2	19	46	0	35	0	1	72	20	5	0	1	1	41	58	22	31	62	51	105
	他の機能障害	0	3	5	0	0	8	17	0	12	0	0	27	7	2	0	2	0	24	26	14	9	29	33	54
	小計	0	13	22	1	2	40	83	1	73	0	2	184	63	13	0	3	1	111	129	64	60	174	165	321
病弱・虚弱	内部障害等	0	1	5	0	0	4	8	0	2	0	1	15	2	0	3	0	2	43	54	8	9	21	78	111
	他の慢性疾患	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	4	1	0	0	0	0	20	31	1	1	5	37	58
	小計	0	1	5	0	0	4	10	0	3	0	1	19	3	0	3	0	2	63	85	9	10	26	115	169
重複	2	11	8	0	0	4	16	1	8	2	3	20	2	3	1	1	1	11	20	10	3	18	26	39	
発達障害（診断書有）	SLD	0	3	3	0	0	4	11	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	11	0	0	0	0	8	17
	ADHD	0	0	0	0	0	6	17	0	1	2	0	0	0	0	3	0	2	24	0	1	0	14	30	
	ASD	0	3	0	0	1	5	19	0	0	1	0	1	0	2	1	22	0	10	51	0	4	1	41	80
	発達障害の重複	0	1	2	0	0	5	14	0	0	0	0	0	0	0	1	12	0	1	25	1	1	0	16	36
	小計	0	7	5	0	1	20	61	0	1	4	0	1	0	2	2	42	0	13	111	1	6	1	79	163
精神障害	統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	8	0	0	0	3	11	
	気分障害	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13	0	0	0	2	16	
	神経症性障害等	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	22	74	5	5	7	67	105	
	摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	6	7	
	他の精神障害	0	1	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	7	34	2	1	0	25	55
小計	0	1	0	0	0	2	6	0	2	1	0	1	0	0	0	6	1	33	132	7	6	8	103	194	
その他の障害	0	5	2	0	0	2	5	0	1	2	0	1	3	2	2	1	1	61	68	8	0	11	111	146	
実施校数	22	80	69	1	10	50	148	12	80	60	189	161	60	27	29	174	15	164	249	66	72	162	326	464	

10. 障害学生の卒業後の進路

進路状況（学校種別・障害種別）

< 概要 >

○通学制の最高年次(※)に在籍していた障害学生は(平成28年5月1日現在)5,288人(前年度4,997人)と、前年度より291人の増。平成28年度卒業生は4,021人(同3,690人)と前年度より331人の増。

○卒業生の進路状況は、進学が463人(同428人)と前年度より35人の増。就職が2,240人(同1,953人)と前年度より287人の増。進学者のうち就職している者6人(同16人)を加えた全就職者数は2,246人(同1,969人)で前年度より277人の増。

※ 最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表64 進路状況〔学校種別・障害種別〕(総表)

区分	現在(平成28年5月1日)	最高年次障害学生数(人)	平成28年度卒業の障害学生数(人)	平成28年度に卒業した障害学生の進路状況(平成29年5月1日まで)														計(人)	
				進学						うち就職している者(人)	就職者(左記を除く)(人)	臨床研修医(予定を含む)(人)	関係学校・教育訓練機関等(人)	専修学校・外国の学校(人)	社会福祉施設・医療機関入所者(人)	一時的な職に就いた者(人)	左記以外の者(人)		死亡・不詳の者(人)
				大学院研究科(人)	大学学部(人)	短期大学本科(人)	専攻科(人)	別科(人)	専攻科(人)										
視覚障害	盲	20	15	1	1	0	1	0	0	4	0	4	0	0	0	3	1	15	
	弱視	112	96	6	3	0	0	0	1	58	1	2	0	2	16	8	96		
聴覚・言語障害	聾	135	116	12	4	0	4	0	0	81	0	0	0	3	10	2	116		
	難聴	232	205	13	9	0	1	0	0	123	6	1	5	10	20	17	205		
肢体不自由	言語障害のみ	12	12	2	0	0	0	0	0	6	0	0	0	2	1	1	12		
	上肢機能障害	95	88	5	1	0	0	0	0	58	1	1	3	3	6	10	88		
	下肢機能障害	196	176	2	4	0	1	0	0	117	2	3	3	11	24	9	176		
	上下肢機能障害	157	134	5	1	0	1	0	0	74	0	9	2	3	34	5	134		
	他の機能障害	99	78	7	2	1	1	0	0	39	1	1	0	5	15	6	78		
病弱・虚弱	内部障害等	587	520	21	18	1	6	0	0	342	7	12	1	26	49	37	520		
	他の慢性疾患	805	712	50	26	2	11	1	3	503	10	7	12	24	45	21	712		
	重複	80	65	11	0	0	0	0	0	24	0	3	0	5	13	9	65		
発達障害(診断書有)	S L D	37	31	1	4	1	0	0	0	12	0	1	0	2	6	4	31		
	A D H D	200	116	6	3	0	2	1	1	53	0	5	2	7	25	12	116		
	A S D	603	422	32	17	0	6	0	0	161	5	18	11	17	127	28	422		
	発達障害の重複	123	79	7	1	0	1	0	0	32	2	4	2	4	21	5	79		
精神障害	統合失調症等	174	104	9	4	0	0	0	0	38	1	4	4	5	31	8	104		
	気分障害	513	293	30	10	0	1	0	0	129	9	5	4	15	57	33	293		
	神経症性障害等	480	306	27	7	2	2	0	0	143	2	5	1	20	75	22	306		
	摂食障害・睡眠障害等	99	66	7	4	0	1	0	1	28	0	2	0	4	16	4	66		
	他の精神障害	281	184	16	6	1	0	1	0	90	0	2	3	14	35	16	184		
その他の障害	248	203	8	5	1	4	0	0	125	3	4	2	8	24	19	203			
計	5,288(4,997)	4,021(3,690)	278(289)	130(94)	9(9)	43(28)	3(8)	6(16)	2,240(1,953)	50(23)	93(90)	55(73)	190(168)	653(583)	277(372)	4,021(3,690)			

表65 進路状況〔学校種別・障害種別〕(大学)

区分	現在(平成28年5月1日)	最高年次障害学生数(人)	平成28年度卒業の障害学生数(人)	平成28年度に卒業した障害学生の進路状況(平成29年5月1日まで)														計(人)	
				進学						うち就職している者(人)	就職者(左記を除く)(人)	臨床研修医(予定を含む)(人)	関係学校・教育訓練機関等(人)	専修学校・外国の学校(人)	社会福祉施設・医療機関入所者(人)	一時的な職に就いた者(人)	左記以外の者(人)		死亡・不詳の者(人)
				大学院研究科(人)	大学学部(人)	短期大学本科(人)	専攻科(人)	別科(人)	専攻科(人)										
視覚障害	盲	19	14	1	0	0	1	0	0	4	0	4	0	0	3	1	14		
	弱視	103	87	6	3	0	0	0	1	51	1	2	0	2	14	8	87		
聴覚・言語障害	聾	132	113	12	3	0	4	0	0	80	0	0	0	3	9	2	113		
	難聴	207	181	12	8	0	0	0	0	108	6	0	5	8	18	16	181		
肢体不自由	言語障害のみ	9	9	2	0	0	0	0	0	5	0	0	0	1	0	1	9		
	上肢機能障害	86	79	5	0	0	0	0	0	51	1	1	2	3	6	10	79		
	下肢機能障害	174	156	2	4	0	0	0	0	102	2	2	2	10	23	9	156		
	上下肢機能障害	148	126	5	1	0	1	0	0	68	0	9	2	3	32	5	126		
	他の機能障害	90	69	7	1	0	0	0	0	35	1	1	0	4	14	6	69		
病弱・虚弱	内部障害等	491	429	21	8	0	0	0	0	278	7	11	1	23	43	37	429		
	他の慢性疾患	645	562	50	18	0	0	1	3	389	8	7	11	22	37	19	562		
	重複	72	58	11	0	0	0	0	0	21	0	3	0	5	9	9	58		
発達障害(診断書有)	S L D	27	21	1	2	0	0	0	0	7	0	1	0	2	4	4	21		
	A D H D	171	93	6	2	0	0	0	1	39	0	4	1	7	24	10	93		
	A S D	544	366	32	8	0	0	0	0	131	3	15	11	16	122	28	366		
	発達障害の重複	112	69	6	0	0	1	0	0	28	2	4	2	4	18	4	69		
精神障害	統合失調症等	160	96	9	4	0	0	0	0	34	1	4	4	5	28	7	96		
	気分障害	476	263	30	8	0	0	0	0	117	9	5	0	12	52	30	263		
	神経症性障害等	437	273	27	6	0	0	0	0	125	2	4	1	18	71	19	273		
	摂食障害・睡眠障害等	86	54	7	0	0	0	0	1	22	0	1	0	4	16	4	54		
	他の精神障害	257	164	16	5	0	0	1	0	78	0	2	2	12	32	16	164		
その他の障害	201	158	8	1	0	0	0	0	97	2	4	2	6	21	17	158			
計	4,647(4,456)	3,440(3,208)	276(289)	82(55)	0(0)	7(2)	2(7)	6(15)	1,870(1,655)	45(23)	84(82)	46(71)	170(132)	596(528)	262(364)	3,440(3,208)			

表66 進路状況 [学校種別・障害種別] (短期大学)

区分	2028年 最高年次 障害学生数 (平成 29年5月1日 現在)	平成28年度 卒業の障害学生数 (平成 29年3月31日 まで)	平成28年度に卒業した障害学生の進路状況 (平成29年5月1日まで)													計 (人)		
			進学						就職者 (左記を除く)	臨床研修医 (予定者を含む)	専修学校・外国 の学校・ 教育訓練機 関等	社会福祉施設・ 医療機関 入所者	一時的な職に 就いた者	左記以外の者	死亡・不詳 の者			
			大学院研究科	大学学部	短期大学 本科	専攻科	別科	うち就職 している者										
短期大学	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
視覚障害	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
弱視	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3
聴覚・言語障害	3	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
難聴	20	19	0	0	0	0	0	0	0	13	0	1	0	2	2	1	0	19
言語障害のみ	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
肢体不自由	7	7	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0	0	0	7
上肢機能障害	17	15	0	0	0	0	0	0	0	11	0	1	1	1	1	0	0	15
上下肢機能障害	9	8	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	2	0	0	8
他の機能障害	6	6	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
病弱・虚弱	77	72	0	6	1	2	0	0	0	53	0	1	0	3	6	0	0	72
内部障害等	130	120	0	3	2	2	0	0	0	98	2	0	1	2	8	2	0	120
他の慢性疾患	7	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4	0	0	6
重複	8	8	0	1	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	8
発達障害(診断書有)	14	11	0	0	0	1	0	0	0	7	0	0	1	0	0	2	0	11
ADHD	26	25	0	3	0	0	0	0	0	12	2	3	0	1	4	0	0	25
ASD	8	7	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	1	0	7
発達障害の重複	13	8	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	1	0	8
統合失調症等	30	25	0	2	0	0	0	0	0	9	0	0	4	2	5	3	0	25
気分障害	38	29	0	1	2	1	0	0	0	15	0	1	0	2	4	3	0	29
神経症性障害等	11	10	0	3	0	0	0	0	0	6	0	1	0	0	0	0	0	10
摂食障害・睡眠障害等	20	17	0	0	1	0	0	0	0	10	0	0	1	2	3	0	0	17
他の精神障害	38	36	0	3	1	1	0	0	0	23	1	0	0	2	3	2	0	36
その他の障害	489	439	0	26	9	7	0	0	0	287	5	8	9	19	54	15	0	439
計	(448)	(398)	(0)	(24)	(9)	(9)	(0)	(0)	(0)	(260)	(0)	(6)	(2)	(35)	(45)	(8)	(0)	(398)

表67 進路状況 [学校種別・障害種別] (高等専門学校)

区分	2028年 最高年次 障害学生数 (平成 29年5月1日 現在)	平成28年度 卒業の障害学生数 (平成 29年3月31日 まで)	平成28年度に卒業した障害学生の進路状況 (平成29年5月1日まで)													計 (人)			
			進学						就職者 (左記を除く)	臨床研修医 (予定者を含む)	専修学校・外国 の学校・ 教育訓練機 関等	社会福祉施設・ 医療機関 入所者	一時的な職に 就いた者	左記以外の者	死亡・不詳 の者				
			大学院研究科	大学学部	短期大学 本科	専攻科	別科	うち就職 している者											
高等専門学校	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
視覚障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	6	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	
聴覚・言語障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
難聴	5	5	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肢体不自由	2	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
上肢機能障害	5	5	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	5	
上下肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他の機能障害	3	3	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
病弱・虚弱	19	19	0	4	0	4	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	19	
内部障害等	30	30	0	5	0	9	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	30	
他の慢性疾患	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
重複	2	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
発達障害(診断書有)	15	12	0	1	0	1	1	0	0	7	0	1	0	0	1	0	0	12	
ADHD	33	31	0	6	0	6	0	0	0	18	0	0	0	0	1	0	0	31	
ASD	3	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	
発達障害の重複	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
統合失調症等	7	5	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	5	
気分障害	5	4	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	
神経症性障害等	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
摂食障害・睡眠障害等	4	3	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
他の精神障害	9	9	0	1	0	3	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	9	
その他の障害	152	142	2	22	0	29	1	0	0	83	0	1	0	1	3	0	0	142	
計	(93)	(84)	(0)	(15)	(0)	(17)	(1)	(1)	(0)	(38)	(0)	(2)	(0)	(1)	(10)	(0)	(0)	(84)	

表68 障害学生の卒業率と就職率 [障害種別]

区分		最高年次 学生数 (人)	卒業学生 数		就職 希望者数		就職者数	
			(人)	(人)	卒業率 (%)	(人)	就職希望率 (%)	(人)
視覚障害	盲	20	15	75.0	7	46.7	4	57.1
	弱視	112	96	85.7	65	67.7	58	89.2
聴覚・ 言語障害	聾	135	116	85.9	91	78.4	81	89.0
	難聴	232	205	88.4	146	71.2	123	84.2
	言語障害のみ	12	12	100.0	9	75.0	6	66.7
肢体 不自由	上肢機能障害	95	88	92.6	68	77.3	58	85.3
	下肢機能障害	196	176	89.8	140	79.5	117	83.6
	上下肢機能障害	157	134	85.4	97	72.4	74	76.3
	他の機能障害	99	78	78.8	54	69.2	39	72.2
病弱・虚弱	内部障害等	587	520	88.6	366	70.4	342	93.4
	他の慢性疾患	805	712	88.4	545	76.5	503	92.3
重複		80	65	81.3	37	56.9	24	64.9
発達障害 (診断書有)	S L D	37	31	83.8	23	74.2	12	52.2
	A D H D	200	116	58.0	81	69.8	53	65.4
	A S D	603	422	70.0	281	66.6	161	57.3
	発達障害の重複	123	79	64.2	52	65.8	32	61.5
精神障害	統合失調症等	174	104	59.8	64	61.5	38	59.4
	気分障害	513	293	57.1	182	62.1	129	70.9
	神経症性障害等	480	306	63.8	189	61.8	143	75.7
	摂食障害・睡眠障害等	99	66	66.7	37	56.1	28	75.7
	他の精神障害	281	184	65.5	112	60.9	90	80.4
その他の障害		248	203	81.9	138	68.0	125	90.6
計		5,288	4,021	76.0	2,784	69.2	2,240	80.5

※ 卒業率: 卒業学生数 ÷ 最高年次学生数 × 100 (%)

※ 就職希望率: 就職希望者数 ÷ 卒業学生数 × 100 (%)

※ 就職率: 就職者数 ÷ 就職希望者数 × 100 (%)

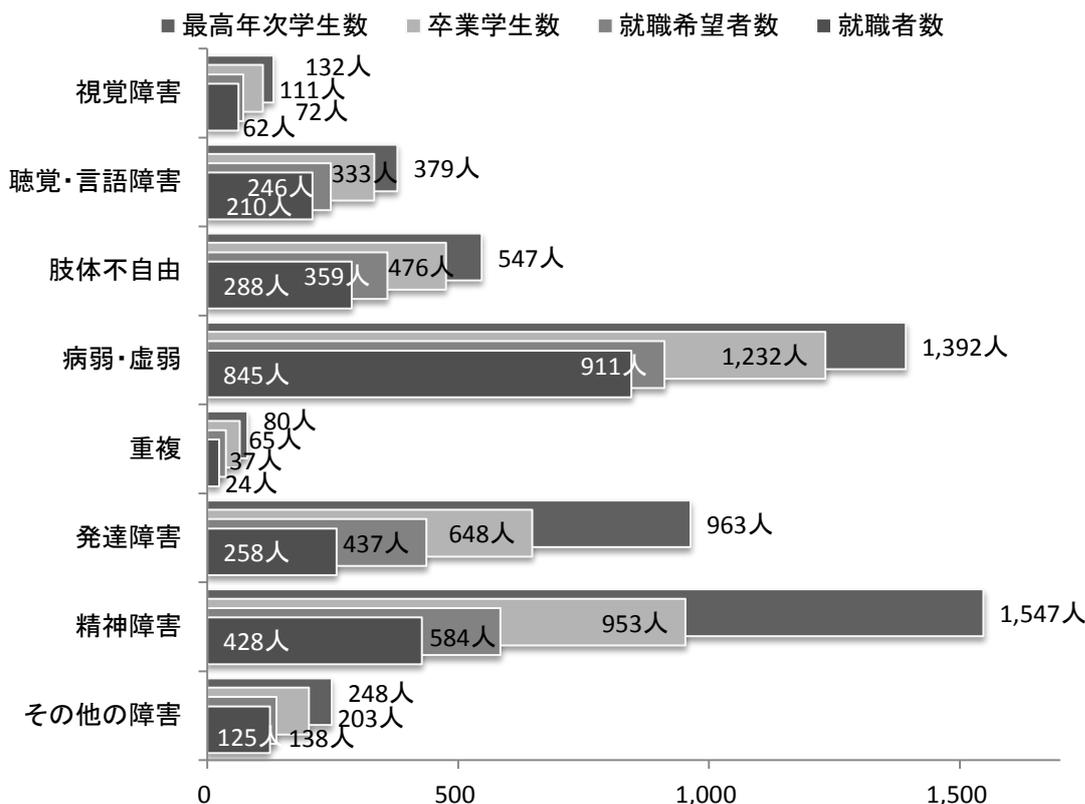


図20 障害学生の卒業及び就職の状況

11. 発達障害学生支援状況（一部再掲）

発達障害学生の支援状況に関しては、診断書のある発達障害学生に加え、診断書はないものの発達障害があることが推察され教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行なっていない者は除く）についても調査した。

(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学校種別）

< 概要 >

○発達障害（診断書有）学生は5,174人（前年度4,148人）と前年度より1,026人の増。このうち支援障害学生は3,698人（同3,021人）と前年度より677人の増。

○発達障害（診断書無・配慮有）の支援障害学生は3,191人（同3,046人）と前年度より145人の増。発達障害（診断書有）の支援障害学生と合わせると6,889人（同6,067人）と前年度より822人の増。

表69 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学校種別]

区 分		大学		短期大学		高等専門学校		計			
		障害学生	支援障害学生	障害学生	支援障害学生	障害学生	支援障害学生	障害学生	構成比	支援障害学生	構成比
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)
発達障害 (診断書有) 再掲	S L D	153 (133)	114 (87)	14 (18)	13 (12)	24 (19)	13 (7)	191 (170)	3.7 (4.1)	140 (106)	3.8 (3.5)
	A D H D	997 (667)	707 (477)	34 (23)	16 (15)	156 (116)	74 (42)	1,187 (806)	22.9 (19.4)	797 (534)	21.6 (17.7)
	A S D	2,746 (2,285)	2,041 (1,794)	72 (82)	50 (63)	300 (267)	149 (112)	3,118 (2,634)	60.3 (63.5)	2,240 (1,969)	60.6 (65.2)
	重複	562 (434)	456 (344)	14 (14)	10 (9)	102 (90)	55 (59)	678 (538)	13.1 (13.0)	521 (412)	14.1 (13.6)
	小計	4,458 (3,519)	3,318 (2,702)	134 (137)	89 (99)	582 (492)	291 (220)	5,174 (4,148)	100.0 (100.0)	3,698 (3,021)	100.0 (100.0)
発達障害 (診断書無 ・配慮有)	S L D	—	73 (76)	—	28 (24)	—	12 (11)	—	—	113 (111)	3.5 (3.6)
	A D H D	—	491 (397)	—	18 (18)	—	60 (38)	—	—	569 (453)	17.8 (14.9)
	A S D	—	1,557 (1,570)	—	41 (52)	—	85 (74)	—	—	1,683 (1696)	52.7 (55.7)
	区分不明	—	727 (683)	—	60 (66)	—	39 (37)	—	—	826 (786)	25.9 (25.8)
	小計	—	2,848 (2,726)	—	147 (160)	—	196 (160)	—	—	3,191 (3,046)	100.0 (100.0)
計	4,458 (3,519)	6,166 (5,428)	134 (137)	236 (259)	582 (492)	487 (380)	5,174 (4,148)	100.0 (100.0)	6,889 (6,067)	100.0 (100.0)	

(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学科（専攻）別）

< 概要 >

○支援発達障害学生数（診断書有＋診断書無・配慮有）を学科（専攻）別に見ると、構成比が15%を超えているのは次のとおり。

- ・大学では、多い順に、「工学」1,373人（構成比22.3%）、「社会科学」1,370人（同22.2%）、「人文科学」1,358人（同22.0%）。
- ・短期大学では、多い順に、「家政」56人（同23.7%）、「教育」39人（同16.5%）。
- ・高等専門学校では、構成比99.2%を占めているのが「工業」483人。

表70 発達障害学生数及び支援発達障害学生数〔学科（専攻）別〕

区 分	発達障害（診断書有）再掲										発達障害（診断書無・配慮有）学生数					計 (②+③) (人)	構成比 (%)	
	障害学生数					支援障害学生数					S L D	A D H D	A S D	区 分 不 明	小計 ③ (人)			
	S L D	A D H D	A S D	発 達 障 害 の 重 複	小計 ① (人)	S L D	A D H D	A S D	発 達 障 害 の 重 複	小計 ② (人)								
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
大学	人文科学	32	228	610	110	980	30	171	491	90	782	12	103	282	179	576	1,358	22.0
	社会科学	49	216	607	134	1,006	38	155	445	115	753	14	122	330	151	617	1,370	22.2
	理学	3	48	188	45	284	2	32	142	37	213	3	35	114	27	179	392	6.4
	工学	26	174	603	133	936	14	113	461	109	697	11	89	454	122	676	1,373	22.3
	農学	7	45	138	17	207	5	30	105	14	154	2	13	64	27	106	260	4.2
	保健 (医・歯学)	1	11	26	6	44	0	7	20	4	31	0	11	38	26	75	106	1.7
	保健(医・ 歯学を除く)	4	41	151	28	224	4	24	54	14	96	3	32	74	75	184	280	4.5
	商船	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2	0	1	0	0	1	3	0.0
	家政	0	23	29	7	59	0	16	24	7	47	1	9	14	16	40	87	1.4
	教育	6	49	65	20	140	5	35	54	15	109	7	35	43	24	109	218	3.5
	芸術	15	94	149	30	288	11	66	96	23	196	19	25	79	55	178	374	6.1
	その他	10	68	178	32	288	5	58	147	28	238	1	16	65	25	107	345	5.6
小計	153	997	2,746	562	4,458	114	707	2,041	456	3,318	73	491	1,557	727	2,848	6,166	100.0	
短期大学	人文	1	4	8	3	16	0	0	6	1	7	3	4	5	12	24	31	13.1
	社会	0	1	8	0	9	0	1	8	0	9	3	0	0	12	15	24	10.2
	教養	0	0	2	2	4	0	0	1	2	3	1	2	2	0	5	8	3.4
	工業	4	5	12	0	21	4	4	8	0	16	2	0	3	2	7	23	9.7
	農業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0.4
	保健	1	2	2	0	5	1	2	2	0	5	4	0	2	2	8	13	5.5
	家政	4	8	19	3	34	4	5	12	3	24	4	1	9	18	32	56	23.7
	教育	3	8	5	1	17	3	1	1	0	5	7	4	16	7	34	39	16.5
	芸術	0	3	8	3	14	0	1	4	2	7	0	2	2	1	5	12	5.1
	その他	1	3	7	2	13	1	2	7	2	12	4	5	2	6	17	29	12.3
	小計	14	34	72	14	134	13	16	50	10	89	28	18	41	60	147	236	100.0
高等専門学校	社会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	0.4
	工業	24	155	299	101	579	13	73	149	54	289	12	58	85	39	194	483	99.2
	商船	0	1	1	1	3	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0.4
	芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	24	156	300	102	582	13	74	149	55	291	12	60	85	39	196	487	100.0
計	191	1,187	3,118	678	5,174	140	797	2,240	521	3,698	113	569	1,683	826	3,191	6,889		

(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数（学校種別）

< 概要 >

- 「発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校」は703校（前年度666校）と前年度より37校の増。全学校（1,170校）の60.1%（同56.9%）と前年度より3.2ポイントの増。
- 「支援発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校」は639校（同601校）と前年度より38校の増。全学校（1,170校）の54.6%（同51.3%）と前年度より3.3ポイントの増。

表71 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 [学校種別]

区 分		大学 (校)	短期大学 (校)	高等専門学校 (校)	計 (校)	
発達障害（診断書有） 再掲	障害学生	SLD	100 (88)	11 (13)	12 (12)	123 (113)
		ADHD	320 (250)	24 (17)	45 (35)	389 (302)
		ASD	436 (392)	50 (41)	44 (42)	530 (475)
		発達障害の重複	223 (189)	13 (11)	30 (27)	266 (227)
		発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	502 (459)	78 (67)	52 (46)	632 (572)
	支援障害学生	SLD	77 (62)	10 (8)	7 (5)	94 (75)
		ADHD	250 (200)	12 (12)	36 (21)	298 (233)
		ASD	376 (337)	39 (31)	37 (34)	452 (402)
		発達障害の重複	194 (158)	9 (8)	20 (21)	223 (187)
		支援発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	438 (398)	60 (48)	48 (39)	546 (485)
(発達障害 診断書無・ 配慮有)	支援障害学生	SLD	47 (55)	16 (11)	4 (5)	67 (71)
		ADHD	165 (150)	12 (14)	11 (10)	188 (174)
		ASD	248 (235)	25 (29)	14 (13)	287 (277)
		区分不明	190 (177)	34 (40)	15 (10)	239 (227)
		発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	341 (326)	61 (69)	26 (18)	428 (413)
発達障害(診断書有)学生又は 発達障害(診断書無・配慮有)学生が 1人以上在籍する学校数		541 (508)	110 (111)	52 (47)	703 (666)	
全学校数に対する比率 (%)		69.2 (65.3)	33.2 (33.0)	91.2 (82.5)	60.1 (56.9)	
支援発達障害(診断書有)学生又は 発達障害(診断書無・配慮有)学生が 1人以上在籍する学校数		492 (467)	96 (94)	51 (40)	639 (601)	
全学校数に対する比率 (%)		62.9 (60.0)	29.0 (28.0)	89.5 (70.2)	54.6 (51.3)	
全学校数		782 (778)	331 (336)	57 (57)	1,170 (1,171)	

(4) 発達障害のある学生への支援（支援内容別）

< 概要 >

- 「支援発達障害（診断書有）学生又は発達障害（診断書無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校」639校で行なわれている支援内容は次のとおり。
 - ・授業支援では、最も多いのが「配慮依頼文書の配付」334校（実施率52.3%）。次いで「学習指導」240校（同37.6%）、「履修支援」239校（同37.4%）、「出席に関する配慮」196校（同30.7%）の順。
 - ・授業以外の支援では、最も多いのが「専門家によるカウンセリング」425校（同66.5%）。次いで「対人関係配慮」292校（同45.7%）、「自己管理指導」281校（同44.0%）、「居場所の確保」及び「就職支援情報の提供、支援機関の紹介」の223校（同34.9%）の順。

表72 支援発達障害学生支援内容〔授業支援及び授業以外の支援〕

区分	大学		短期大学		高等専門学校		実施校数 (校)	実 施 率 (※ %) (校中 の %)	
	実施校数 (校)	(※ %) 実施率	実施校数 (校)	(※ %) 実施率	実施校数 (校)	(※ %) 実施率			
授業支援	配慮依頼文書の配付	290	58.9	28	29.2	16	31.4	334	52.3
	学習指導	178	36.2	35	36.5	27	52.9	240	37.6
	履修支援	215	43.7	24	25.0	0	0.0	239	37.4
	出席に関する配慮	173	35.2	14	14.6	9	17.6	196	30.7
	授業内容の代替、提出期限延長等	154	31.3	16	16.7	9	17.6	179	28.0
	講義に関する配慮	151	30.7	12	12.5	5	9.8	168	26.3
	注意事項等文書伝達	131	26.6	13	13.5	12	23.5	156	24.4
	教室内座席配慮	123	25.0	14	14.6	13	25.5	150	23.5
	実技・実習配慮	114	23.2	22	22.9	8	15.7	144	22.5
	試験時間延長・別室受験	99	20.1	8	8.3	8	15.7	115	18.0
授業以外の支援	専門家によるカウンセリング	344	69.9	46	47.9	35	68.6	425	66.5
	対人関係配慮	234	47.6	34	35.4	24	47.1	292	45.7
	自己管理指導	227	46.1	31	32.3	23	45.1	281	44.0
	居場所の確保	172	35.0	30	31.3	21	41.2	223	34.9
	就職支援情報の提供、支援機関の紹介	184	37.4	27	28.1	12	23.5	223	34.9
	キャリア教育	162	32.9	24	25.0	12	23.5	198	31.0
	医療機関との連携	166	33.7	12	12.5	19	37.3	197	30.8
	就職先の開拓、就職活動支援	146	29.7	20	20.8	12	23.5	178	27.9
	障害学生向け求人情報の提供	123	25.0	14	14.6	7	13.7	144	22.5
	個別支援情報の収集	107	21.7	16	16.7	13	25.5	136	21.3

※ 実施率：各支援実施校数÷支援発達障害（診断有）学生又は発達障害（診断無・配慮有）学生が1人以上在籍する学校数（学校種別、前頁表71参照）×100（%）

(5) 発達障害を理由とする受験上の配慮（学校種別）

< 概要 >

○平成29年度入学者選抜において、発達障害を理由とする受験上の配慮については次のとおり。

- ・発達障害（診断書有）学生は370人で、「（AO入試、推薦入試、障害者特別入試の）特別入試」の受験者は51人、「特別入試以外の入試」の受験者は302人。
- ・発達障害（診断書無・配慮有）学生は34人で、「特別入試」の受験者は11人、「特別入試以外の入試」の受験者は18人。

表73 受験上の配慮を行なった受験者数 [学校種別]

区分	学部・学科（通学）						小計 (人)	学部・学科 (通信) (人)	大学院 (通学) (人)	大学院 (通信) (人)	専攻科 (人)	計 (人)	
	特別入試				以特別 の入試 (人)								
	AO 入試 (人)	推薦 入試 (人)	特別 障害 者 入試 (人)	小計 (人)									
発達障害（診断書有）再掲	大学	SLD	1 (2)	3 (2)	0 (0)	4 (4)	27 (17)	31 (21)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (21)
		ADHD	2 (2)	1 (5)	1 (0)	4 (7)	68 (29)	72 (36)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	73 (38)
		ASD	20 (8)	9 (18)	3 (0)	32 (26)	136 (109)	168 (135)	3 (0)	5 (1)	1 (0)	0 (0)	177 (136)
		発達障害の重複	1 (3)	7 (3)	1 (0)	9 (6)	64 (35)	73 (41)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	77 (41)
		小計	24 (15)	20 (28)	5 (0)	49 (43)	295 (190)	344 (233)	9 (1)	7 (2)	1 (0)	0 (0)	361 (236)
	短期大学	SLD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	1 (0)
		ADHD	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	1 (0)
		ASD	1 (2)	0 (1)	0 (0)	1 (3)	0 (2)	1 (5)	0 (0)	—	—	0 (0)	1 (5)
		発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	—	—	0 (0)	1 (1)
		小計	1 (2)	1 (1)	0 (0)	2 (3)	2 (3)	4 (6)	0 (0)	—	—	0 (0)	4 (6)
	高等専門学校	SLD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	3 (2)	—	—	—	0 (0)	3 (2)
		発達障害の重複	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	—	—	—	0 (0)	2 (2)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (4)	5 (4)	—	—	—	0 (0)	5 (4)
	計	25 (17)	21 (29)	5 (0)	51 (46)	302 (197)	353 (243)	9 (1)	7 (2)	1 (0)	0 (0)	370 (246)	
発達障害（診断書無・配慮有）	大学	SLD	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
		ADHD	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
		ASD	0 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	7 (0)	10 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (1)
		区分不明	3 (5)	3 (1)	0 (0)	6 (6)	8 (8)	14 (14)	3 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (14)
		小計	3 (6)	7 (1)	0 (0)	10 (7)	15 (8)	25 (15)	3 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	30 (17)
	短期大学	SLD	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (1)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (1)	0 (0)	—	—	0 (0)	3 (1)
		区分不明	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	1 (0)
		小計	1 (0)	0 (2)	0 (0)	1 (2)	3 (0)	4 (2)	0 (0)	—	—	0 (0)	4 (2)
	高等専門学校	SLD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ADHD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		ASD	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		区分不明	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
		小計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	0 (0)	0 (0)
	計	4 (6)	7 (3)	0 (0)	11 (9)	18 (8)	29 (17)	3 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	34 (19)	

(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況（学校種別）

< 概要 >

○発達障害（診断書有）学生は次のとおり。

- ・通学制の最高年次（※）に在籍していた発達障害（診断書有）学生は、（平成28年5月1日現在）963人（前年度802人）と前年度より161人の増。平成28年度卒業生は648人（同555人）と前年度より93人の増。
- ・卒業生の進路状況は、進学が82人（同75人）と前年度より7人の増。就職が258人（同199人）と前年度より59人の増。進学者のうち就職している者1人（同4人）を加えた全就職者数は259人（同203人）と前年度より56人の増。

○発達障害（診断書無・配慮有）学生は次のとおり。

- ・通学制の最高年次（※）に在籍していた発達障害（診断書無・配慮有）学生は、（平成28年5月1日現在）1,156人（同1,063人）と前年度より93人の増。平成28年度卒業生は844人（同737人）と前年度より107人の増。
- ・卒業生の進路状況は、進学が76人（同77人）と前年度より1人の減。就職が418人（同335人）と前年度より83人の増。進学者のうち就職している者1人（同2人）を加えた全就職者数は419人（同337人）と前年度より82人の増。

※ 最高年次とは「大学：4年次及び6年次、短期大学：2年次（3年制の場合は3年次）、高等専門学校：5年次」をいう。

表74 発達障害学生の卒業後の進路状況 [学校種別]

区分	（平成28年5月1日現在） 最高年次障害学生数 （人）	（平成28年3月31日まで） 平成28年度卒業の障害学生数 （人）	平成28年度卒業した障害学生の進路状況 （平成29年5月1日まで）														計 （人）	
			進学							就職者 （左記を除く） （人）	臨床研修医 （予定者を含む） （人）	専修学校・ 外国の学 校・教育訓 練機関等 （人）	医療福祉 施設入所 者・ （人）	社会的な 職に就いた 者 （人）	左記以外 の者 （人）	死亡・不 詳の者 （人）		
			大学院 研究科 （人）	大学 学部 （人）	短期 大学 本科 （人）	専攻 科 （人）	別 科 （人）	うち 就職 して いる 者 （人）										
発達障害（診断書有）再掲	SLD	27	21	1	2	0	0	0	0	0	7	0	1	0	2	4	4	21
	ADHD	171	93	6	2	0	0	0	1	39	0	4	1	7	24	10	93	
	ASD	544	366	32	8	0	0	0	0	131	3	15	11	16	122	28	366	
	発達障害の重複	112	69	6	0	0	1	0	0	28	2	4	2	4	18	4	69	
	小計	854 (705)	549 (466)	45 (45)	12 (9)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (3)	205 (162)	5 (0)	24 (35)	14 (22)	29 (24)	168 (129)	46 (40)	549 (466)	
	SLD	8	8	0	1	1	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0	8	
	ADHD	14	11	0	0	0	1	0	0	7	0	0	1	0	0	2	11	
	ASD	26	25	0	3	0	0	0	0	12	2	3	0	1	4	0	25	
	発達障害の重複	8	7	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	1	7	
	小計	56 (50)	51 (44)	0 (0)	5 (2)	1 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	26 (17)	2 (0)	3 (2)	1 (0)	1 (5)	8 (13)	3 (1)	51 (44)	
	SLD	2	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	ADHD	15	12	0	1	0	1	1	0	7	0	1	0	0	1	0	12	
	ASD	33	31	0	6	0	6	0	0	18	0	0	0	0	1	0	31	
	発達障害の重複	3	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	
	小計	53 (47)	48 (45)	1 (0)	8 (9)	0 (0)	7 (6)	1 (0)	0 (1)	27 (20)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (1)	3 (7)	0 (0)	48 (45)	
計	963 (802)	648 (555)	46 (45)	25 (20)	1 (3)	9 (7)	1 (0)	1 (4)	258 (199)	7 (0)	28 (39)	15 (22)	30 (30)	179 (149)	49 (41)	648 (555)		
発達障害（診断書無・配慮有）	SLD	28	22	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	1	5	2	22	
	ADHD	183	108	9	1	0	0	0	0	57	1	2	1	11	15	11	108	
	ASD	484	337	27	2	0	1	0	0	163	2	5	8	24	63	42	337	
	区分不明	284	222	11	3	1	0	0	1	106	4	6	2	16	49	24	222	
	小計	979 (923)	689 (617)	47 (44)	6 (4)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	340 (277)	7 (1)	13 (21)	11 (11)	52 (44)	132 (122)	79 (92)	689 (617)	
	SLD	24	23	0	0	0	0	0	0	20	0	1	0	0	2	0	23	
	ADHD	21	17	0	0	0	0	0	0	11	0	1	1	2	2	0	17	
	ASD	25	22	0	2	1	3	0	0	5	0	0	1	4	6	0	22	
	区分不明	62	53	0	4	0	0	0	0	18	0	0	2	6	17	6	53	
	小計	132 (114)	115 (97)	0 (0)	6 (7)	1 (7)	3 (1)	0 (0)	0 (1)	54 (50)	0 (0)	2 (2)	4 (3)	12 (8)	27 (18)	6 (1)	115 (97)	
	SLD	3	3	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	
	ADHD	7	6	0	1	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	6	
	ASD	18	16	0	2	0	1	0	0	13	0	0	0	0	0	0	16	
	区分不明	17	15	0	1	0	3	0	0	6	0	0	0	2	0	3	15	
	小計	45 (26)	40 (23)	0 (0)	4 (10)	0 (0)	7 (3)	0 (0)	0 (0)	24 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (2)	3 (0)	40 (23)	
計	1,156 (1,063)	844 (737)	47 (44)	16 (21)	2 (7)	11 (5)	0 (0)	1 (2)	418 (335)	7 (1)	15 (23)	15 (14)	66 (52)	159 (142)	88 (93)	844 (737)		

< **IV. 参考資料** >
(調査の手引)

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。
https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/2017.html

平成 29 年度 (2017 年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

調査の手引

I 調査の概要

本調査は、全国すべての大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、障害のある学生の状況および修学支援に関する基本的事項を明らかにし、修学支援のより一層の充実を図ることを目的とした悉皆統計調査であり、独立行政法人日本学生支援機構 (以下 JASSO) が毎年実施しています。

調査は、統計的に処理を行ない、個々の学校の状況は公表しません。

学校単位の個別情報や個人情報保護・管理については十分な配慮を行ないます。収集した情報は、研究及び政策立案のために使用しますが、学校及び個人が特定できる分析は行ないません。

〔1〕 調査の期日 平成 29 年 5 月 1 日現在

〔2〕 調査の内容

1. 学校基本情報 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 学校名と主となる所在地
 - (2) 学校全体の学生数
 - (3) 本調査の担当部署 (者)
 - (4) 障害学生支援の主たる担当部署 (者)
2. 支援体制 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
 - (2) 障害学生支援に関する委員会等
 - (3) 紛争解決のための第三者組織
 - (4) 障害学生支援担当部署 (者)
 - (5) 障害学生の相談受付窓口
 - (6) 支援の申し出等に関する対応手順
 - (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
 - (8) 支援学生 (ノートテイカー等)
3. 活動や取組 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
4. 受入に関する配慮 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
 - (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
 - (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
5. 入学者数等 (障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 障害のある入学者数等
 - (2) 受験上の配慮の内容
6. 平成 28 年度卒業生 (平成 28 年度の学部 (通学課程) 最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)

なお、この「調査の手引」(PDF)はウェブサイトに掲載しています。

7. 障害学生数(平成29年度に障害のある学生が在籍する課程)にご回答ください
学校種別に以下の課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

■大学・大学院(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)大学院(通学課程)、(4)大学院(通信教育課程)、(5)専攻科

■短期大学(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)専攻科

■高等専門学校(1)学部(通学課程)、(2)専攻科

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳(「7. 障害学生数」の障害種別「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に学生数を計上した場合にご回答ください)

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳(「7. 障害学生数」の障害種別「精神障害」の「他の精神障害」に学生数を計上した場合にご回答ください)

10. その他の障害の内訳(「7. 障害学生数」の障害種別「その他の障害」に学生数を計上した場合にご回答ください)

11. 授業支援と授業以外の支援(平成29年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)
学校種別に全課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援(診断書はないが発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください)

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数

支援している学生数、実施している支援内容(授業支援及び授業以外の支援を記入してください)。

13. 意見・要望(障害学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

〔3〕提出の期限 平成29年10月31日(火)

〔4〕調査結果の公表

報告書:平成30年3月(予定)

調査結果はJASSOウェブサイト障害学生支援

(http://www.jasso.go.jp/gakusei/fokubetsu_shien/index.html)で閲覧できます。

〔5〕調査票の配付

調査票は、「大学・大学院用」「短期大学用」「高等専門学校用」の3種類を用意しています。JASSOウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

JASSOウェブサイト 障害のある学生の修学支援に関する実態調査
http://www.jasso.go.jp/gakusei/fokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/index.html

○キャンパスが複数ある場合も1校1回答にまとめてください。

○大学内に短期学部を有している場合は、大学(大学院を含む)と短期大学の各1回答をお願いします。

○統合された学校で、旧校名での在籍学生がいる場合は、統合先の学校と合算せず、旧校名での回答をお願いします。

〔6〕回答の提出

回答を記入した調査票データファイル(Excel)をメールに添付し、JASSOまで送信してください。

【回答のファイル名】

機関コード(6桁の半角数字)_ (アンダーバー) 学校名_ (アンダーバー) 実態調査

(例:100999_JASSO大学_実態調査)

※機関コードとは、JASSO学生生活部障害学生支援課が各学校の識別用に割り当てている番号で、奨学金の「学校番号」とは違います。調査票の「1. 学校基本情報」シートの(1)に学校名を記入すると、上の黒帯の右端に白い文字で6桁の数字が表示されますのでご確認ください。

【メールのタイトル】学校名

【メールの送信先】 kaitou@jasso.go.jp

事情によりメールでデータファイルを送ることができない場合は、JASSO学生生活部障害学生支援課までご相談ください。

〔7〕調査に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課障害学生調査・分析係

電話:03-5520-6176 E-Mail: tokubetsushien@jasso.go.jp

Ⅱ 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点

〔1〕 調査票（回答）の取扱上の注意

情報保護のため、メールに添付する調査票（回答）ファイルには、読み取りパスワードを設定してください。パスワードは、JASSOよりお送りした調査依頼文書（平成29年9月1日付）に記載してあります。パスワードを設定したファイルは、再度開いて、パスワードでロックを解除できることを確認の上、メールに添付して送信してください。

読み取りパスワードの設定方法については、12ページをご参照ください。

〔2〕 調査票（回答）の作成上の留意点

①セル、シート、ブックの編集はできません。

本調査票では、記入欄以外のところには記入できないようになっております。また、シートやセル、行、列の移動、削除、挿入等の編集もできません。ただし、自由記述欄の結合してあるセルを分割する等、一部編集できてしまう箇所もありますので、ご記入の際にはご注意ください。

また、セル内容をコピーして他のセルに貼り付けける場合には、必ず貼り付けオプションの「値の貼り付け」を選択してください。セル内容の全てをコピーしてしまうと、エラーチェック機能が誤動作が発生することがあります。

記入欄が足りない場合は、回答を添付するメール本文に記載するか、別表を作成して調査票（回答）とともにメールに添付してください。

②赤色や黄色のセル

本調査票には、記入すると赤色や黄色になるセルがあります。

<赤色のセル>記入した数や内容について、詳細や関連事項を記入する別表があるセルです。詳細や関連事項等の必要箇所を記入すると、白地に戻ります。

<黄色のセル>同じ表の中で不整合が起きていると、セルが黄色に表示されます。

（例：全学生数より入学者数の方が多い）不整合を修正すると、白地に戻ります。回答後のご確認の際に、各設問にある【記入上の注意】を参考に、赤や黄色のセルが残っていないかご確認ください。

③記入内容の反映

各表の計の欄や、赤色、黄色のセル表示が再記入内容をすぐに反映しない場合があります。その場合は、ファイルのオプションにある「計算方法」が「手動」になっていきますので、「自動」に変更してください。

④学校名の記入

「学校名」には法人名は不要です。法人名を加えて記入（例：国立大学法人〇〇大学）すると「機関コード」にエラー表示が出ます。大学名のみを、略さず「〇〇大学」と記入してください。「学校名」を記入すると、その右上の黒帯の欄に「機関コード」が表示されます。この「機関コード」は回答ファイルのファイル名に

使用します。

⑤「記入上の注意」

調査票各シートの記入欄の右側には、本手引の内容を含む、より具体的な「記入上の注意」を掲載しています。回答を記入する際の参考にしてください。なお、調査票を印刷する際には、この「記入上の注意」は印刷されない設定となっております。

〔3〕 昨年度調査との主な相違点

1. 「3. 活動や取組」に新規の設問を設置し、以下のように整理しなおしました。

① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組

② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組

③ 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）

④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

⑤ 他大学等との連携

⑥ 学外機関との連携

⑦ 相談対応・懇談会等（障害学生・支援スタッフ向け）

⑧ 障害学生支援に関する（学内）教員研修（FD等）

⑨ 障害学生支援に関する（学内）職員研修（SD等）

⑩ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣

⑪ 障害学生支援に関する学生向け研修（ノートテイカー養成等）

⑫ 支援コミュニティ、バンフレット等の配布

⑬ 学内イベント（オープンキャンパス・入学式等）での支援についての情報提供

⑭ 障害学生支援に関する講座・講演等イベント

⑮ 障害学生支援または障害者支援に関する講義（ポランティア論等）

2. 「6. 平成28年度卒業生」に就職希望者数の設問を追加しました。
卒業生学生数（平成29年3月31日現在）のうち、就職希望者数についてご回答ください。

1. 学校基本情報
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 学校名と主となる所在地
 学校名の欄に学校の名称を記入してください。法人名は不要です。学校名にアルファベットを含む場合は全角で入力してください。
 主となる所在地の欄に都道府県名を記入してください。なお、記入の際は末尾に「都」「道」「府」「県」を付けてください。(例：京都市、青森県)
- (2) 学校全体の学生数
 平成29年5月1日現在の在籍学生数、入学者数及び平成28年度卒業生数を回答してください。対象となる学生の定義については、13ページをご参照ください。
 - ・全学生数
 - 学部……通学課程、通信教育課程 大学院…通学課程、通信教育課程 専攻科
 - ・全入学者数(1年次のみ)
 - 学部……通学課程、通信教育課程 大学院…通学課程、通信教育課程 専攻科
 - ・平成28年度全卒業者数
 - 学部……通学課程
- (3) 本調査の担当部署(者)
 本調査の担当部署名、担当者(記入者)の役職・氏名(フリガナ)・連絡先(郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-Mailアドレス)を記入してください。
 ※回答内容に関する確認等で、連絡させていただく場合があります。
- (4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)
 障害学生支援の担当部署と担当者について記入してください。担当部署が複数存在する場合には、いずれか1部署を代表で記入してください。
 ※本機構の障害学生支援事業に関するご案内等をさせていただく場合があります。

2. 支援体制
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
 障害者差別解消法の施行に伴い、これに適切に対応するための対応要領の策定は大学等においても国公立は義務となり、私立においては文部科学省の定める対応指針に準じた対応を行なうこととされました。対応要領またはこれに準じる規程等があるかどうかについて回答してください。
- (2) 障害学生支援に関する専門委員会等
 障害学生支援について協議・検討する委員会等の有無について回答してください。
 委員会の名称及び代表者の役職等(副学長、学部長等)についても記入してください。

- (3) 紛争解決のための第三者組織
 障害を理由とする差別及び合理的配慮の不提供に関する紛争の防止、解決等に関する調整機関の有無について回答してください。
- (4) 障害学生支援担当部署(者)
 - 1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関の有無、名称について回答してください。
 - 2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数について回答してください。兼任スタッフについては、障害学生支援に関する決まった担当者がなく関連部署・機関の全員が対応している場合は、人数は記入不要です。

- (5) 障害学生の相談受付窓口
 支援の申し出等、障害のある学生からの相談に対応する窓口の有無及びその周知について回答してください。
- (6) 支援の申し出等に関する対応手順
 支援の申し出等に関する対応手順を定めた文書について回答してください。対応手順とは、障害学生から支援の申し出を受けた際に、どのような手順で対応するかの業務の流れを指します。
 対応手順の例：手順1. 関係部署・機関が対応を協議 手順2. 障害学生との面談実施 手順3. 障害学生とともに使用する施設・設備を視察……等
- (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
 障害のある学生が学生生活を送る上で必要となる施設・設備(屋外・屋内・支援機器)について、その整備状況を記入してください。キャンパスごとに整備状況が異なる場合も学校全体の状況にまとめて回答してください。
- (8) 支援学生(ノートテイカー等)
 障害のある学生を支援する学生(支援学生)について、支援学生組織の有無、支援を実施した場合の待遇(有償、無償等)、組織に所属する学生数等を回答してください。

3. 活動や取組
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- 平成29年度に実施する(予定含む)障害学生支援に関する活動や取組について回答してください。各項目の定義については、16ページをご参照ください。
- ① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組
 - ② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組
 - ③ 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)
 - ④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援
 - ⑤ 他大学等との連携
 - ⑥ 学外機関との連携
 - ⑦ 相談対応・懇談会等(障害学生・支援スタッフ向け)

- ⑧障害学生支援に関する（学内）教員研修（F等）
- ⑨障害学生支援に関する（学内）職員研修（SD等）
- ⑩障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣
- ⑪障害学生支援に関する学生向け研修（ノートテイカー養成等）
- ⑫支援マニュアル、パンフレット等の配布
- ⑬学内イベント（オープンキャンパス・入学式等）での支援についての情報提供
- ⑭障害学生支援に関する講座・講演等イベント
- ⑮障害学生支援または障害者支援に関する講義（ポランティア論等）

4. 受入に関する配慮
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
入学者選抜における受験上の配慮を周知している方法とその内容について回答してください。
- (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
平成29年度入学者選抜において、実際に事前相談があったかどうかに関わらず、どのような受付方法をとっていたかを回答してください。
- (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
平成29年度入学者選抜において準備していた、または受験者から申請があった場合に対応が可能であった配慮について回答してください(申請の有無は問わない)。

5. 入学者数等
(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害のある入学者数等
平成29年度入学者選抜における、障害のある相談者数、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数について回答してください。相談者数、志願者数、受験者数、合格者数は延べ数を、入学者数は実数を記入してください。入学後に障害のあることがわかった学生は含みません。
また、障害のある入学希望者のうち、受験者数、合格者数、入学者数について、受験上の配慮を行なった数を、課程ごと(学部(通学課程)は入試方式ごと)に回答してください。入試形態の定義については、16ページをご参照ください。
- (2) 受験上の配慮の内容
(1)で計上した受験上の配慮の内容について回答してください。配慮の内容で「Wその他」を選択した場合は、下にある表に、障害種別に具体的な内容を記入してください。

6. 平成28年度卒業生
(平成28年度学部(通学課程)最髙年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)

大学は学部(通学課程)、短期大学は学科(通学制)、高等専門学校は本科の平成28年度最髙年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください。最髙年次及び進路の定義については、16ページをご参照ください。

- (1) 学部(通学課程)最髙年次及び卒業障害学生数
 - ①昨年度調査時(平成28年5月1日現在)に最髙年次に在籍していた障害学生数を記入してください。
 - ②平成28年5月2日から平成29年3月31日までに卒業した障害学生数を記入してください。
 - ③上記②のうち就職希望者数を記入してください。
- (2) 状況別卒業障害学生数(平成29年5月1日現在)
 - (1)の②で回答した卒業生の、平成29年5月1日現在の状況を記入してください。
※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行なっていた卒業生の進路についても、別表で回答してください。

7. 障害学生数
(平成29年度に障害のある学生が在籍している場合にご回答ください)

学校種別に、それぞれ次のように表が分かれていています。障害のある学生が在籍するすべての課程の表に記入してください。

- 大学・大学院(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)大学院(通学課程)、(4)大学院(通信教育課程)、(5)専攻科
- 短期大学(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)専攻科
- 高等専門学校(1)学部(通学課程)、(2)専攻科

○障害学生数について

A～Lの学科(専攻)別の該当する障害種の欄に、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。障害学生、支援障害学生及び各障害種の定義については、13ページをご参照ください。

※学科(専攻)の分類は学校ごとに違います。詳しくは文部科学省「学校基本調査」付属資料の「学科系統分類表」をご確認ください。

記入した学生数の障害種別の合計は、表の最上段の「全体の障害学生数」及び「支援障害学生数」の欄に反映されます。

平成29年度障害のある入学者数、休学者数(平成29年5月1日現在)、最低在学年限超過数についても回答してください。
身体障害と発達障害、精神障害が重複している場合は、身体障害の該当欄に数を記入し、最下段にある「発達障害との重複」「精神障害との重複」の該当欄にも記入してください。

発達障害と精神障害が重複している場合は、学校で把握している主たる障害の欄に学生数を記入し、副となる障害については、「発達障害との重複」または「精神障害との重複」の該当欄に記入してください。いずれが主たる障害かが明らかでない場合も「発達障害」にも「精神障害」にも記入せず、「その他の障害」に計上してください。

8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳
 （「7. 障害学生数」で「病弱・虚弱 他の慢性疾患」に計上した場合にご回答ください）

課程別に表が分かれています。「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

9. 精神障害（他の精神障害）の内訳
 （「7. 障害学生数」で「精神障害 他の精神障害」に計上した場合にご回答ください）

課程別に表が分かれています。「精神障害」の「他の精神障害」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

10. その他の障害の内訳
 （「7. 障害学生数」で「その他の障害」に計上した場合にご回答ください）

課程別に表が分かれています。「その他の障害」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

11. 授業支援と授業以外の支援
 （「7. 障害学生数」で支援障害学生数を計上した場合にご回答ください。）

課程別に授業支援の表と授業以外の支援の表があります。「7. 障害学生数」に計上した支援障害学生への支援について、該当する支援内容を回答してください。

障害種別に、実施している支援の欄に「1」を記入してください。発達障害については、診断書のある学生に対する支援について回答してください。診断書のない学生への支援については「12. 発達障害が疑われる学生への支援」に回答欄があります。

実施している支援が各項目に当てはまらない場合には、「その他の授業支援」または「その他の授業以外の支援」に「1」を記入し、下にある表に障害種と具体的な内容を記入してください。支援内容の定義については、17ページをご参照ください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援
 （発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください）

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

発達障害のある学生への支援について、課題と感じていることがあれば該当欄に「1」を記入してください。

(2) 発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生数

課程ごとに、学生数と授業支援の表、授業以外の支援の表があります。なお、ページの都合上、学科（専攻）別の「人文科学」～「保健（医・歯学）」までと、「保健（医・歯学を除く）」～「その他」までの表に分かれています。

発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生の数を記入してください。「発達障害（診断書無・配慮有）」の定義については、15ページをご参照ください。

平成29年度入学者数、休学者数（平成29年5月1日現在）、最低在学年限超過数についても記入してください。

なお、このシートで計上した学生数は、「7. 障害学生数」の障害学生数、支援障害学生数には含まれません。

○支援内容

実施している支援内容について、該当する区分の欄に「1」を記入してください。「その他の授業支援」「その他の授業以外の支援」を選択した場合は、学科（専攻）、障害種別（下位区分）、具体的な内容を下にある別表に記入してください。支援内容の定義については、17ページをご参照ください。

13. 意見・要望
 （障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）

- (1) 障害学生支援の課題について
- (2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等の課題について
- (3) JASSOの障害学生支援の取組について

Ⅲ本調査における用語の定義

対象となる学生について

- 【学生数】 研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含みません。
- 【入学者数】 1年次の入学者の数（2年次以上の編入者は含みません）。
- 【障害学生】 「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生（重複する場合は実数）
- ※平成29年5月1日現在、在籍していた全ての障害学生（障害があることについて）の申請が平成29年5月2日以降の場合を含む）を計上してください。
- ※各障害種の定義（13～15ページ）もご参照ください。
- 【支援障害学生】 学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている障害学生（今年度中の支援予定を含む）
- 支援については、17ページの各支援内容の定義をご参照ください。
- 【最低在学年超過数】 各課程の最低在学年（4年制ならば4年、6年制ならば6年）を超えて在学している障害学生数（休学者数は含みません）

障害について

- 【視覚障害】
- 盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度
- 弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要なる程度（視野障害や、明るいところまがまぶしく感じる羞明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む）
- ※色覚異常、片目の失明については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨（色覚異常、片目の失明）を記入する。
- 【聴覚・言語障害】
- 聾……両耳の聴力損失60デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能、又は著しく困難な程度
- 難聴……両耳の聴力損失60デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話し声を解することが可能な程度
- 言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂）

調査票記入後の確認事項

1. 全般的な確認事項
- (1) 学校名、機関コード、所在地の都道府県名とNo.は正しく表示されていますか。
- (2) 連絡先（電話・FAX番号）、担当部署名、担当者の役職・氏名（フリガナ）・E-Mailアドレスに誤りはありませんか。
- (3) 前年度調査でご回答いただいた内容と比較して、各項目の数値に著しい差はありませんか。
- (4) 記入漏れシートはありませんか。
2. 項目別の確認事項
- 各項目の記入欄に、赤色や黄色のセルは残っていませんか。セルが黄で表示される場合は、同じ表内の別の数値と不整合がないかご確認ください。セルが赤で表示される場合は、同じ数値の詳細、内容を記入している別表と不整合がないかご確認ください。

読み取りパスワードの設定について

- まず、回答を記入した調査票ファイルのコピーを作成し、ファイル名（3ページ〔6〕参照）をつけず、パスワードの設定方法は使用するMicrosoft Excelのバージョンによって異なります。
- Excel2007
- ①ファイルを開き、[Microsoft Office] ボタンをクリックし、[配布準備] の [ドキュメントの暗号化] を選択します。② [ドキュメントの暗号化] 画面でパスワードを設定してください。
- Excel2010
- ① [ファイル] タブをクリックします。②ファイルを開き、[Backstage] ビューで [情報] を選択し、[アクセス許可] で [ブックの保護] を選択します。③ [パスワードを使用して暗号化] を選択し、パスワードを設定してください。
- Excel2013
- 調査票ファイルのコピーを作成する過程で、パスワードを設定します。①[ファイル] タブをクリックしてバックステージを開きます。② [名前を付けて保存] を選択して、右下の [参照] ボタンをクリックします。③名前を付けて保存 ダイアログボックスの下のほうにある [ツール] → [全般オプション] を選択し、パスワードを設定してください。④ファイル名（3ページ〔6〕参照）をつけて、ファイルを保存してください。

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分（感情）障害等（ICD-10 F30-F39 に該当する疾患）
 神経症性障害等……不安障害、強迫性障害（強迫神経症）、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48 に該当する疾患）

摂食障害、睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10 F50-F59 に該当する疾患）

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。
 他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トレット症候群、性別違和（性同一性障害）、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。
 【発達障害（診断書無・配慮有）】発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行っている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

S L D ……限局性学習症/限局性学習障害（旧 L D：学習障害）
 A D H D ……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥/多動性障害）
 A S D ……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等；高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

※ICD は世界保健機関による疾病及び関連保健問題の国際統計分類で、国際的に広く用いられている統計分類基準です。平成 29 年 9 月 1 日時点での最新版が ICD-10 となります。

【肢体不自由】
 上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害
 下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害
 上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害
 他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者を指す。

内部障害等（※1）……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

※1：「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾患」に該当する者の他の慢性疾患（※2）……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者（てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、キシシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者はここに計上する）

※2：これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】以下の通り、障害が重複している者

○ 2 つの身体障害の重複
 視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○ 3 つ以上の身体障害の重複
 視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

【発達障害（診断書有）】発達障害に関する医師の診断書がある者
 S L D ……限局性学習症/限局性学習障害（旧 L D：学習障害）
 A D H D ……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥/多動性障害）
 A S D ……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等；高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者
 【精神障害】以下の疾患が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において下記の障害があることが明らかになった者

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（ICD-10 F20-F29 に該当する疾患）

活動や取組について

【障害学生支援に関する講義】カリキュラムに含まれる講義（資格取得等に要するものを除く）、単位付身の有無は問わない。

【障害学生支援に関する学生向け研修】支援方法、支援技術等の習得を目的として実施するもの。

【障害学生支援に関する講座・講演等イベント】支援についての意識啓発、情報提供等を目的として実施するもの。

入学者選抜及び受験上の配慮について

【受験上の配慮】入学者選抜において行なった、障害を理由とする合理的配慮（別室受験、時間延長等）

※急性性の疾病（インフルエンザ等）やけが（骨折、捻挫等）等、一過性のもの、その後に回復の見込みのある者に対して行なった配慮は含みません。

【特別入試】以下の3つに分類される入試方式

AO入試……学校独自の選抜基準（アドミSSION・ポリシー）による入試

推薦入試……出身学校長の推薦に基づき、公募制、指定校対象、付属高等学校対象等の推薦入試

障害者特別入試……障害者を対象とする一般入試とは異なる選抜方式による入試（入試形式がAO入試、推薦入試であった場合を含む）

【特別入試以外の入試】上記に当てはまらない入試 一般入試、社会人入試、海外からの帰国生徒を対象とする入試、外国人を対象とする入試等

卒業生及び卒業後の進路について

【最高年次】
大学……4年次または6年次（4年制、6年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）
短期大学……2年次または3年次（2年制、3年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

【就職希望者】平成29年3月31日現在卒業した障害学生のうち就職を希望していた者
【就職者】給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者 正社員または雇用期間が一年以上で、勤務形態が正社員に準ずるものであれば「イ．就職者」、

それ以外または雇用期間、勤務形態等が不明の場合は「カ．一時的な仕事に従事」に計上してください。自家・自営業に就いた者（継続的に本業として家業に従事する場合）も、「イ．就職者」の欄に計上してください。家事の手伝いに就いた者は「ア～カ以外」の欄に計上してください。夜間部の学生のうち在学中すでに職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「イ．就職者」の欄に計上してください。「ア．進学者」のうちで職に就いている者については、「イ．就職者」に含めず、「②就職教

の欄に計上してください。

【臨床研修医】医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づく臨床研修を受ける者 また5月1日現在、臨床研修医となることが予定される者も含まれます。

【専修学校、外国の学校、教育訓練機関等入学者】「ア．進学者」以外で、学校等に入学（在籍）している者 専修学校、各種学校、外国の学校、職業能力開発校等への入学者、研究生として入学した者等

【社会福祉施設、医療機関入所者】社会福祉施設に入所、又は医療機関に入院した者 社会福祉施設、医療機関に就職した者は「イ．就職者」に計上してください。

【一時的な仕事に従事】臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者 例えばアルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を計上してください。

【ア～カ以外】進学でも就職でもないことが明らかかな者 家事手伝いなどがここに含まれます。学校で具体的な状況を把握していない者であっても、進学でも就職でもないことが明らかかな者であれば計上してください。

【不詳・死亡の者】不詳は、各欄のいずれに該当するかを学校で把握していない者 死亡は、平成29年5月1日までに死亡した者

支援について

【点訳・墨訳】

点訳……教材、配布資料などを点字に訳すこと。

墨訳（すみやく）……試験の点字解答を出題者が採点する際等、点字を墨字、活字に訳すこと。

【教材のテキストデータ化】教材、配信資料等をテキストデータにすること。音声認識ソフトや点訳ソフトを利用するために行ないます。

【教材の拡大】教材、配信資料等を拡大読書器でモニターに拡大表示したり、大きな文字で印刷したりすること。

【ガイドヘルプ】移動の際に、歩行介助及び誘導を行なうこと。主として講義と講義の間の教室移動のサポートをいいます。

【リーディングサービス】教材や配布資料などを音声で読み上げる（文字を音声に訳すこと。主として、講義中に板書されたものをその場で口頭で伝える「代読」と、利用者と支援者が対面して資料等を読み上げる「対面朗読」があります。

- 【手話通訳（触手話を含む）】講義内容や周りの様子等を手話で伝えること。盲聾者のための触手話を含みます。
- 【ノートテイク】講義内容や周りの様子等を筆記し、文字で伝えること。
- 【パソコンテイク】講義内容や周りの様子等をパソコンに入力し、文字で伝えること。
- 【ビデオ教材字幕付け・文字起こし】教材等として使用される映像メディアの台詞やナレーションをテキスト化し、字幕として挿入する、または紙面に記すこと。
- 【チューター又はティーチング・アシスタントの活用】大学院の学生や担当教員等が学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演習等の補助や助言等を行なう学内制度を活用した支援のこと。
- 【試験時間延長・別室受験】定期試験の際に、通常の試験時間を延長したり他の学生とは別室で試験を実施すること。点字の読み取りや筆記、代筆等で通常に比べて時間を要する場合、他の学生と同室では支障がある場合等に実施します。
- 【解答方法配慮】障害の状況に応じて、試験時の解答方法を変更すること。
- 【パソコンの持込使用許可】受講に利用するため、パソコンの持ち込みを許可すること。
- 【注意事項等文書伝達】定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書にして配付あるいは板書すること。
- 【使用教室配慮】授業で使用する教室を、移動しやすい教室や修学に適した広さ・設備のある教室にすること。
- 【実技・実習配慮】いわゆる座学中心の講義以外の授業（体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等）において、障害の状況に応じて配慮すること。
- 【教室内座席配慮】教室内での座席を障害学生が受講しやすい位置に配慮すること。
- 【FM補聴器／マイク使用】講義者の声を、専用のマイクを通じて補聴器を装着した学生に伝える支援技術の活用。またはその器材の貸し出し等を行なうこと。
- 【専用机・イス・スペース確保】車いす用の机の配置やスペースの確保等、受講や学生生活で円滑にするために、障害の状況や特性に合わせた設備又はそれに関連する配慮を行なうこと。
- 【読み上げソフト・音声認識ソフト使用】電子データを音声に変換して読み上げたり、音声データを電子データに変換するソフトの活用。またはその貸し出し等を行なうこと。
- 【講義に関する配慮】講義内容の録音、板書の撮影等を許可すること。
- 【授業内容の代替、提出期限延長等】実技やリスニング等、障害学生にとって困難のある授業を別の内容に代替する、レポートや課題の提出期限を延長する等、評価方法を配慮すること。ただし評価基準はダブルスタンダードを設けず、障害のない学生との公平性を保つことが必要です。
- 【履修登録の補助や支援、優先的な履修登録等の配慮をすること。
- 【学外実習・フィールドワーク配慮】実習先での情報保障や移動支援、実習先機関との連携等を行なうこと。
- 【居場所の確保】学内で1人になれるスペースを確保したり、孤立しないための仲間作り支援を行なうこと。

- 【通学支援】スクーターバスの乗降や自動車通学の許可、専用駐車場の確保等を行なうこと。
- 【個別支援情報の収集】出身校や保護者と連携し、必要な支援や入学以前に受けていた支援に関する情報を収集すること。
- 【情報取得支援】学内行事の案内や休講情報等、学生生活に必要な情報を取得できるように支援すること。
- 【自己管理指導】スケジュール管理に関する指導や、自主学習への支援を行なうこと。
- 【対人関係支援】対人スキル指導や対人関係に関するトラブルへの対応を行なうこと。
- 【日常生活支援】食事、洗濯、清掃、入浴、睡眠等、日常生活に関する指導を行なうこと。
- 【専門家によるカウンセリング】臨床心理士等の専門家によるカウンセリング。
- 【医療機関との連携】主治医や障害に関する専門医療機関等と連携すること。
- 【医療機器、薬剤の保管等】透析用機器や人工呼吸器等の医療機器や、発作等の緊急用薬剤等を預かり、保管すること。
- 【休憩室・治療室の確保】休み時間、空き時間に利用できる休憩室や透析等の医療行為を行なうための部屋を確保すること。
- 【生活介助】体位変換、更衣、食事、トイレ等の介助を行なうこと。
- 【介助者の入構、入室許可】生活介助等を行なう介助者が学内や教室に入ることを許可すること。
- 【キャリア教育】学生が自身の障害についての理解を深め、必要な支援や職業適性を把握できるように指導すること。
- 【障害学生向け求人情報の提供】障害学生を対象とする求人情報を収集し、学生に提供すること。
- 【就職支援情報の提供、支援機関の紹介】障害学生を対象とする就職ガイダンスやセミナー、就職支援サイト、就職支援機関等に関する情報を提供し、紹介すること。
- 【インターンシップ先の開拓】受け入れ先となる企業等を開拓し、障害学生のインターンシップ体験を支援すること。
- 【就職先の開拓、就職活動支援】障害学生の適性に合う就職先の開拓や、就職活動におけるエントリートメントの作成や面接を指導すること。

F A Q よくある質問集

- Q 平成 29 年 5 月 1 日現在、学費未納の学生は、学生数に計上しますか。
- A 学校に籍のある学生はすべて計上してください。除籍処分となった学生は計上の対象となりません。

○ 全般的な質問

- Q 障害学生が在籍していませんが、回答しなければいけませんか。
- A 「1. 学校基本情報」「2. 支援体制」「3. 活動や取組」「4. 受入に関する配慮」「5. 入学者数等」「13. 意見・要望」シートにご回答ください。また、昨年度最髙年次に障害学生が在籍していた場合は「6. 平成 28 年度卒業生」シートに、診断書はないが発達障害が疑われる学生への支援を実施している場合は、「12. 発達障害が疑われる学生への支援」シートにもご回答ください。
- Q 今年度から新入生の募集を停止しています。回答する必要がありますか。
- A 学生が在籍している間は回答してください。まったく在籍学生がいなない場合はその旨ご連絡ください。
- Q キャンパスが分かれているので、キャンパスごとに回答してもいいですか。
- A お手数ですが 1 校 1 回答をお願いします。それぞれのキャンパスの情報を集約し、学校全体の回答としてまとめてください。
- Q 記入欄が足りません。行を追加してもいいですか。
- A 行や列、セルやシートの追加、削除等はできません。記入欄が足りない場合は、回答ファイルを送信する際にメール本文に内容を記載するか、追加分についての別表を作成してメールに添付してください。
- Q 5 月 1 日現在と、現時点では学生数が変わっていますが、どの時点の数値を記入したらいいですか。
- A 平成 29 年 5 月 1 日時点の数値を記入してください。
- Q 研修生は対象となりますか？
- A 研修生、研究生、科目等履修生、聴講生、別科生は調査対象外です。
- Q 2 年生から 3 年生に進級する時点で留年し、2 年生が 2 回目の学生がいます。この学生は「最低在学年限超過数」に計上しますか。
- A 最低在学年限は、4 年制であれば 4 年、6 年制であれば 6 年となります。問いの 2 年生は 3 年次以降の課程のある学生で、最低在学年限には達していないため、計上の対象とはなりません。

○ 調査票の取得と回答方法について

- Q 「調査票」「調査の手引」がダウンロードできません。どうしたらいいですか。
- A ご担当者のメールアドレス宛にファイルを送信しますので、日本学生支援機構障害学生支援課 (E-Mail : tokubetsushien@jasso.go.jp または電話 : 03-5520-6176) までご連絡ください。
- Q メールで回答を送りましたが、間違いないかどうかわかりません。
- A メール送信時に開封確認をつけてください。受信時に開封確認を返信します。
- Q 先に送った回答に誤りがありました。どうしたらいいですか。
- A 修正後、回答ファイル名の学校名の後に (再提出) と追記したファイルをメールに添付し、「学校名 (再提出)」というメールタイトルで再送付してください。
- Q 具体的な内容欄を記入したところ、欄の大きさに対して文字数が多すぎて全文が表示されません。どうしたらいいですか。
- A 本調査票は集計上の都合によりセルの大きさの変更はできません。該当セルを選択し、次に Excel の上部にある「fx」欄を選択してください。ここに全文が表示されることを確認し、そのままご送付ください。回答内容を印刷保存する場合等にご不便をおかけしますが、あらかじめご了承ください。
- 障害についての質問
- Q 学校では障害があることを把握していますが、本人の希望で障害者手帳を取得していない学生がいます。障害学生に計上しますか。
- A 実態調査では学校や個人を特定できるような結果は公表しません。学校として障害があることを把握している場合には、障害学生数に計上してください。
- Q 障害があるらしいが、手帳や診断書があるかどうかを把握していない学生がいます。学生に確認しなければいけませんか。
- A 本調査の回答のために学生に確認する必要はありません。「障害があるらしい」と推察されるが把握していない学生については障害学生数に計上しません。ただし推察される障害が発達障害で何らかの支援を行なっている場合は、この後の F A Q もご参照ください。

- 視覚障害の盲、弱視、聴覚障害の聾、難聴を区別して把握していません。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- 13 ページの各障害の定義を参考に、いずれかを判断して該当する欄に計上してください。
- 発達障害 (診断書有) で、SLD、ADHD、ASDの重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- 発達障害の中に重複の欄があります。この欄に記入してください。
- 発達障害らしい学生がいて、対応に気をつけています。この場合「12. 発達障害が疑われる学生への支援」の学生数に計上しますか。
- 「発達障害らしい」という推察が、複数の教職員によって共有されていて、組織的な配慮、対応が行なわれている場合は計上してください。ただし、教職員個人が「発達障害らしい」と思い、個人的に配慮している場合は含みません。
- 身体障害と発達障害の両方のある学生がいます。障害学生数は両方に計上しますか。
- 身体障害と発達障害の重複する学生については、「7. 障害学生数」の該当する身体障害の欄に計上し、同じ表の下端にある「発達障害との重複」の該当欄に計上してください。
- 最近、障害があることがわかった学生がいて、5月1日現在にはそのことを把握していませんが、この学生は障害学生数に含めますか？
- 5月2日以降に障害のあることを把握した学生が、5月1日現在に在籍していた場合には、障害学生数に含めてください。
- 活動や取組、支援について
- 障害学生支援に関する活動や取組において「演習」は⑩の「講義」、⑪の「研修」のどちらに当てはまりますか？
- カリキュラムに含まれている「演習」ならば⑩の「講義」、カリキュラム外で支援方法、支援技術等の習得を目的とする内容であれば⑪の「研修」、カリキュラム外で意識啓発、情報提供を目的とする内容であれば⑩の「講座・講演等イベント」となります。
- 学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- 学校が学生組織に依頼している等、学校が関与している場合には、支援障害学生に計上してください。学校が関与していない場合は、支援障害学生には該当しません。

- 一般学生が自主的に障害学生を支援しています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- 学校に申し出がなく、学校が支援していない場合は、支援障害学生には該当しません。
- 自主的に障害学生を支援している学生から、ノートテイクのための入室許可の申し出があり、許可しました。この場合は、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。また、支援している学生は支援学生に計上しますか。
- 支援入室の許可は、学校の支援として支援障害学生に計上してください。ただし、この場合のノートテイクは学校が実施している支援としての計上には含まれません。同様に、支援に学校が関わっていない場合は、「2. 支援体制」(8)の支援学生の計上には含まれません。
- パソコンテキストや点字のサークルがあり、このサークルの学生に支援活動を依頼しています。この場合は、支援学生のどこに計上したらいいですか。
- 「②学生が運営する組織に参加する学生がいる」に計上してください。
- ボランティア活動を行なう学生組織が障害学生支援を行なっています。当該学生組織は障害学生支援のみならず、学内外の様々なボランティア活動を行なっているため、所属している学生が必ずしも全員、障害学生支援に携わっている訳ではありません。この場合、支援学生の人数のカウントはどのように行なえばいいでしょうか。
- 支援学生の数については、現在実際に障害学生支援を行なっている学生数、または本年度中に障害学生支援に携わる予定の概数を実数で計上してください。
- 授業の一環として障害学生支援に携わっている学生は支援学生として計上しますか。
- 「④その他」に計上し、「その他の支援学生の具体的な内容」に、その旨(○の授業の一環として障害学生支援をしている等)を記入してください。また、単位取得や成績評価の対象としている場合は、「C. その他」を選択し「C. その他の具体的な内容」にその旨を記入してください。
- 学内にスロープ等のバリアフリー設備を設けます。これは支援として計上しますか。
- 「2. 支援体制」の(7)「障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況」に、該当の設備がありますので、そちらに記入してください。「11. 授業支援と授業以外の支援」には計上しません。

(調査票)

大学・大学院用

※課程別の調査票については学部（通学課程）のみを掲載しています。

※短期大学用、高等専門学校用は、以下の2点を除き同様です。

1. 課程数

短期大学：学部（通学課程）、学部（通信教育課程）、専攻科

高等専門学校：学部（通学課程）、専攻科

2. 学科（専攻）数

短期大学：人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、
芸術、その他

高等専門学校：社会、工業、商船、芸術

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/2017.html

1. 学校基本情報

平成29年度（2017年度） 大学、短期大学及び高等専門学校における 障害のある学生の修学支援に関する実態調査 （大学・大学院用）	
機関コード表示欄	

1. 学校基本情報
(1) 学校名と主となる所在地

学校名	主となる所在地の都道府県名	No.

(2) 学校全体の学生数

課程	平成29年度 全学生数	平成29年度 全入学者数	平成28年度 全卒業者数
学部			
通学課程			
通信教育課程			
大学院			
通学課程			
通信教育課程			
専攻科			
計	0	0	0

(3) 本調査の担当部署（者）

部課室名	担当者	
	氏名	フリガナ
郵便番号	所在地	
電話番号	FAX番号	E-Mail

(4) 障害学生支援の主たる担当部署（者）

部課室名	担当者	
	氏名	フリガナ
郵便番号	所在地	
電話番号	FAX番号	E-Mail

2. 支援体制

2. 支援体制

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
障害者差別解消法に関する対応要領、基本方針（ガイドライン）等、または障害学生支援に関する規程等（例：入学者選抜、修学支援に関わる委員会、部署、担当者等に関する規程、規定等）について、該当する欄に「1」を記入してください。なお、学生全般に関する規程等のうち、障害学生に関する具体的な表記がないものは、下記①に該当しません。

<input type="checkbox"/>	①対応要領または基本方針、規程等がある。 ①をホームページに掲載している。 URL: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②平成29年度中に策定予定である。
<input type="checkbox"/>	③対応要領または基本方針、規程等はない。

(2) 障害学生支援に関する委員会等
障害学生支援について協議・検討する委員会について、該当する欄に「1」を記入し、下欄に代表者について記入してください。

<input type="checkbox"/>	①専門委員会がある（障害学生委員会、バリアフリー委員会、委員会、支援担当者会議等）。 委員会名 <input type="text"/> 代表者（委員長等）の役職等 <input type="text"/> (副学長、学部長等)
<input type="checkbox"/>	②専門委員会はないが、他の委員会が対応している（学生委員会等）。 委員会名 <input type="text"/> 代表者（委員長等）の役職等 <input type="text"/> (副学長、学部長等)
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援に関して検討・協議する委員会はない。

(3) 紛争解決のための第三者組織
障害学生に関する紛争の防止、解決等に関し、障害学生支援部署とは別に、第三者的視点で調整を行なう学内機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①第三者的視点で調整を行なう専門機関がある。 機関 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②他の機関（ハラスメント委員会等）で対応している。
<input type="checkbox"/>	③第三者的視点で調整を行なう機関はない。

(4) 障害学生支援担当部署（者）
1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①専門部署・機関がある（障害学生支援センター、バリアフリー支援室等）。 部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②専門部署・機関はないが他の部署・機関が対応している（学生課、保健室等）。 部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援業務を行なう部署・機関はない。

2. 支援体制

(5) 障害学生の相談受付窓口
 障害学生が支援の申し出等をしたときに、学生にとってわかりやすい窓口がありますか。窓口の有無及びその周知について、該当する欄に1を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 支援の申し出等の相談に対応する窓口がある。	<input type="checkbox"/>
	ア. 窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している。	<input type="checkbox"/>
	イ. 窓口は設けているが、特に周知していない。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 支援の申し出等の相談に対応する窓口はない。	<input type="checkbox"/>
	ア. 特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している。	<input type="checkbox"/>
	イ. 窓口はなく、相談対応について特に周知していない。	<input type="checkbox"/>

(6) 支援の申し出等に関する対応手順
 障害学生から支援の申し出、相談等があった場合の対応手順について、該当する欄に1を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 対応手順を規定した文書がある。
<input type="checkbox"/>	② 対応要領等に対応手順が記載されている。
<input type="checkbox"/>	③ 対応手順を規定する文書はない。

2. 支援体制

2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数を記入してください。

①専任スタッフ (担当者がいる場合、左の欄に1を記入し、右の欄に人数を記入してください)	人数
<input type="checkbox"/>	ア. 障害学生支援を専門に担当するコーディネーター
<input type="checkbox"/>	イ. 障害学生を専門に担当するカンセラー
<input type="checkbox"/>	ウ. 障害学生を専門に担当する医師
<input type="checkbox"/>	エ. 専門の支援技術（手話通訳、点訳等）を持つ教職員
<input type="checkbox"/>	オ. 障害学生支援を専門に担当する職員
<input type="checkbox"/>	カ. 障害学生支援を専門に担当する教員
<input type="checkbox"/>	キ. その他
②兼任スタッフ (障害学生支援担当者が決まっている場合のみ人数を計上してください。決まった担当者がなく、部署・機関の全員が随時対応する場合は左の欄のみ1を記入し、人数は記入不要です)	人数
<input type="checkbox"/>	ア. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当するコーディネーター
<input type="checkbox"/>	イ. 他の業務と兼任で障害学生を担当するカンセラー
<input type="checkbox"/>	ウ. 他の業務と兼任で障害学生を担当する医師
<input type="checkbox"/>	エ. 専門の支援技術（手話通訳、点訳等）を持ち他の業務と兼任で支援を行なう教職員
<input type="checkbox"/>	オ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する職員
<input type="checkbox"/>	カ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する教員
<input type="checkbox"/>	キ. その他
③外部スタッフ	人数
<input type="checkbox"/>	ア. 嘱託等の契約に基づき、外部から招いている医師、カンセラー等
<input type="checkbox"/>	イ. 必要に応じて定期的に業務を委託している専門技能者（手話通訳、ノートタイカー等）
<input type="checkbox"/>	ウ. その他

2. 支援体制

(7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況

学生生活において必要となる施設、設備の整備状況について、該当する欄に「1」を記入してください。

整備状況	部分的に整備中または年度内に整備する予定がない				完全に整備済み			
	現在	必要箇所	整備中	年度内整備予定	整備済み	整備済み	整備済み	整備済み
①屋外								
ア. 道路の舗装、段差の解消等								
イ. 手すり、スロープ、階段昇降機等								
ウ. 点字ブロック、標識シール等								
エ. 専用駐車場								
②屋内								
ア. 自動扉等出入口の整備								
イ. エレベーター								
ウ. 手すり、スロープ、階段昇降機等								
エ. 車椅子移動等に必要なスペース確保								
オ. 点字プレート等教室表示								
カ. 聴覚障害者用屋内信号装置								
キ. 障害者用トイレ								
ク. 自習室、独習室								
ケ. 磁気誘導ループ								
③支援機器								
ア. 点字プリンタ								
イ. 立体コピー機								
ウ. 拡大読書機								
エ. 点字携帯端末								
オ. 筆談器等								
カ. 車椅子、簡易ベッド等								
その他	<input type="text"/> ※以下に、その他の具体的な内容を記入してください。							

2. 支援体制

(8) 支援学生（ノートテイク等）

支援学生（障害学生を支援する学生）について、該当する欄に「1」を記入してください。

※支援学生の数は、現在支援に携わっている、または本年度中に支援に携わる予定の概数を算定して計上してください。
 障害学生が個人的に依頼した学生が個人的に支援している、学校が関わっていない場合は含まれません。

<p>①学校が運営する組織に登録している支援学生がいる。</p> <table border="1"> <tr> <td>A. 有償</td> <td>ア. 1~5人</td> <td>イ. 6~10人</td> </tr> <tr> <td>B. 無償</td> <td>ウ. 11~20人</td> <td>エ. 21~30人</td> </tr> <tr> <td>C. その他</td> <td>オ. 31~40人</td> <td>カ. 41~50人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">C. その他の具体的な内容</td> </tr> </table>	A. 有償	ア. 1~5人	イ. 6~10人	B. 無償	ウ. 11~20人	エ. 21~30人	C. その他	オ. 31~40人	カ. 41~50人	C. その他の具体的な内容			<p>②学生が運営する組織に参加する支援学生がいる。</p> <table border="1"> <tr> <td>A. 有償</td> <td>ア. 1~5人</td> <td>イ. 6~10人</td> </tr> <tr> <td>B. 無償</td> <td>ウ. 11~20人</td> <td>エ. 21~30人</td> </tr> <tr> <td>C. その他</td> <td>オ. 31~40人</td> <td>カ. 41~50人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">C. その他の具体的な内容</td> </tr> </table>	A. 有償	ア. 1~5人	イ. 6~10人	B. 無償	ウ. 11~20人	エ. 21~30人	C. その他	オ. 31~40人	カ. 41~50人	C. その他の具体的な内容		
A. 有償	ア. 1~5人	イ. 6~10人																							
B. 無償	ウ. 11~20人	エ. 21~30人																							
C. その他	オ. 31~40人	カ. 41~50人																							
C. その他の具体的な内容																									
A. 有償	ア. 1~5人	イ. 6~10人																							
B. 無償	ウ. 11~20人	エ. 21~30人																							
C. その他	オ. 31~40人	カ. 41~50人																							
C. その他の具体的な内容																									
<p>③他校の協力により支援学生を派遣してもらっている。</p> <table border="1"> <tr> <td>A. 有償</td> <td>ア. 1~5人</td> <td>イ. 6~10人</td> </tr> <tr> <td>B. 無償</td> <td>ウ. 11~20人</td> <td>エ. 21~30人</td> </tr> <tr> <td>C. その他</td> <td>オ. 31~40人</td> <td>カ. 41~50人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">C. その他の具体的な内容</td> </tr> </table>	A. 有償	ア. 1~5人	イ. 6~10人	B. 無償	ウ. 11~20人	エ. 21~30人	C. その他	オ. 31~40人	カ. 41~50人	C. その他の具体的な内容			<p>④その他（①~③に該当しない支援学生がいる）</p> <p>※授業の「一環」として障害学生を支援している場合、下の C. その他 を選択して具体的な内容を記入してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>A. 有償</td> <td>ア. 1~5人</td> <td>イ. 6~10人</td> </tr> <tr> <td>B. 無償</td> <td>ウ. 11~20人</td> <td>エ. 21~30人</td> </tr> <tr> <td>C. その他</td> <td>オ. 31~40人</td> <td>カ. 41~50人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">C. その他の具体的な内容</td> </tr> </table>	A. 有償	ア. 1~5人	イ. 6~10人	B. 無償	ウ. 11~20人	エ. 21~30人	C. その他	オ. 31~40人	カ. 41~50人	C. その他の具体的な内容		
A. 有償	ア. 1~5人	イ. 6~10人																							
B. 無償	ウ. 11~20人	エ. 21~30人																							
C. その他	オ. 31~40人	カ. 41~50人																							
C. その他の具体的な内容																									
A. 有償	ア. 1~5人	イ. 6~10人																							
B. 無償	ウ. 11~20人	エ. 21~30人																							
C. その他	オ. 31~40人	カ. 41~50人																							
C. その他の具体的な内容																									
<p>⑤支援学生はいない（支援学生による支援は行なっていない）。</p>	<p>①~④の支援学生が行なっている具体的な支援内容 ※欄がある場合は、複数記入してください。</p>																								

次に「3. 活動や取組シート」をご記入ください。

3. 活動や取組

3. 活動や取組

以下の活動や取組を実施している場合は、実施の欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ア.	教職員向けの研修会等の実施				
イ.	学生向けの研修会等の実施				
ウ.	パンフレット等の配布				
エ.	その他				

<input type="checkbox"/>	②社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ア.	教職員向けの研修会等の実施				
イ.	学生向けの研修会等の実施				
ウ.	パンフレット等の配布				
エ.	その他				

<input type="checkbox"/>	③支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ア.	相談窓口について				
イ.	支援の申し出方法について				
ウ.	支援内容決定のプロセスについて				
エ.	具体的な授業支援等の支援内容の説明				
オ.	在籍障害学生数				
カ.	在籍支援障害学生数				
キ.	キャンパスのバリアフリーマップ等の掲示				
ク.	その他				

3. 活動や取組

<input type="checkbox"/>	④障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ア.	学外機関との連携、支援情報の提供				
イ.	一般就職ガイダンス、セミナー等における配慮の実施				
ウ.	障害学生向け就職ガイダンス、セミナー等の実施				
エ.	インターンシップ先、就職先の開拓、企業との連携				
オ.	その他				

<input type="checkbox"/>	⑤他大学等との連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
連携している学校名と連携内容、または参加している（大学等による）ネットワーク名と活動内容を記入してください。					
名称/	内容				
名称/	内容				
名称/	内容				
名称/	内容				
名称/	内容				
名称/	内容				

3. 活動や取組

⑥学外機関との連携	
相談・支援機関、訓練機関、企業等、連携機関の名称と連携内容を記入してください。	
名称/ 内容	

⑦相談対応・懇談会等（障害学生・支援スタッフ向け）

⑧障害学生支援に関する（学内）教員研修（F D等）	
名称/ 内容	対象

3. 活動や取組

⑨障害学生支援に関する（学内）職員研修（S D等）	
名称/ 内容	対象

⑩障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣

⑩障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣	
名称/ 内容	派遣した人数

3. 活動や取組

⑪障害学生支援に関する学生向け研修（ノートテイカー養成等）		回数
名称/ 内容		回数

⑫支援マニュアル、パンフレット等の配布

⑬学内イベント（オープンキャンパス・入学式等）での支援についての情報提供

⑭障害学生支援に関する講座・講演等イベント		対象
名称/ 内容		対象

3. 活動や取組

⑮障害学生支援または障害者支援に関する講義（ポランテニア論等）		種別
名称/ 内容		種別

次に「4. 受入に関する配慮」シートをご記入ください。

4. 受入に関する配慮

4. 受入に関する配慮

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知

入学者選抜における受験上の配慮の周知について、①～③のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、①②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を記載してください。

<input type="checkbox"/>	①入試要項(募集要項)に、受験上の配慮に関する記載がある。 ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	ウ. その他 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	②ホームページに、受験上の配慮に関する記載がある。または、記載のある入試要項を掲載している ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	ウ. その他 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	③入試要項にも、ホームページにも記載していない。 <input type="checkbox"/>

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法

入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法について、①～④のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合には、その具体的な内容を記載してください。

<input type="checkbox"/>	①随時、受け付けている。 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	②全学共通のルールで期間を設けている。 ※ルールは同じが試験日が違うので受験の期日は違うという場合もこちらを選択してください。 ア. 出願受付締切まで <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	イ. 試験前日まで <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	ウ. その他 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	③学部、学科等や入試形態によって違う。 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	④特に告知はしていないが、相談があれば対応する。 <input type="checkbox"/>

4. 受入に関する配慮

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
平成29年度入学者選抜において、もし受験者から申請があったら対応が可能だった受験上の配慮を、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①配慮の準備がある、または申し出があれば対応可能だった配慮がある。
<input type="checkbox"/>	A. 点字問題を点字で解答 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	B. 拡大文字問題の準備 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	C. 拡大解答用紙の準備 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	D. 音声で出題し音声で解答 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	E. マークシートに替えて文字で解答 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	F. チェック解答 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	G. 試験時間の延長 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	H. 照明器具の準備 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	I. 特製机の使用 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	J. 拡大鏡等の持参使用 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	K. 補聴器の持参使用 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	L. 点字問題を点字で解答 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	M. 松葉杖の持参使用 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	N. パソコン等の持参使用 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	O. 音声で出題し音声で解答 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	P. 文書による伝達 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Q. 窓側の明るい席の指定 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	R. トイレに近接する試験室に指定 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	S. 別室を設定 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	T. 試験室を一階に設定 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	U. 介助者の付与 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	V. 試験場への車での入構許可 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	W. その他 <input type="checkbox"/>
	具体的な内容
<input type="checkbox"/>	1 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	2 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	3 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	4 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	5 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	6 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	7 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	8 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	9 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	10 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②申し出がなかったため検討しておらず、回答できない。

5. 入学者数等

5. 入学者数等

(1) 障害のある入学者数等
平成29年度入学者選考における、障害のある相応者数、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を記入してください
(入学後に障害のあることがわかった学生は含まれません)。また、受験者数、合格者数、入学者数については、そのうち、受験上の配慮を行なった数についても課程別に記入してください。

区分	①～⑤のうちの受験上の配慮を行なった数										専攻科								
	学部(通学課程)					大学校(通学課程)					大学校(通信課程)		専攻科						
	AO入試	推薦入試	特別入試(一般入試を含む)	特別入試(要む)	特別入試(要む)	AO入試	推薦入試	特別入試(要む)	特別入試(要む)	特別入試(要む)	AO入試	推薦入試	特別入試(要む)	特別入試(要む)	AO入試	推薦入試	特別入試(要む)	特別入試(要む)	
① 全体の相応者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 全体の志願者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 全体の受験者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 全体の合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 全体の入学者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
視覚障害(弱視)																			
聴覚・言語障害																			
言語障害のみ																			
肢体不自由																			
他の機能障害																			
内部障害等																			
他の慢性疾患																			
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
重複																			
発達障害(診断書(診断書有))																			
SLD																			
ADHD																			
ASD																			
発達障害の重複(統合失調症等)																			
気分障害																			
神経症性障害等																			
摂食障害、睡眠障害等																			
他の精神障害																			
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
その他の障害(1内訳)																			
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			

※下欄には、診断書がないが発達障害が疑われるとの申し出があった者について記入してください。

発達障害(診断書(診断書有))																			
SLD																			
ADHD																			
ASD																			
発達障害(診断書有) 区分不明(配慮有) 区分不明																			

5. 入学者数等

(2) 受験上の配慮の内容

(1)で解答した受験上の配慮について、実施した具体的な内容を下記のA～Wから選択して、該当する欄に半角数字の1)を記入してください。

区分	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
視覚障害(弱視)																							
聴覚・言語障害																							
言語障害のみ																							
肢体不自由																							
他の機能障害																							
内部障害等																							
他の慢性疾患																							
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							
重複																							
発達障害(診断書(診断書有))																							
SLD																							
ADHD																							
ASD																							
発達障害の重複(統合失調症等)																							
気分障害																							
神経症性障害等																							
摂食障害、睡眠障害等																							
他の精神障害																							
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							
その他の障害(1内訳)																							
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							

※下欄には、診断書がないが発達障害が疑われるとの申し出等により、受験上の配慮を行なった場合、記入してください。

発達障害(診断書(診断書有))																							
SLD																							
ADHD																							
ASD																							
発達障害(診断書有) 区分不明(配慮有) 区分不明																							

5. 入学者数等

※(2)で、「Wその他」を選択した場合、その具体的な内容を、障害種別に記入してください。

障害種別	実施した配慮の具体的な内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

6. 平成28年度卒業生

6. 平成28年度卒業生
(1) 学部(通学課程)最髙年次及び卒業障害者数

障害種別	(1) ①		(2) ②		③ の うち 就職 希望者数
	H28 年次 5月 1日 現在	H29 年次 3月 1日 現在	H28 年次 5月 1日 現在	H29 年次 3月 1日 現在	
視覚障害					
盲					
弱視					
聴覚・言語障害					
難聴					
言語障害のみ					
上肢機能障害					
下肢機能障害					
身体不自由					
上下肢機能障害					
他の機能障害					
病弱・虚弱					
内部障害等					
他の慢性疾患					
重複					
発達障害 (診断書 有)					
SLD					
ADHD					
ASD					
発達障害の重複					
統合失調症等					
気分障害					
精神障害					
神経症性障害等					
摂食障害・睡眠障害等					
他の精神障害					
その他の障害					
計	0	0	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、支援を行っていた卒業者の数

発達障害 (診断書 無、配慮 有)					
SLD					
ADHD					
ASD					
区分不明					
計	0	0	0	0	0

(2) 状況別卒業障害学生数(平成29年5月1日現在)口

障害種別	進学者										計				
	A 大学院研究科	B 大学学部	C 短期大学本科	D 専攻科	E 別科	① 進学者の計	② 進学者のうち就職している数	イ 就職者(進学者のうち就職している者(②を除く))	ウ 臨床研修医(予定者を含む)	エ 専修学校・外国の学校・教育訓練機関入学者		オ 社会福祉施設・医療機関入所者	カ 一時的な仕事に従事	キ アく力以外	ク 不詳・死亡の者
視覚障害						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体不自由						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害(診断書有)						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気分障害						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経症性障害等						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の精神障害						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の障害						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行っていた卒業生の進路

障害種別	進学者										計				
	A 大学院研究科	B 大学学部	C 短期大学本科	D 専攻科	E 別科	① 進学者の計	② 進学者のうち就職している数	イ 就職者(進学者のうち就職している者(②を除く))	ウ 臨床研修医(予定者を含む)	エ 専修学校・外国の学校・教育訓練機関入学者		オ 社会福祉施設・医療機関入所者	カ 一時的な仕事に従事	キ アく力以外	ク 不詳・死亡の者
発達障害(診断書有)						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無診断						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分不明						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(1) 学部(学科)別の障害学生数

区分	学部(学科)別										計
	言語障害	聴覚障害	身体不自由	知的障害	発達障害	気分障害	神経症性障害	他の精神障害	その他の障害	計	
学部(学科)別の障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均年齢(学年)別の障害学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体育系(体育科(1日課外))	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学系(医学部)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

シート「7. 障害学生数」で「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。

(1)学部(通学課程)口

	学科(専攻)	内訳		ア 障害学生 数	イ アのうち 支援障害 学生数	
		※病弱・虚弱(他の慢性疾患)に計上した学生の各障害名(例:アトピー性皮膚炎、てんかん、アナフィラキシー等)				
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
計					0	0

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

シート「7. 障害学生数」で「精神障害」の「他の精神障害」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。

(1)学部(通学課程)口

	学科(専攻)	内訳		ア 障害学生 数	イ アのうち 支援障害 学生数	
		※精神障害(他の精神障害)に計上した学生の各障害名(例:知的障害、性別違和、高次脳機能障害等)				
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
計					0	0

10. その他の障害の内訳

10. その他の障害の内訳

シート「7. 障害学生数」で「その他の障害」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、障害学生数を記入してください。

(1)学部(通学課程)口

	学科(専攻)	内訳 ※その他の障害に計上した学生の各障害名 ※学系(専攻)分類は各大学ごとに異なります。 ご記入の際は学校基本調査の「学科系統分類表」をご確認ください。	ア		イ	
			障害学生数	アのうち 支援障害 学生数	アのうち 支援障害 学生数	アのうち 支援障害 学生数
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30			計	0	0	0

11. 授業支援と授業以外の支援

(1)学部(通学課程)の支援内訳

支援障害学生数	視覚障害	聴覚障害	言語障害	障害の種類			精神障害	その他の障害
				肢体障害	知的障害	発達障害		
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※その他の授業支援の具体的な内容を記入してください。

障害種別	実施した支援の具体的な内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

11. 授業支援と授業以外の支援

区分	授業支援	視覚障害	聴覚・言語	身体不自由	病弱・虚弱	重複	有(診断書)		その他の障害	支援の有無
							SASLD	ASLD		
1	1 居場所の確保(占有スペース、仲間づくり等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	2 通学支援(自動車通学許可、専用駐車場等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	3 生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	4 個別支援(機種の取扱い(出身校との連携等))	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	5 情報取得支援(行事案内、休講情報等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	6 社会的	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	7 スキル 指導 自己管理指導(ピアサポート、ピアマネジメント)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	8 指導 日常生活支援(衣食、入浴、睡眠等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	9 保健管理 専門医によるカウンセリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	10 保健管理 医療機関との連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	11 生活支援 医療機関、薬剤の保管等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	12 生活支援 休室等・治療室の確保等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	13 生活支援 生活介助(体位変換、食事、トイレ等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	14 キャリア教育(職業理解、職業適性の把握等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	15 支援 障害学生向け求人情報の提供	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	16 就職指導 就職支援情報の提供、支援機関の紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	17 インターネット上の開拓、就職活動支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	18 就職先の開拓、就職活動支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	19 その他の授業以外の支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
※その他の授業以外の支援の具体的な内容を記入してください。										
障害種別										
1	実施した支援の具体的な内容									
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

12. 発達障害が疑われる学生への支援

12. 発達障害が疑われる学生への支援

(1) 発達障害のある学生への支援における課題
 発達障害のある学生への支援は、高等教育機関にとっても同様の課題の1つと捉われます。課題と懸じられている事項(1)を記入してください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	学生の修学上の困難が発達障害によるものかどうかの把握
<input type="checkbox"/>	教員の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	職員(発達障害のある学生)への理解
<input type="checkbox"/>	周囲の学生の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の自己理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の保護者の理解
<input type="checkbox"/>	支援体制・部署間連携
<input type="checkbox"/>	個人情報(取扱い)
<input type="checkbox"/>	その他

(2)発達障害が疑われ、なんらかの支援を行っていない学生
発達障害があるなどの診断書はないが、発達障害ではないからと見られ、なんらかの支援(教育上の配慮等)を行っていない学生が
いる場合、学科(専攻)別にその数を記入し、その学生に実施している支援を欄で行って記入してください。なお、この
シートで計上した学生数は7. 障害学生数には含まれません。

【1】学部(選学領域) 学科(専攻)の人文科学～保健(医・歯学)の支援

学部(選学領域)	学科(専攻)別/障害種別	人文科学		社会科学		工学		農学		保健(医・歯学)	
		S/A/I/A/D									
発達障害(診断書等・配慮者)支援学生数	学科(専攻)別/障害種別										
28年度入学生数											
障害学生数											
支援学生数											
支援種別											
1 教材の提供											
2 教材のテキストデータ化											
3 教材の拡大											
4 教材の音声化											
5 リーディングサービス											
6 手話通訳(併用通訳を含む)											
7 リモートワーク											
8 パソコンワーク											
9 電子教材の提供/文字起こし											
10 テキストはフロッピーディスクでの提供											
11 録音/録画/別室受検											
12 試験方法の配慮											
13 パソコンの貸出/使用許可											
14 注意事項等文章の伝達											
15 実証・実習配慮											
16 教室内座席配慮											
17 F/M機器/マイク使用											
18 専用机/イス/ヘッドホーン等											
19 除音/イヤホン/音声認識ソフト使用											
20 除音に関する配慮(図書館等/図書室/図書室等)											
21 出題に関する配慮(透視/複製/複製/複製/複製)											
22 出題に関する配慮(透視/複製/複製/複製/複製)											
23 出題に関する配慮(透視/複製/複製/複製/複製)											
24 学習指導(授業/相談/レポート作成/定期試験等)											
25 授業内容の代替/提出期限延長等											
26 履修支援(履修登録/履修登録)											
27 学外実習/フィールドワーク配慮											
28 その他の授業支援											
※その他の授業支援の具体的な内容を記入してください。											
1											
2											
3											
4											
5											

(2)発達障害が疑われ、なんらかの支援を行っていない学生
発達障害があるなどの診断書はないが、発達障害ではないからと見られ、なんらかの支援(教育上の配慮等)を行っていない学生が
いる場合、学科(専攻)別にその数を記入し、その学生に実施している支援を欄で行って記入してください。なお、この
シートで計上した学生数は7. 障害学生数には含まれません。

【1】学部(選学領域) 学科(専攻)の保健(医・歯学)～その他の支援

学部(選学領域)	学科(専攻)別/障害種別	保健(医・歯学)		その他	
		S/A/I/A/D	S/A/I/A/D	S/A/I/A/D	S/A/I/A/D
発達障害(診断書等・配慮者)支援学生数	学科(専攻)別/障害種別				
28年度入学生数					
障害学生数					
支援学生数					
支援種別					
1 教材の提供					
2 教材のテキストデータ化					
3 教材の拡大					
4 教材の音声化					
5 リーディングサービス					
6 手話通訳					
7 リモートワーク					
8 パソコンワーク					
9 電子教材の提供/文字起こし					
10 テキストはフロッピーディスクでの提供					
11 録音/録画/別室受検					
12 試験方法の配慮					
13 パソコンの貸出/使用許可					
14 注意事項等文章の伝達					
15 実証・実習配慮					
16 教室内座席配慮					
17 F/M機器/マイク使用					
18 専用机/イス/ヘッドホーン等					
19 除音/イヤホン/音声認識ソフト使用					
20 除音に関する配慮(図書館等/図書室/図書室等)					
21 出題に関する配慮(透視/複製/複製/複製/複製)					
22 出題に関する配慮(透視/複製/複製/複製/複製)					
23 出題に関する配慮(透視/複製/複製/複製/複製)					
24 学習指導(授業/相談/レポート作成/定期試験等)					
25 授業内容の代替/提出期限延長等					
26 履修支援(履修登録/履修登録)					
27 学外実習/フィールドワーク配慮					
28 その他の授業支援					
※その他の授業支援の具体的な内容を記入してください。					
1					
2					
3					
4					
5					

学部(選学領域)	学科(専攻)別/障害種別	人文科学		社会科学		工学		農学		保健(医・歯学)	
		S/A/I/A/D									
発達障害(診断書等・配慮者)支援学生数	学科(専攻)別/障害種別										
28年度入学生数											
障害学生数											
支援学生数											
支援種別											
1 教材の提供											
2 教材のテキストデータ化											
3 教材の拡大											
4 教材の音声化											
5 リーディングサービス											
6 スキル											
7 指導											
8 専門家によるカウンセリング											
9 保健室											
10 理学											
11 生活支援											
12 生活介助(身体介助/食事/入浴/通学等)											
13 介助者の入庫/入庫許可											
14 キャンパス教育(履修登録/履修登録/履修登録)											
15 進路											
16 就職指											
17 指導											
18 その他の授業支援											
※その他の授業支援の具体的な内容を記入してください。											
1											
2											
3											
4											
5											

学部(選学領域)	学科(専攻)別/障害種別	保健(医・歯学)		その他	
		S/A/I/A/D	S/A/I/A/D	S/A/I/A/D	S/A/I/A/D
発達障害(診断書等・配慮者)支援学生数	学科(専攻)別/障害種別				
28年度入学生数					
障害学生数					
支援学生数					
支援種別					
1 教材の提供					
2 教材のテキストデータ化					
3 教材の拡大					
4 教材の音声化					
5 リーディングサービス					
6 スキル					
7 指導					
8 専門家によるカウンセリング					
9 保健室					
10 理学					
11 生活支援					
12 生活介助(身体介助/食事/入浴/通学等)					
13 介助者の入庫/入庫許可					
14 キャンパス教育(履修登録/履修登録/履修登録)					
15 進路					
16 就職指					
17 指導					
18 その他の授業支援					
※その他の授業支援の具体的な内容を記入してください。					
1					
2					
3					
4					
5					

13. 意見、要望

13. 意見、要望

(1) 障害学生支援について、課題と感じられていること、お困りになっていることがありましたら、ご記入ください。

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じられていることがありましたら、ご記入ください。

(3) 日本学生支援機構の障害学生支援の取組について、ご意見、ご要望をご記入ください。

◆ご協力ありがとうございました◆

ご記入内容を再度ご確認ください、「調査の手引」をご参照の上、読み取りパスワードでロックしたファイルを JASSOまでメールにて送付ください。

平成 29 年度（2017 年度）
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

平成 30 年 7 月

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

TEL 03-5520-6176 FAX 03-5520-6051

E-mail:tokubetsushien@jasso.go.jp